

「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（素案）」に対する 市民意見募集の実施結果について

1. 市民意見募集実施概要

実施概要	
実施期間	令和2年1月15日（水）～2月14日（金） 約1か月間
パンフレット配布場所	市街地整備推進課、市民情報センター、各区役所（区政推進課）、PRボックス（図書館、地区センター、行政サービスセンター、公会堂・区民文化センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウス・スクール、スポーツセンター、鉄道駅）にて配布のほか、HPで閲覧
意見提出方法	郵送、電子メール、FAX、電子申請、直接持参

2. 市民意見募集実施結果

意見通数（通）	意見総数（件）
592	702
※一人当たり 1.2 件	

提出方法	意見通数（通）
郵送	124
電子メール	58
FAX	198
電子申請	205
直接持参	7
合計	592

住所別	意見通数（通）	住所別	意見通数（通）	住所別	意見通数（通）
鶴見区	16	旭区	88	戸塚区	17
神奈川区	8	磯子区	5	栄区	12
西区	12	金沢区	5	泉区	28
中区	3	港北区	22	瀬谷区	230
南区	13	緑区	8	市外	38
港南区	10	青葉区	9	不明	47
保土ヶ谷区	9	都筑区	6	横浜市	6
合計					592

3. 意見の内訳

項目	意見数（件）
計画全般について （計画全体を通しての内容や計画策定の進め方などについて）	180
土地利用について （土地利用ゾーンの選定、規模、配置などについて）	119
具体的な施設の提案について （テーマパークや農業振興、医療、福祉など、具体的な施設について）	299
関連施設計画について（新たな交通、周辺道路について）	61
その他	43
合計	702

4. いただいた意見への対応状況

分類	意見数（件）
修正	91
賛同	170
参考	428
その他	13
合計	702

次ページ以降では、皆様からいただいたご意見とその分類、本市の考え方を掲載しています。

- ご意見の内容により分類して掲載しています。
- いただいたご意見については、原則原文のまま掲載しておりますが、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（素案）に直接結び付かないものや個人情報、誹謗中傷にあたる表現、判読のできない文字については、一部削除や表現を編集している場合があります。
- 複数のご意見に対して一括で考え方を掲載しているものもあります。

いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

計画全般について

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
1	瀬谷区在住ですが、上瀬谷地区は横浜でも最も都市化の遅れた地域の一つです。横浜市が進める「まちづくり」で、この遅れを一気に挽回し、かつ横浜の発展に寄与できるように期待しています。スピード感を持って是非とも「まちづくり」を推進していただきたいと考えます。	賛同	頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。
2	夢のある素晴らしい計画案ですね。是非実現していただき、次の世代に誇れる街にさせていただきたいと思えます。	賛同	
3	隣接している大和市に住んでいます。計画自体は大変魅力的で、大和市にとっても経済効果が期待でき、是非とも実現していただきたいと考えております。	賛同	
4	大変魅力的な計画で、実現を期待しています。私たちの住む街が日本に、世界に誇れる街となるよう期待しています。私が結婚し子供ができて、この計画で出来上がった街で遊ぶことができれば、本当に幸せです。是非是非、実現してください。	賛同	
5	瀬谷にはこれといった産業もなく、単なる東京のベッドタウンとなっており、今後の少子高齢化を考えると、明るい未来が描けないのが現状です。横浜市の素案は、テーマパーク、物流など雇用が見込め、さらに多くの人交流が生じる機会が大いに増えると期待でき、地元にとっても魅力的な内容で、大賛成です。地元住民、区民、市民、横浜市、事業者、それぞれにとってメリットがあり、誰かが泣くことがない開発を切に望みます。	賛同	
6	テーマパークや新たな交通など、大変魅力的な内容ですね。花博を含めて、7年後が大変楽しみです。	賛同	
7	「緑を多く残して欲しい」、「公園や、病院、スポーツ施設を作って欲しい」という意見をよく耳にしますが、単に緑豊かな公園や様々な施設を造るだけでは、その維持管理に多くの費用がかかり、財政的に大変だと思います。これらの意見も聞き入れつつも開発とのバランスをとり、地区全体の収支で永続的に豊かな緑や市民サービス施設を維持できるようにすべきです。この点で、バランスの問題は若干あるかもしれませんが、横浜市の素案は賛成できる内容と考えます。この計画が実現し、開発の遅れた瀬谷が、多くの人を訪れる横浜を代表する街となり、更には横浜市の経済・財政にも寄与できる街となることを望んでいます。	賛同	
8	賛成です。緑もうまく残しつつ、この地域が栄えて人やお金が集まり、発展していくことを期待します。反対の意見もあるとは思いますが、このまま進めて頂きたいです。いろいろな意見を取り入れすぎて中途半端なものができるとみんなが不幸になります、そのことが心配です。	賛同	
9	観光賑わいゾーンのテーマパーク、農地、公園、バランスよく、かつ、相互に活用されることを望みます。市外、県外、国外の方がテーマパークを目指してやってきて、活気あるエリアになるかと思えます。様々な課題はあるのかと思いますが、基本計画（素案）に基づいて、整備が早く進むことを期待します。	賛同	
10	・郊外部の活性化、テーマパークを核とした、まちづくりに賛成です。 ・これまで苦勞されてきた地権者の「早期の生活再建」を大切にしたいです。 ・事業完了後、「（いろいろあったけど、）この事業をやって良かったね」と、みんなで思えるまちづくりを、切に願っております。	賛同	
11	横浜市の素案を拝読し、瀬谷の将来に大きな希望となる案と期待しています。特にテーマパークについては、少子高齢化で錐体の先頭を走る瀬谷区にとって、明るい未来をもたらす構想と、大変期待しています。街同士の競争がこれから激化していく中で、魅力ある街として勝ち抜いていくためには、必要不可欠の構想だと思います。交通問題など課題は多くかかるかとは思いますが、横浜市のイニシアティブのもと、皆で知恵を出し合い実現することを強く希望します。	賛同	
12	郊外部の活性化、テーマパークを核としたまちづくりに賛成です。通信基地として、これまで苦勞されてきた地権者の「早期の生活再建」を望みます。	賛同	
13	賛成です、どんどん進めてください	賛同	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
14	瀬谷区の発展の為に開発が必要だと思います。このままでは、いずれ過疎化がはじまる恐れがあり、税収の面でも不安しかありません。	賛同	頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。
15	街の発展、老人、子供のためになるまちづくりは大いに賛成します、	賛同	
16	旧上瀬谷通信施設周辺に住んでいるものとして、この土地利用基本計画は大賛成です。辺びな土地をにぎやかな土地にしてください。買い物難民にさせないでください。	賛同	
17	旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画の案に賛成です。	賛同	
18	旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画に賛成です。	賛同	
19	市民が自由に利用できなかった土地が、公園になったり農業振興地域になったりすることを大変楽しみにしております。計画にはテーマパークの誘致も計画されており、家族で楽しめる場所が横浜市にできることを大変喜んでおります。一日でも早い施設整備をお願いします。	賛同	
20	臨海部以外で、人が集まり賑わいが生まれ横浜の新たな魅力を発信する地域になることを期待しています。	賛同	
21	神奈川にはTDLのような大きなテーマパークはないので、この計画を押し進めて魅力ある街づくりを展開して欲しいです。よってこの案に賛成します。	賛同	
22	瀬谷の活性化に賛成です。是非土地利用計画をこのまま推進してほしいです。	賛同	
23	テーマパークを核とした街づくり案を楽しみにしております。長年、戦争利用を目的に使われてきた土地であるからこそ、今後は、人々の笑顔あふれる土地として使われることを心より願います。首都圏で、これほどのまとまった土地が確保できるチャンスだと考えます。	賛同	
24	賛成です。	賛同	
25	賛成	賛同	
26	グランベリーパークの開園などにより瀬谷付近の都市開発が進む中、この度の計画は交通網が整備されれば大きな経済効果が期待できると思います。	賛同	
27	反対意見はでは何をしたいのかというのを提示していただきたい。自分はこの案が良いと思いい具体的な案を持っていない人たちがただ反対するという事に非常に憤りを感じる。反対するならばもう少し良い意見を提示していただきたい。	賛同	
28	テーマパークを中心とした街づくりに賛成です。頑張ってください。	賛同	
29	現在、横浜市にてすすめている開発構想に賛同致します。	賛同	
30	横浜市の方で検討されている土地利用基本計画に賛同致します。	賛同	
31	計画案に賛成です。	賛同	
32	横浜市観光の目玉として必要だと思います。横浜一部地域は観光地化していますが、商業地、市街区であり、政策的には、分散化を進めて行くのが望ましいのでは無いでしょうか遊休地化してしまうと、土地のイメージダウンにも繋がりがかねません。	賛同	
33	新交通に期待大！ 公園に期待大！ テーマパークに期待！ 農地はそんなにいるの？ 物流は残念！ いずれにしても、素案には賛成ですので、市民にとって良い町を造ってください。	賛同	
34	全体的には花博を中心に緑を生かした街づくりのプランとなっていてよいと思う。花博後のレガシーを生かして、更に賑わいができるような機能が入るように観光・賑わいゾーンに期待したい。物流ゾーンは普通の物流施設が来ると周辺道路がトラックで一杯になり、周辺住民が困るので周辺交通に配慮した次世代の物流施設を検討してもらいたい。公園・防災ゾーンは単純な公園にするのではなく、観光・賑わいゾーンと一体となって人を惹きつけることができるようなエンターテイメント性のある公園としてもらいたい。	賛同	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
35	<p>大賛成です！ 人が集まる施設を作って、街を活性化させてください。 瀬谷を魅力的な街にしてください</p>	賛同	<p>頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。</p>
36	<p>横浜市では、これまで港湾部の西区・中区に重点的なインフラ投資が行われてきた。 一方郊外部はインフラ投資が遅れ、特に旧上瀬谷通信施設は戦後70年に及ぶ接収が続き、横浜市郊外部の発展が阻害されてきた。 従って少子化高齢化が進む郊外部の活性化を図るべく、この機会に計画的なまちづくりを進め、観光・賑わい系の土地利用の促進、花博跡地公園の整備を通じ来街者数の増加と福祉の財源となる税収確保を図って頂きたい。</p>	賛同	
37	<p>土地を有効に活用していただき、世界に誇れるまちづくりを期待しています。 また、事業実施による地域振興を期待しています。</p>	賛同	
38	<p>瀬谷区や近隣地域発展のため、花博開催やテーマパーク等を含めた都市開発に賛成、期待します。 近年、少子高齢化が叫ばれており瀬谷区もご多分に漏れず若年人口の減少と65歳以上の高齢者増加が起きています。これらは税収減を招き、区内の産業や商業の衰退を意味します。そして最終的には私達区民の地域サービスや生活環境の低下を招きます。横浜市自体も近い将来の人口減少は明らかとしながらIR誘致などで税収を確保しようとして躍起になってます。 そして、瀬谷区においても自力で生活環境の維持向上を考える必要があると思います。それには、テーマパーク等の大規模企業の誘致やそれに伴う雇用の創設と居住者の増加が必須です。 開発に反対する方はたいてい「自然環境の保護」を訴えますが、緑地保全や公園では「お金」を生みません。それがきっかけで「横浜が一番住みにくい区」となったら目も当てられません。 なお、瀬谷区内には瀬谷市民の森をはじめとする緑地が9箇所あり、その合計面積は約31ヘクタールあります。公園も97箇所あります。今回の素案では公園・防災ゾーンで約50ヘクタールとしていることから、自然環境保護保護と開発を両立出来ていると思います。また、近隣のにはズーランシアや矢指市民の森、四季の森公園、など自然豊かな環境はたくさんあります。 そんなに自然が必要なのでしょうか？それでも自然をもっと残したいという人がいれば、いっそその方に242ヘクタール買い取ってもらえばいい。 また、開発に異論を唱えているのは駅周辺の人たちでしょうか？旧上瀬谷通信施設周辺は戦後70年、その利用制限から開発も出来ず、今も周辺住民の居住環境に制限があり利便性も悪いです。今回、この開発を契機に道路や新交通網といったインフラの整備を行うことで瀬谷区の活性化を行い、戦後70年を取り戻すことが必要ではないでしょうか。 最後に、横浜市の担当職員の方々にはご苦労をかけますが、市民のために頑張ってください。</p>	賛同	
39	<p>戦後70年間接収されてきて不利益を被ってきた旧上瀬谷通信施設の地権者のご意向を十分に汲みながら進めてほしいです。 そのうえで、横浜市も特に上瀬谷などの郊外部を中心に、少子高齢化が今後加速することが予想されるので、税収がひっ迫していくと思います。 あれだけ広大な土地は希少性が高いと思います。その長所を生かして、観光にぎわいゾーンや花博の跡地公園などに多くの方が訪れ、活気のあるまちにしてほしいです。 郊外部の活性化のシンボルになれば、周辺を含む地域経済が活性化し、税収も確保されると思います。</p>	賛同	
40	<p>方針3の安全安心で、利便性の高いまちづくりに期待します。 尚且つ、そこに雇用が生まれるとより良いかと思えます。 災害発生時に対応できる広場や施設があり、 そこでは、実際に震度6とか煙の発生時などが体験できて、民間からホテルや結婚式場を展開していただき、レストランウェディングや、その後家族と過ごすバーベキュー場や宿泊施設があり、 その際にはそこで採れた野菜などを食べられたりするようなそんなまちになるといいと思います。 広大な土地利用の実現を応援しています。</p>	賛同	
41	<p>テーマパーク等の経常的に人を集めることができる施設を建設することで、地域にとって非常に有益な影響をもたらすことができると思われる。テーマパークを中心とした周辺地域への経済発展寄与が当地域の将来の礎ともなる。都心一極集中が課題となる中で、現状維持またはその他の集客力の低い計画であれば、それは課題への解決に繋がらない可能性もある。当然、テーマパーク建設となれば、その収益性や将来性等を折り込んだ慎重なマーケティングが必須であり、特に莫大な資金調達が必要であることを踏まえれば容易に決定できるものではない。専門知見を有する組織との綿密な協議の元、最終的な決定が下されるべきである。現段階で上述の集客力や地域経済へのインパクトを量ることができないため、一概には言えないが、このような前向きな計画には是非とも賛成したいと考えている。</p>	賛同	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
42	横浜市も人口減少時代に突入する中、今ある緑や農地も保全しつつ、ここでしかできないこととして郊外部の活性化拠点を形成することには賛成したい。 ポテンシャルを最大限活かす土地利用がテーマパークのようなものであるなら、それはそれで応援したいので、花博成功後にこの地域が急激に衰退することのないよう活性化策を推進してください。	賛同	頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。
43	この地域周辺に住むものとして、横浜市の案に賛同致します。やはり、自分達の街が魅力的であって欲しいと皆、願っていると思います。 その為には、街の安全性、住みやすさ、街の活性化が必要であると思います。それを踏まえていると思うので、是非、この案が成立することを願っています。 これからの少子高齢化、街の発展を考え、もっとこの街に住みたいと思う魅力的な街になるように、よろしく願います。	賛同	
44	上瀬谷通信隊が、そのような跡地利用で動いているんですね。とても期待しています。	賛同	
45	私は基本的にこのプロジェクトに全面的に賛成です。応援しています。	賛同	
46	市都市計画局の事業内容に協力する。 スマートインター物流の拠点となれば、雇用対策も検討する事となる 地元民のアイデアも募る。 テーマパークの人の集客の協力 四季を通しての公演の期待 防災の拠点を上瀬谷として日本全国に発信する用意がある 発信拠点のリーダーと皆が自覚する 野菜作りのアイデアの公表 新品種紹介	賛同	
47	まちづくりの考え方に大変共感致しました。 地域が活性化されるような“まち”をつくって頂きたいと思います。 よろしくお願い致します。	賛同	
48	素案は大筋賛成です。 ※いずれにせよ、242haの貴重な（またとない）土地利用です。大きな期待を寄せています。頑張ってください。	賛同	
49	素案の「施設跡地利用ゾーンの基本計画（案）」については概ね了承できるものであります。	賛同	
50	4つのゾーンに分けた素案、良くできていると思います。	賛同	
51	横浜市の郊外、上瀬谷通信施設70年も米軍に接収され、土地の制限を受ける中、農業をしてきた。地域活性化の拠点として、まちづくりを推進し、少しでも生活向上したい。国際園芸博覧会の招致してもらいたい	賛同	
52	開発を進めて下さい。横浜の未開の地を良くしていくのが私たちの願いです。地元の意見を聞いて下さい。	賛同	
53	この案にもとづいて大いに進めて欲しい。	賛同	
54	小さい時より不便な地です。便利な町にして下さい。	賛同	
55	今回の市の提案に賛成します。特に観光・賑わいゾーンは充実させる必要を感じる。 スピード感のある開発をお願いいたします。	賛同	
56	計画に賛成	賛同	
57	八王子街道沿線に居住しています。 長い間、陸の孤島で、交通手段もあまりなく、不自由な生活に甘んじてきましたが、今回の上瀬谷開発に、とても期待しております。	賛同	
58	基本計画に賛成します。	賛同	
59	賛成。	賛同	
60	若者や次世代のためにも、横浜に残された最後の、大規模な土地を利用して郊外部を活性化させるのに賛成です。 横浜は、みなとみらいを中心に沿岸部での開発、活性化が行なわれてきたがそれとは、別に東西軸を中心とした活性化も必要。特に瀬谷区は古くから交通の要衝であり、その立地を活かして、内陸部での「西の玄関」としての整備を行い、全国に、また世界に向けて、発信をつづけていきたいと思います。	賛同	
61	素安については、おおむね賛成です。	賛同	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
62	旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（素案）に賛成します。	賛同	頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。
63	旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（素案）に賛成します。	賛同	
64	賛成 がんばって下さい。	賛同	
65	70年間に渡り土地利用が制限されていたこの地が大きく変わろうとしている。従来の農業や緑をしっかりと確保し、観光・賑わいゾーンを中心として多くの人々の交流が生まれる土地利用案には大いに期待するものである。ただし、一時賑わいを見せてもその後盛り上がりせずに衰退するようなことは絶対あってはならない。	賛同	
66	4ゾーンに基づいての街作りは大変良いと思います！其の前に開催される花博を起爆剤に「遅れた横浜の西の玄関口」を開発（新交通システム等）して下さい！大いに期待しております！！	賛同	
67	賛成する 時代の流れが早く 物の寿命が短い本当に必要であるものを良く選別されん事を願う	賛同	
68	賛成しております。宜しくお願いたします。	賛同	
69	瀬谷区や近隣地域発展のため、花博開催やテーマパーク等を含めた都市開発に期待しています。特に、上瀬谷地区の失われた70年を取り戻す意味からも、この街づくり計画には賛成です。ぜひ実行、実現して下さい。	賛同	
70	土地利用ゾーンの近くに住んでいます。畑ばかりで不便だったので早く観光・賑わいゾーンとして瀬谷が活性化することを楽しみにしています。子供がいますが公園より観光化するのを楽しみにしているようです。	賛同	
71	横浜市の計画に賛成します。計画の中心になる観光賑わいゾーンは、特に充実したものを希望します。長期的に集客できる施設が必要と考えます。花博についても成功を応援します。	賛同	
72	農業振興ゾーン、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、公園・防災ゾーン、全てに対して賛成です。特に、観光・賑わいゾーンのテーマパークは必ず実現していただきたい。	賛同	
73	基本計画素案に賛成します。	賛同	
74	初めて今回の計画を聞いた時からすごく楽しみにしています。 瀬谷に引っ越してきてから感じることは、ご高齢の方が多い（若者はいない）、魅力的な施設がない、車で行ける公園がないなどです。 友人や仕事関係での会話ではどこに住んでいるのか？という話が出てきますが、瀬谷のことはほとんど誰も知りません。 説明会に参加した時、今回の計画への反対意見が目立ちました。反対意見のほとんどの方がご高齢の方だったように思います。 瀬谷区に若い人を呼び込むのであれば、若い人の意見を聞くべきだと思います。 今回の計画のテーマパークは、誰がどのように決定するのでしょうか？ 決定する人が高齢だとすると、若い人が喜ぶものを作れないと思います。 若い世代の意見も取り入れて欲しいです。 今回の計画はとても楽しみにしていますのでよろしくお願いたします。	賛同	
75	ぜひこの土地利用基本計画を進めてください。 また各々のゾーンで5G・6Gのネットワークを活用しIoTによる農業振興、自動運転による無人運転などAIやIoTを存分に活用して頂くことを期待しています。 更に、行政だけで行うのではなく、企業の意見を聞く機会を設けて進めてください。	賛同	頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。 なお、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。
76	賛成です。 開発された後、何が出来るか楽しみにしています。 交通の便がよくなる事を願っています。 バスが通るようになるといいですね。	賛同	頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。 また、バス路線の新設に関するご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
77	花博等、イベントは抜きで行わなくてもいいのでは。 先に事業化した方がいいのでは。 素案は賛成です。	賛同	国際園芸博覧会についてですが、本地区において、基盤整備の促進、国内外への地域の知名度やイメージの向上、さらには国内外の先導的なまちづくりに寄与するため、国際園芸博覧会の開催に向けた検討を進めています。開催後の土地利用については、本地区全体でそのレガシーを継承・発展していきます。 頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
78	<p>先日開催された市民説明会にも参加させて頂きました。この土地利用計画には概ね賛成です。</p> <p>まずは国際園芸博覧会を起爆剤に、周辺の市民の森の再整備や、都市近郊農業の発展、博覧会の賑わいを継承できるようなテーマパーク！子どもや孫たちに夢のある街が創られていく～素敵ですね。</p> <p>ところで新技術を活用した物流拠点とは、レベル4とか5と言われる自動運転技術でしょうか？もしかしたらドローン？もし近未来的な物流拠点が全国に先駆けて運用されるとしたら、港ヨコハマの海上輸送に並ぶ陸送の港として自慢できるものになることでしょうか。</p> <p>また花博跡地利用のレガシー施設として、公園・防災ゾーンには是非、戦前戦後を知る大先輩がご健在のうちに聴きとりや資料の発掘保全をして、旧帝国海軍～米軍駐留～花博につながる歴史を学べる平和記念館のようなものを遺していただきたく思います。どんなに素敵で華やかな賑わいのある街になっても、そこには多くの山人の犠牲があることを理解し、平和である故の賑わいであることに感謝を忘れたくないのです。</p> <p>最後に市民説明会では、旧上瀬谷通信施設周辺の地元住民を無視するような反対意見や、論点をすり替え！R反対や市長リコールを主張するような発言者も見受けられましたが、担当課の職員の方は地元地域と協力して、瀬谷に横浜に住む人や、この事業に係わったすべての方々が誇りに思えるものになるよう、頑張ってください。応援しています。</p>	賛同	<p>頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。</p> <p>また、本地区に整備する具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
79	4つのゾーンの規模、なかなかいいバランスだと思います。その中でも、核となるテーマパークを成功してください。	賛同	本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。
80	<p>地元に住んでいます。ただただ、今まで通り静かに暮らしたいと願います。交流人口増加？国内外から人を呼び込む？賑わい？最近、外国人が増えて夜に1人で外を歩けなくなりました。治安の悪化など不安はありません。余計な物を作るのはやめてほしい。テーマパークなど不要です！！怒っています。赤字が出ない保証はあるのか？ジョギングや散歩ができる緑が豊かな公園で良い、農地は農地のままで良い。とにかく余計なことをしないでほしい。瀬谷をもとの住民が住みにくいように壊さないでほしい。余計な開発には断固反対です！！！！</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
81	1月19日に 地権者以外の 参加が許された 瀬谷公会堂での説明会で「観光・賑わいゾーン」が何故にまで拡張されたのか、「物流ゾーン」が必要なのか、意見がでていましたが 私も 素人考えの奇跡の土地を ガラクタにしてしまうような この開発が進められることは反対です。	参考	
82	<p>この件に関して反対の立場をとらせていただきます。理由は今の市政に問題があると考えているからです。</p> <p>近年で言えば！Rの件をあげたいと思います。林市長は！Rを興えず理由として財政のひっ迫を述べていました。何と夢のないことでしょうか!!横浜駅に行ってみてください。あるいは横浜のどこでもいい場所に行ってみてください。人々、家家家。こんなに人を呼んでこんなに緑を壊してまだお金が足りないとはどういうことでしょうか!!でも理由は分かります。入って来るお金より出て行くお金の方が多いのでしょきつと。おそらく林市長は行政に関して才能がないのだと思います。</p> <p>そんな時にまたこれですか！？</p>	参考	
83	こんな計画が、横浜市民全体の利益になるとは思えない。カジノだ、大型テーマパークだって、市長は何を考えているのか理解できない。もっと堅実な計画、市民の生活実感に合った計画を立てて欲しい。	参考	
84	<p>海軍道路を走った事がありました。左右に広がる土地の土の質の良さは歩いて確かめた事もありました。当時は鉄条網がはられ、英語で入るべからずと貼板があったのを記憶しています</p> <p>あのままの方があの土地と風景は保たれているのではと思います。開発はみなどみらいだけで十分なのではないでしょうか</p> <p>あの瀬谷の土地は商業施設に変えてはなりません。絶対に守りましょう。あの面積とあの空間を国と県・市の思うようにさせないで下さい。市は国へ全て売ってしまうでしょうか。</p> <p>瀬谷の土地も！R反対している市民の心をも。払い下げ（元は日本の土地）の土地は市民が守りぬきたいものです</p> <p>これからいつ何時起きるか知れない災害の為に市民が安心して過ごすことが出来る場所であってほしいです</p> <p>林市長!!市民が守って来た土地、風土を売らないで</p> <p>林市長 貴女ははまっ子ですか</p> <p>国のポチになってはなりません。貴女を信じて投票した有権者の気持を。</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
85	<p>何故素案と言えども計画を変更するのか理解できません。開発によってもたらされたマイナスは「環境破壊」「自然界の異変」（異常気象/温暖化etc.）です。何故、カイハツを優先するのかな？大手ゼネコンの利益が膨らむだけの話です。折角、米軍から返還された広大な敷地なのだから、もっと市民生活にプラスになる計画を策定してもらいたい。もうけ主義は、市民のためにはなりません。現市政は、大企業ばかり重きを置き、子供たち/高齢者、社会的弱者がもつと生きやすくするような施設を作るとか何故、「人間性回復」を目指すような考え方ができないのですか？現職、市職員の皆さまだつて何れ定年を迎えて年金暮しに入る筈です。自分も現役の頃は、「年金」のことなど全く頭の中にあつても考えたこともなかったです。2006年のテーマは、まったく私が考えていることと噛み合いません。大企業の方ばかり見ないで市民目線で考えて下さい。基本的に市長がもつと市民のことを考える市長に変わらないとヨコハマは、カジノ+テーマパークの中味のないマチにはしてもらいたくありません。熟考の上、基本計画（素案）を抜本的（基本に立ち帰つて）見直しをして下さい。</p> <p>開発変更反対 事業ベースの開発に戻るべき！</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
86	<p>今、この機に至って得難い空間。ぜひ人間が生きていく為の基本に立返ったプランの実行を切望致します。</p> <p>一大防災安全地域センターを！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所施設 ー 日常生活に必要な電線、水、トイレ、食料etcも備えた設備と建物 ・総合病院をつくる ー 日常の利用と共に災害時の応用を。 ・不自由な高齢者のための老人ホームの併設 ・出来るだけ広く農地・緑地を残し、自給自足の農産物の収穫が出来る体制をつくってゆく。 <p>地球の現実、もう娯楽だのもうけだの観光だのでもなく人間が人間として生きていける環境をつくり出せる理性を実行出来るかどうか問われているのが現実その為行政として力を発揮して頂きたい切望しています。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p> <p>現段階では、市立・地域中核病院などの大病院を新たに整備する計画はありませんが、医療施設の立地については、周辺の整備状況や医療需要等を踏まえ、その必要性を含め検討していきます。</p> <p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
87	<ul style="list-style-type: none"> ・米軍跡地からダイオキシン、PCB、鉛等の有害物質が出た、と米公文書にはある。そこへ人を呼び寄せるのは命を危険に晒すのと同じ。市の考えはおかしい。 ・テーマパークの具体像がない。単に民間企業と組んで市幹部が私腹を肥やすための計画としか思えない。又、年間1,500万人の集客見込みの具体的な根拠を示せ！ ・これに投資するだけの金があるなら、学校の完全給食化実現や個人住民税引下げを行うべし。 ・過大投資は将来、市財政の重し、即ち住民の税負担急増につながりかねない。白紙撤回し、ゼロから考え直せ！ 	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。</p> <p>土壌汚染については、現在、国で調査を進めています。汚染が確認された場合は、土壌汚染対策法などの法律等に基づき、対応していくことになります。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
88	<p>地域住民の意見・要望を聞き、時間をかけ検討して下さい。</p> <p>温暖化災害、東日本大震災が今後も予測されます 「農・緑・防災の大規模な野外空間」を利用指針の中心にして下さい。</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
89	<p>開発の賛否について 「カジノに頼らない経済政策・観光政策」の意味において、賛成</p> <p>また、当初、自然を生かした防災・農業・環境の再生を柱とした計画であったので エリア全体として有言実行</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応しながら作成しています。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
90	<p>今回の「素案」では、『土地利用ゾーンでは観光・賑わいゾーンを「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点を形成』』という内容となっていますが、テーマパーク等の誘致には反対します。</p> <p>『「首都圏全体を見据えた防災と環境再生の一大拠点として位置付け、平常時には多く首都圏の人々が訪れ農と緑を楽しみ、災害時には首都圏の広域防災活動拠点となる空間の形成を目指します』』としていた方針を推進してください。</p> <p>東日本大震災の被害を目の当たりにする前の時点でこのような指針を持っていたことは、自治体としての知見の深さと大都市としての役割を意識した素晴らしい方針だと思います。</p> <p>また、旭区や瀬谷区の「都市計画マスタープラン」にも、「土地利用の方針」や「都市環境の方針」に、豊かな自然や農業の展開と共に、「全市的・広域的課題への対応等を検討」とされているようです。</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様との意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
91	<p>当初の目的通り、緑地の保全を主体とした計画を行うべきであり、事業予定地の約半分を市街化区域に変え、テーマパークなどの集客施設の建設を行う計画には反対します。</p> <p>理由は、次の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口減が見込まれる中、将来、恒常的に年間1500万人もの交流人口の確保できる保証がない。 2. 鉄道・道路・上下水道などインフラへの投資と、その維持管理に莫大な税金が使われることとなり、上記の保証がなければ無駄使いとなる。 3. COP25やダボス会議では、持続可能な開発や自然環境への配慮の重要性が謳われ、それが世界の趨勢になっている。日本は石炭火力発電所への投資など進めていることから非難を浴びることとなった。 <p>横浜市が率先して経済性を優先し、不要でペイしない箱物行政を押し進めての自然環境破壊は、世界の趨勢に完全に乗り遅れていて、恥ずかしい限りである。</p>	参考	
92	<p>2006年の跡地利用方針どおり「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」にするべきです。</p> <p>農・緑・防災のどれをとっても今、特に大事にしなければいけない問題です。</p> <p>テーマパークはすでにあちこちにあるのであえて造る必要はないと思います。</p>	参考	
93	<p>米軍施設跡地利用指針（2006年）に戻るよう求めます。</p>	参考	
94	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画（2006年に出した計画）にもどって欲しい ・市民の意見を優先にして欲しい 	参考	
95	<p>2006年の計画を守って下さい。</p>	参考	
96	<p>2006年の当初計画案通り、実施してください。</p> <p>テーマパークはいりません</p>	参考	
97	<p>テーマパークをつくるような計画ではなく、防災や環境再生に重きをおいた、一番はじめの計画に戻して下さい。</p>	参考	
98	<p>瀬谷通信施設の跡地利用計画を2006年に定めた案と大きく変えてたことは全く納得できません。市民は2006年案で納得していたのに市長側で一方的に変更することはほとんどないことです。市民の願いのもとに作成された2006年案をどうして勝手に変更するのですか？金沢区の小柴の貯油タンク跡地の工事もどうなっているのかとても疑問もっています。どこまでどのように進んでいるのか公報にのっていましたか？カジノのことばかりカラーで何度も市民に配布していますが、水道にしる、大事なことが市民をないがしろにしている市政でないことを求めます。</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
99	「素案には反対」です。 市が2006年に策定した”横浜から始める首都圏の環境再生”の指針から大きく変質しています。 そもそも市の策定した計画は地元住民の強い要望を受け入れてできたもので、それを無視して変質することは許されません。元計画に戻るよう強く要求します。	参考	「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。 「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様との意見、要望等を踏まえ、作成したものです。
100	素案の土地ゾーン案ではその6割もが「環境再生」とは無縁なテーマパーク、倉庫等に利用となっており、2006年6月策定の「米軍施設返還跡地利用指針」から逸脱しています。「環境再生」という指針に立ち返り、抜本的な見直しを求めます。 また、見直しにあたっては、「街づくり協議会」とは別に市民の誰もが参加できる組織を立ち上げ、市民の意見を反映する計画に練り直すことを希望します。	参考	また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。
101	2006年6月に横浜市が策定した素案の「横浜からはじめる首都圏の環境再生」を全体テーマとした「米軍施設返還跡地利用指針」に立ち返り抜本的に見直すべきです。 公有地部分の見直しにあたっては、「街づくり協議会」とは別に、市民意見を踏まえた土地利用の考え方を示すものとすべきです	参考	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。
102	以前、横浜市は「米軍基地跡地利用指針」で、農業と緑を大切に、防災拠点としても野外活動空間などを作るとしていましたが、今回の素案にはそれが隅っこに追いやられています。 観光・リゾート施設中心の開発は交通渋滞だけでなく、ゴミや騒音問題など地域住民を悩ます大問題が発生することにもなります。 今回の素案を撤回し、改めて地域住民や区民の声を聞いて跡地利用計画を進めてください。	参考	
103	跡地は当初の計画を基本に ①災害時の避難場所や施設として確保して下さい。 ②住民要求の多い、スポーツ施設、介護、病院等に利用して下さい。	参考	「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。 「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様との意見、要望等を踏まえ、作成したものです。 医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。 今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。
104	防災、環境再生を柱とした2006年基本計画に立ち戻るよう要請いたします。 民間企業の営利中心の変質案は絶対反対です。市民、住民の意見を中心とした計画に再検討を求めます。 戦争終了後、74年基地を市民に戻して下さい。	参考	「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。 「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様との意見、要望等を踏まえ、作成したものです。
105	地元住民の要望を大切にする。 民間の営利事業向けの開発はしない、or極力少なくする。 病院や介護施設、スポーツ施設、防災、環境再生を柱にした、2006年の元計画を希望します。	参考	また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。
106	民間の営利事業目的の開発ではなく病院や介護施設、スポーツ施設等地元住民の強い要望を受けとめ、2006年の環境再生を柱にした元計画にして下さい。	参考	一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。
107	民間の営利事業向けじゃなく病院や介護施設、スポーツ施設等の地元住民の強い要望を受け止め2006年の元計画に立ち戻るよう林市長に強く求めます。	参考	また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。
108	突然の計画変更には理解に苦しみます。 防災・環境再生を柱にする元の計画に参成しています。一部民間企業の営利事業中心の計画には不同意です。何故テーマパークなのか、市民の声を耳を傾け、慎重に判断すべきです。時間はあります。 カジノ誘致と共に公共財産を一部の民間企業の開発に委ねることに反対です。	参考	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
109	<p>2006年の「跡地利用指針」では、「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」だった筈でしたが、いつの間にか132ヘクタールの公有地のうち、公共利用に使われるのは、「公園と防災」の50ヘクタールだけになってしまい、残りの82ヘクタールは、集客力のある「大型施設とテーマパーク」を誘致することに使われる事になっています。</p> <p>市民の意見を聞かずに、一部の市の幹部の意向で決めてよいのでしょうか。大型施設やテーマパークの誘致を計画している業者と結託しているとしたら考えられません。そこからは贈収賄の匂いすらします。</p> <p>至急、市民を対象にした公聴会を大々的に開催し、その意見を基礎にした「利用計画」を作って下さい。</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様との意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p>
110	<p>2006年の「跡地利用指針」では、「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」だった筈でしたが、いつの間にか132ヘクタールの公有地のうち、公共利用に使われるのは、「公園と防災」の50ヘクタールだけになってしまい、残りの82ヘクタールは、集客力のある「大型施設とテーマパーク」を誘致することに使われる事になっています。</p> <p>市民の意見を聞かずに、一部の市の幹部の意向で決めてよいのでしょうか。大型施設やテーマパークの誘致を計画している業者と結託しているとしたら考えられません。そこからは贈収賄の匂いすらします。</p> <p>至急、市民を対象にした公聴会を大々的に開催し、その意見を基礎にした「利用計画」を作って下さい。</p>	参考	<p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
111	<p>跡地利用計画に「テーマパーク」に反対します</p> <p>2004年10月返還が合意され、横浜市は跡地がまちづくりや市民の福祉の増進に寄与する貴重な資産であるとし、2004年10月から市責任職による「横浜市返還施設跡地利用プロジェクト」を設置し跡地利用の検討を進め、2005年7月には学識経験者等を委員とする「横浜市返還施設跡地利用構想検討委員会」を設置し、「返還施設の跡地利用に関する提言」出しました。提言は</p> <p>跡地を活用し新たな時代要請である環境への積極的な取り組みを進めるというものです。</p> <p>市は多くの市民から支持されたとし、2006年6月に「横浜から始める首都圏の環境再生」全体テーマとする「米軍施設返還跡地利用指針」を策定しました。</p> <p>「米軍施設返還跡地利用指針」は旧上瀬谷通信施設について「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」を利用方針のテーマと設定し「首都圏全体を見据えた防災・環境再生の一大拠点として位置付け、平常時には多くの首都圏の人々が訪れ農と緑を楽しみ、災害時には首都圏の広域防災活動拠点となる空間の形成を目指します」としています。</p> <p>地球温暖化による災害の多発・東日本大震災の被害を目のあたりにする前にこのような指針を持っていたことは、自治体としての知見に敬意を表します。</p> <p>以上の経過をかんがみ</p> <p>1、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（素案）は反対です。2006年6月に策定した「米軍施設返還跡地利用指針」に立ち返り、時間をかけて抜本的見直しを求めます。</p> <p>2、見直しに当たっては、市民参加で、地域住民の要望・要求を重視した計画とし、時間をかけ性急な推進を行わないこと。</p> <p>3、公有地についてはまちづくり協議会とは、切り離して（別組織の立ち上げで）審議すること。</p> <p>4、跡地は民間の儲けの対象とした開発にしないでください。（カジノ誘致と同じ発想を持ち込まないでください）</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
112	<p>上瀬谷の旧米軍上瀬谷通信地跡地にテーマパークを作るという話を聞きました。以前戻されたら、福祉施設、防災施設、公園ができるかと聞いていました。新しいテーマパークは本当にいるのか、それも全体の6割をそれが占める。私有地は今までとりあげられていたのですから無理強いはできないのかもしれませんが、公有地は市民の希望を聞いて下さい。環境と食を守る。お金がなくても安心して遊べスポーツのできる場、ゆったりと過ごせるそんな場にして下さい。福祉施設を充実させてほしいです。ドリームランドがどうなったのか、利便性のよくないところのテーマパークという遊び場は本当に必要か病院、スポーツ施設など2006年時の環境再生を柱にした跡地利用を生かしてほしいと切に願います。</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
113	<p>1. 2006年の「横浜から始める首都圏の環境再生」を全テーマとした跡地利用方針はどこに行ったのか 素案によれば、約242haの首都圏でも貴重で広大な土地を「観光・賑わいゾーン」125ha、「農業振興ゾーン」50ha、「公園・防災ゾーン」50ha、「物流ゾーン」15haとするとあります。つまり跡地の半分を「観光・賑わいゾーン」とするというものです。2006年に、市が策定した「横浜から始める首都圏の環境再生」を全テーマとした跡地利用方針はどこに行ったのでしょうか。どう今回の（素案）とつながるのでしょうか。2006年跡地利用方針は上瀬谷について「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」となっていた筈です。しかも、跡地内の132haもの公有地のうち、公共の利用に供されるのは公園防災の50haだけで、残りの82haはテーマパーク用地等とする点です。</p> <p>2. 経過を逸脱している 横浜市は米軍施設の跡地が、まちづくりや市民の福祉の増進に寄与する貴重な資産であることから、2004年10月に、市経営責任職による「横浜市返還施設跡地利用プロジェクト」を設置し跡地利用の検討を進めました。2005年7月には、学識経験者等を構成委員とする「横浜市返還施設跡地利用構想検討委員会」を設置し、市会基地対策特別委員会の意見も交えながら、同12月に同委員会は「返還施設の跡地利用に関する提言」が出されました。</p> <p>この提言は、米軍施設の跡地を活用し時代が要請する環境への積極的な取り組みを進める、という環境に重点を置いたものでした。市は、多くの市民のみならずから支持されたとして、この提言を尊重して2006年6月に「横浜から始める首都圏の環境再生」を全体テーマとする「米軍施設返還跡地利用指針」を策定しました。</p> <p>「米軍施設返還跡地利用指針」は、旧上瀬谷通信施設について「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」を利用方針のテーマと設定し、「首都圏全体を見据えた防災と環境再生の一大拠点として位置付け、平常時には多く首都圏の人々が訪れ農と緑を楽しみ、災害時には首都圏の広域防災活動拠点となる空間の形成を目指します」としています。</p> <p>東日本大震災が発災する前の時点で、このような指針を持つことが出来たことを「さすが横浜市」と大いに評価をするものです。</p> <p>また、旭区や瀬谷区の「都市計画マスタープラン」にも、「土地利用の方針」や「都市環境の方針」に、豊かな自然や農業の展開と共に、「全市的・広域的課題への対応等」を「検討」とされています。</p> <p>これが基本的な経過の筈です。</p> <p>3. テマパークをつくるのが最終目的なのか 2の経過にも関わらず、2015年6月上瀬谷通信施設返還後の経過は、「米軍施設返還跡地利用指針」としてまとめあげてきた、評価の高い内容からまったく逸脱しています。昨年7月には、「観光・賑わい」「農業振興」「公園・防災」「物流」から構成される土地ゾーン案を公表、跡地の半分を観光・賑わいゾーンとして、集客力のある大型施設の誘致宣言を行い、今回の素案では、「複数の民間企業からの提案を受け、テーマパークを中心とした土地利用を、今後検討を深度化すべき案として決定（3ページ）」「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点を形成します（5ページ）」「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、賑わい振興を図る（7ページ）」と結論づけています。</p> <p>4. 地権者と開発事業者主導でいいのか 民間企業の参画により土地利用の具体案作成が行われた関係で、これまでの経過・到達点も放り投げて「テーマパークを中心とした土地利用を、今後検討を深度化すべき案として決定」したのではないのでしょうか。地域住民からは、病院や老人ホーム、介護施設やスポーツ施設等の要望が大きかった筈です。</p> <p>地権者の声を聞くのは大事です。しかし旧上瀬谷通信施設は、農地や山林であったところを旧日本海軍が使用し、戦後は米軍に接收</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
	<p>され利用されてきた性格の土地です。国有地と市有地で全体の55%を占めています。</p> <p>「米軍施設返還跡地利用指針」の「基本姿勢」には、70年以上の間、米軍基地があるがゆえに大きくまちづくりが阻害されてきたことを受けて、「跡地利用を計画するにあたっては、接収という厳しい歴史的経緯を経て現在に至っていることを認識しつつ、これからの時代に広くその価値が認められるような大規模空間の利用のあり方を、市民はじめ関係者の総力を挙げてかたちづくっていきます」としています。計画は地権者と開発事業者主導ではなく、「米軍施設返還跡地利用指針」を踏まえ、市民参加で地域住民の要望の位置づけを重視した計画とすべきです。</p> <p>「米軍施設返還跡地利用指針」は、旧上瀬谷通信施設については「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」であった筈です。</p>		
114	<ul style="list-style-type: none"> ・公有地82haを民間資本等の使用に供することになる 旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(素案)は2006年6月に横浜市が策定し「横浜から始める首都圏の環境再生」を全体テーマとする「米軍施設返還跡地利用指針」に立ち返り、抜本的に見直しすること。 ・公有地部分の見直しに当っては、街づくり協議会と別組織を立ち上げ審議すること。 ・見直しに当っては、市民参加で地域住民の要望、要求の位置づけを重視した計画とし、性急な計画推進は行わないこと。 	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画(素案)公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画(素案)について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置(換地)については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
115	<ul style="list-style-type: none"> ①公有地82haを民間資本などの使用になる、上瀬谷通信施設土地利用基本計画(素案)は2006年6月に横浜市が策定し「横浜から始める首都圏の環境再生」を全体テーマとする。米軍施設返還跡地利用指針」に立返り抜本的に見直しすること。 ②公有地部分の見直しに際し、街づくり協議会とは別に組織の立ち上げ、審議すること。 ③見直しにあたり、市民参加で地域住民の要望要求の位置づけを重視した計画とし、性急な計画推進は行わないことなどを望みます。 	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応しながら作成しています。</p> <p>また、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置(換地)については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今後、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
116	<p>瀬谷区にセントラルパークをつくっていただきたいです。米軍による地権者の方の土地利用が制限されていたからこそ、240haもの広大な土地が残ったわけではありませんか。ですから、約半分の私有地については地権者の方の将来も考えなければなりません、残りの半分については、初めの計画にあったような緑と防災の大規模な野外活動空間として残す方向で考えていただきたいです。それが瀬谷区の魅力となり、レガシーと考えます。(財政面ではナショナルトラスト等もあるのでは?)1月12日の瀬谷公会堂での説明会をタウンニュースで知りました。海軍道路沿いの一部の方にはお知らせのチラシが配られたようですが、瀬谷区民全体に関わるお知らせは、瀬谷区の広報に載せていただきたいです。</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応しながら作成しています。</p> <p>また、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置(換地)については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今後、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>頂いたご意見については、今後事業をすすめる上で、参考にさせていただきます。</p>
117	<ul style="list-style-type: none"> ・防災、環境再生中心の元々の計画のとおりして下さい。(公園、防災ゾーンを大きく(半分以上)とって下さい) ・仮りに、「観光・賑わいゾーン」、大型施設、テーマパーク中心なら、その計画による影響(交通渋滞、騒音・ガス、小学校、中学校、子どもたちの防犯など生活・通学等)試算を必ず事前に示すこと。住民への説明会を、試算を示していきに行き、納得と理解を得ること。 	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応しながら作成しています。</p> <p>今後、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>頂いたご意見については、今後事業をすすめる上で、参考にさせていただきます。</p>
118	<p>市民の意見を聞いて「基本計画」を策定して下さい</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画(素案)公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画(素案)について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
119	<p>突然この話が出てきた感じがしますが、世界的に環境問題、温暖化が心配される中、これだけ広大な土地(一神奈川だけでなく国民の財産です)を安易にテーマパークや物流ゾーンなどで集客しようという発想はやめて頂きたい。もっともっと市民生活や50年先100年先を見こした豊かな計画を市民の意見をきいて作ってください。</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応しながら作成しています。</p> <p>今後、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
120	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画について（疑問）</p> <p>瀬谷区(旧戸塚区)に幼児の頃より今に至る70年以上居住するものであり、米軍に接収されていた時期にその周辺の森などを遊び場に、こよなく瀬谷区を愛するものとして一言申し述べます。</p> <p>先日の公会堂説明会(瀬谷・旭区に参加)ですが、質問に出たように具体的な図などを示しての公開説明会は初めてかと思えます。その席で「これは初の公開であり、これらの意見を踏まえ今後計画に生かしたい」旨の話が市担当から出ました。しかし議会・マスコミ・一般向けなどに2017年には「国際園芸博開催」を大きく宣伝しています。狭い海軍道路のみでインフラ整備が全くない状態で鉄道・バスなど工事が6年程度で間に合うのでしょうか？仮に会場までの交通が整備出来たとして閉会後には利用客がいなくなるのは目に見えています。その為にその後を見据え「観光賑わいゾーン」のスペースを大きく取ったとしか考えられません。果たして瀬谷区に年間1500万人も来る施設が必要か？大きな疑問です。</p> <p>個人の地権者の何%が同意しているのか公開願います。国・市有地が55%を占めるなら地権者以外の(今回のような)説明会を何度も開き、内容を纏めるべきではないでしょうか？そのような計画説明会を行う話であったので、2020年度中に何度かの公開説明会を開催願います。そのように進んだとして、果たして5年程度の工事期間で間に合うか、など考えるまでもありません。</p> <p>地権者の中にも「以前の計画が変更になる、との説明が無いまま今回の話になるのはおかしい」と言う人が居るのを確認しています。開発で金が入るでなし、以前のように畑を続け、補助金が出る事が希望、という地権者が半分程度？いる事も確認できています。</p> <p>旭区の公会堂での説明会での質問も多くは瀬谷区民であったので、中心となる瀬谷区民への説明がおざなりで進行しているのは納得できない事です。</p> <p>今回の多くの質問などを踏まえ新年度すぐにも次の説明会が開催される事を期待します。</p> <p>これをもって説明責任を果たした、などと成らない事を希望します。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
121	<p>今回の計画は市民の要望とはかけ離れたものであり、賛成することは到底できません。住民、市民の立場に立ち環境を重視した計画をされることを切望します。</p>	参考	
122	<p>提示されたゾーン案について</p> <p>1. 平成27年4月12日付けの瀬谷区政推進課が「上瀬谷通信施設跡地利用についての区民アンケート結果を報告します！」と題し横浜市記者発表資料が配布されています。</p> <p>その中で横浜市が策定した「米軍施設返還跡地利用指針」で4つの方向性について聞き、アンケートの結果約7割の回答者が「緑を享受する首都圏郊外の自然レクリエーション空間」が望ましいと回答し、次いで「広域の防災活動拠点・広域機能の立地、持続的で魅力ある都市農業の振興、交通利便性の向上に資する基盤整備」と回答しています。</p> <p>また、多くの方が「施設の整備要望」として具体的な施設（具体的な要望は割愛します）を挙げ、「跡地利用の方向性や検討の進め方」についても意見を寄せている、とされています。</p> <p>しかし今回のゾーン案にはこうした区民の要望がどこまで生かされているのか？、また「今後の取り組み」で述べられているような実質的な活動が行われてきたのか甚だ疑問である。</p> <p>2. 「跡地利用協議会」は当初連合町内会長を中心にスタートしたようですが、行政側の説明が中心でその経過や報告等が各単位町内会や区民にはほとんどなされてはいない。</p> <p>3. 瀬谷区内の地権者や農専協議会の有志による自発的な勉強会が熱心に行われ、行政からの聞き取り調査も行われましたが、広汎な関係者間での協議や旭区の関係者との協議が行われたのでしょうか？</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
123	<p>私たち、米軍上瀬谷基地返還と跡地利用問題懇談会（略称・上瀬谷基地懇）は長年にわたって、上瀬谷基地の返還と住民のための跡地にむけて、周回や裁判、住民アンケートなどを取り組んできました。</p> <p>住民アンケートでは、区民要望は、病院や老人ホーム、介護施設、スポーツ施設、公園、防災・自然エネルギー施設等、緑を守る自然と農業の振興への期待の声が大きく、そのことを市や区に伝えてきました。市の当初の案では住民の要望が反映したものになっていました。平成29年11月の基本計画には、住民の意向を反映し教育・医療・福祉・商業ゾーンがかなりの面積を占めていましたが、今回発表された「基本計画(素案)」では、具体的な区民要望が計画ゾーンには示されておりません。教育・医療・福祉・商業ゾーンが消え、基本計画になかったテーマパークを核とした観光賑わいゾーンが跡地の半分以上を占めています。今回の内容は住民の要望がどこに生かされているのでしょうか。</p> <p>市の意向が反映した住民無視の計画となっています。</p> <p>昨年11月地区連合町内の会長で組織される上瀬谷通信施設返還対策協議会の要望書にも『高齢者社会に対応する医療・福祉施設』を市に提出し、住民の意見が反映することの重要性を訴えています。</p> <p>テーマパーク構想に固執することなく、住民のための跡地計画とするために、教育・医療・福祉・商業ゾーンの堅持が必要です。</p> <p>市の再考を要請します。住民の要望の応え、将来にわたって誇りある街づくりを進めることこそ今横浜市に求められていることです。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行っています。</p> <p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>土地利用としては「農業振興ゾーン」、「公園・防災ゾーン」、「物流ゾーン」、「観光・賑わいゾーン」の4つを設定し、一定規模の区画設定を前提として検討を進めます。</p> <p>観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。頂いたご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
124	<p>住民の要求、公共財（病院、スポーツ施設、文化施設）、環境美化、自然保護を大切に考えて計画をすすめて下さい。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行っています。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
125	<p>国際園芸博覧会の開催には賛成。世界に恥をさらさないよう万全の準備をして成功させてもらいたい。</p> <p>最後に、地権者の意向が大切であることもわかるが、行政が多額の税金を投入して土地区画整理を行う以上、市民の意見をちゃんと反映させてほしい。</p> <p>市民向けの説明会や市民意見募集がただのアリバイ作りにならないよう市民（区民）として厳しくチェックしていきたい。</p>	修正	<p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めて行くこととし、「序章 背景・目的」に加えしました。</p>
126	<p>費用は市民税で住民は納税者である。</p> <p>地域発展を目的とした開発も必要であるが、短期的な視野でなく中・長期的な視野で住民が求めるものを取り込むことが行政の役目であることを認識していただきたい。</p>	修正	
127	<p>100年後の横浜市を見据えた、必要不可欠な事業・土地利用計画なのか、市民から意見収集して、ご検討頂ければと思います。</p>	修正	
128	<p>今後の中間まとめにあたって、再度広く市民や来訪者に意見を募ってほしい。</p>	修正	
129	<p>・土地利用案はまちづくり協議会の提案に横浜市が利用案を提出し、まちづくり協議会が検討してきたとある。</p> <p>・そもそもまちづくり協議会は、古くからの地権者である。今後の瀬谷のあるいは横浜市のまちづくりに貢献できる資質があるのだろうか？</p> <p>・当地は、瀬谷北部地区にあるが、ここには8つの町内会・自治会があるが、7つの会長は地権者ではない。新しい人間が地元では活躍しているのである。</p> <p>・今後は、この様な方々の意見を聞く必要がある。総論では賛成だが、これからの具体策の場でお願したい。</p>	修正	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方	
130	瀬谷区民の意見をきちんときいて基本計画をつくってほしいです。そして、そのことを基本計画に書いてほしいです。	修正	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。 今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めて行くこととし、「序章 背景・目的」に加えしました。	
131	今のやり方は地権者だけの意見をとり入れている。もっと瀬谷、旭区の全体の意見をすいとして欲しい。	修正		
132	全体を通して、一部の人たちの利益実現に偏っています。普通の市民・住民の意見を反映する努力をして下さい。	修正		
133	まず市民の要望、意見を最優先にして計画をすすめて下さい。	修正		
134	市民意見を反映させた計画にして下さい。	修正		
135	まちづくり協議会は、あくまで地権者の意見集約の場とし、市議会に検討委員会を設置し検討経過を情報公開しながら市民目線が届いた中で企画立案されることを望みます。	修正		
136	広大な土地は戦争に使われた悲しい歴史があり、折角返還されたのですから、今後は平和のために使うのがよいです。 それで、市民が憩える公園、病院、あるいはスポーツ施設など、お金儲けでなく、市民へお返しするのが妥当と考えます。 ぜひ、市民本位での計画を進めてください。 当方は戸塚区在住ですが、交通の便が良いので、上瀬谷基地跡地は、いつでもいけます。 よろしく、お取り計らいのほど、お願いいたします。	修正		
137	水と緑の瀬谷にふさわしい形を探るべく、跡地をどのようにしていくのか、地域住民を中心に、意見を言い合う場を設けてください。	修正		
138	当該近く市民として地域住民の意見を重視した計画をすべき。	修正		
139	もっと市民の意見を聞き、すすめて下さい。	修正		
140	時間をかけて住民の意見を聞き、市民の意見を反映したものにしてください。	修正		
141	提案が唐突すぎです もっと時間をかけて、ていねいに市民に説明すべき。	修正		本市では、本地区の返還以降、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様へ意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。
142	提案が唐突すぎ、もっと市民の意見を聞き反映して下さい。	修正		
143	提案が唐突すぎます。 もっと時間をかけて市民意見をきき、反映して下さい。	修正		
144	今回の提案は唐突すぎます。 時間をかけて住民の意見を聞いて、市民の意見を反映してほしい。	修正		
145	今回の提出は唐突すぎます。時間をかけて住民の意見を聞いて市民の意見を反映してほしい。	修正		
146	やっとなされた土地です。 住民優先の計画をお願いします。公有地を民間の利益を優先するような建物にはしてほしくないです。他地域からあそびにも来れるような物を。 住民の意見をもっと聞いて下さい。	参考	本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。 国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。	
147	瀬谷は、公共施設が不足していると感じます。よって、132haの広大土地利用は、特に、基地周辺の住民に永い間、負担をかけて来たので、付近住民の意見を充分に取り入れた施設を実現してほしい。沖縄の辺野古基地のような建設は絶対止めてほしい。	参考	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。 今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めて行きます。	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
148	営利事業中心ではなく、地元住民、市民の要望にこたえた土地利用をしてください。	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があります。大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っています。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
149	今回の提案は急すぎます。こういう提案はもっと時間をかけて住民の声を聞くべきです。市民の意見をしっかりと反映してほしいです。テーマパークは反対！です。	参考	<p>本市では、本地区の返還以降、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行ってまいります。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
150	<p>素案の4章のまちづくりのコンセプトの、1.まちづくりへのテーマへの意見</p> <p>「若い世代の人口増加を目指す」の文字をコンセプトのテーマに入れてほしいです。</p> <p>テーマパーク等をつくって、来場者が増えたとしても、若い世代がこの地域に住みたいと思わなければ、若い世代の人口減少が進むからです。</p> <p>若い世代が住みたい、住み続けたいと思える地域をつくっていくことを明確にするために、コンセプトのテーマに、「若い世代の人口増加を目指す」といれてほしいです。</p>	参考	<p>本市では、郊外部の鉄道駅を中心にしたコンパクトなまちづくりを進めており、鉄道駅徒歩圏（おおむね1キロメートル圏）については、現状の土地利用を踏まえつつ、駅周辺（生活拠点）への利便性を生かした良好な住宅市街地を形成するなど、土地の有効活用を図ることとしています。</p> <p>そのため、現時点で市街化調整区域である本地区においては、市街化区域を拡大して、住宅を整備するという考えはありません。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めてまいります。</p>
151	<p>現地を見て来ました。広大な土地にびっくりしました。「温暖化」が深刻な現在、いかに環境に配慮した構想が必要かを認識しました。</p> <p>◎老人ホーム、家賃の安い住宅なども建ててほしい。</p> <p>◎国有地、市有地は市長や議員のものではありませんよ！市民のものという認識に立って、すべてを決めて下さい。</p>	参考	<p>本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。</p> <p>なお、本市では、郊外部の鉄道駅を中心にしたコンパクトなまちづくりを進めており、鉄道駅徒歩圏（おおむね1キロメートル圏）については、現状の土地利用を踏まえつつ、駅周辺（生活拠点）への利便性を生かした良好な住宅市街地を形成するなど、土地の有効活用を図ることとしています。</p> <p>そのため、現時点で市街化調整区域である本地区においては、市街化区域を拡大して、住宅を整備するという考えはありません。</p>
152	民間業者のえいり目的の開発はやめてほしいです。	参考	<p>本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があります。大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p>
153	民間業者の営利目的の開発はやめてほしい。	参考	
154	民間の利益を優先する開発はやめて下さい！	参考	<p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っています。</p>
155	企業の利益のための計画ではなく真に市民生活に役立つ利用計画を樹てるよう希望します。	参考	<p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めてまいります。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
156	<p>永い間、米軍施設が、返還された、今、返還のために市民・支援者に役立つ、土地利用を計画してもらいたい。一部企業の「もうけ」の対象ではなく、市民の「いこい」の施設や災害対策に役立つ市街地整備を進めて下さい。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っています。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
157	<p>市民の財産である公共用地で、やっと米軍から取りもどした貴重なまとまった土地は、最初の計画通、防災、介護施設、子供のスポーツ・文化の場、自然をたっぷりとしたスペースとして使うべきです。</p> <p>一部の企業のテーマパーク 金もうけのために使うのはぜひやめてもらいたい。</p> <p>林市長の市政は市民の税金を使って民間企業に金もうけをさせる自治体経営にあるまじきものである。エスデージーズにも反するものです。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っています。</p> <p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
158	<p>跡土地利用計画（素案）とIRは企業利益を目指していることではまったく同一。“ブレ”がない！私企業が利益をあげても横浜市の収益にはかならずしもつながらないと思う。企業には減税処置がとられているのだから。</p> <p>大切なことは将来の若人が明かるい希望が持てるような計画つまり自然が大事にされるような計画こそ大切だと、私のような年寄りには思う。例えばメダカが絶滅危惧種になるようではダメなのです。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っています。</p>
159	<p>・民間の営利事業目的の為の開発はやめて下さい ・地元住民の要望を良く聞くべきと思います</p>	参考	<p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
160	<p>本来の地方自治の趣旨は地元住民の要望を最大限に取り入れるのが一番理にかなっていますが、基本計画（素案）はまったく無視していると思わざるを得ません。市長ならびに上瀬谷担当者は一体誰の方を向いて行政を行っているのか疑わざるを得ません。民間で出来ることは民間でというのは行政の役割を過小評価していると思わざるを得ません。民間業者のもうけの対象を増やしても地元住民の利益にはなりません。市税収入の財政不足をおぎなうためというのなら本当に安くしている法人税、法人市民税を本来の形にもどして下さい。</p> <p>営利事業中心の基本計画を変更して元々の住民目線の要望を最大限に取り入れて下さるようお願いいたします</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
161	<p>通信施設の役割が終了したあとと長期間にわたって住民への返還がされました。</p> <p>住民の要望を最優先にして市は計画を具体化すべきです。</p> <p>特に公有地は市民の要望優先に活用すべきであり民間企業の営利目的となるような大型開発・テーマパークや物流ゾーンはやめて下さい。永年かけて住民の要望ねりあげてきた福祉・防災・市民がいこえる緑豊かな公園を要望します</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
162	<p>民有地と国有地はそれぞれ約45%、横浜市の土地は1割にも満たない現況で、地権者の街づくり協議会と横浜市の協議を経て大学や民間企業も参入して4大土地ゾーン化が提案され、最終的に中心の広大な土地が観光や賑わいの大テーマパークへと収斂し驚愕しました。</p> <p>保土ヶ谷ごみ焼却場の再整備は、ごみ増加に備えての事前準備が疑われます。</p> <p>事業主体は横浜市。</p> <p>内外からの集客を目的に反対する市民がいる環状道路やリニアを推進している。</p> <p>広大な土地に同一種の花を大量に消費する里山ガーデンを誘致するのかもしれませんが、これらは真の緑や農の保全、グリーンインフラと矛盾するものです。</p> <p>農業人口の減少や東京都と比較した経済までも持ち出している商業中心主義の林市長の市政経営には脱帽です。</p> <p>同時に第2のみなとみらい地区IR事業を想起させます。</p> <p>住民目線による事業の全面的見直しを希望します。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
163	<p>横浜市に残された、貴重な公共用地は、市民生活の基本にかかわること、市民生活上大切なことに利用されるべきであって、利益追求や遊興を目的とした用途に使われるべきではない。民間企業の利益追求に使われることによっては一般市民が排除されて、一部のお金持ちに独占されるようなことは、断じてあってはならない。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
164	<p>横浜市が示した「基本計画(素案)」は、2006年に、市民要望をふまえてまとめられた農業、緑地、防災促進に重点をおいた跡地利用計画を全く無視したもので、民間企業の利益追求に偏った開発に変質しています。</p> <p>跡地の半分を「観光・賑わいゾーン」とし、集客力のある大型施設を誘致しようとしています。地域住民から病院や老人ホーム、介護施設やスポーツ施設等の建設の要望が出されています。跡地地権者の権利は擁護しながら、民間の儲けの対象とした開発ではなく、市民意見を踏まえた土地利用に見直すこと。</p> <p>見直しに当たっては、市民参加で地域住民の要望・要求の位置づけを重視した計画とし、性急な計画推進は行わないこと。</p>	参考	<p>地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画(素案)公表までにも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画(素案)について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
165	<p>農地、草地などを生かした大きな空間をもつ公園として整備されることを望みます。住民の目線に沿った病院・介護施設、スポーツ施設などが自由に解放されたら、どんなに良いでしょう。営利目的の計画案には反対します。もう一度市民の要望を聞いて計画をねり直して下さい。</p>	参考	<p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
166	<p>2006年に市が策定した「横浜から始める首都圏の環境再生」をテーマとした「跡地利用指針」を根底からひっくり返し、民間企業の利益追求に偏った大型開発への変質はやめてください。市民の意見・要望をよく聞いてすすめてください</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
167	<p>防災、環境再生を柱とした元計画を進めるべきであり、民間業者の営利事業などもつての他であります。現市長は横浜市をダメな市にしようとしている様に思われます。ぜひ元の計画に戻る事を願います。</p>	参考	<p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
168	<p>テーマパークを核とした観光賑わいゾーンに反対です。物流ゾーンにも反対です。</p> <p>2004年10月に旧上瀬谷通信施設返還合意され、横浜市は跡地がまちづくりや市民の福祉の増進に寄与する貴重な資産であるとし、「跡地利用プロジェクト」を設置し、いろいろ検討し2006年6月「跡地利用指針」を策定しました。</p> <p>その指針は「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」を利用方針のテーマと設定し「首都圏全体を見据えた防災と環境再生の一大拠点として位置付け、平常時には多く首都圏の人々が訪れ、農と緑を楽しみ、災害時には首都圏の広域防災活動拠点となる空間の形成を目指します」としています。知見の深さを感じます。この当初の方針にもどすべきです。時間をかけ行って下さい。テーマパークは全国的に廃業しています。周辺住民の雇用の場創出はまやかします。テーマパークの中だけが賑わうだけです。</p>	参考	<p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
169	<p>民間企業の営利事業には絶対反対 防災、環境再生を元にした最初からの計画を希望します。 勝手な事ばかり進める林市政絶対反対 林市長退陣!!</p>	参考	<p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
170	<p>防災、環境を元にした最初からの計画を希望します。 民間企業の営利目的事業には絶対反対。 林市長は民間企業優先ばかり。林市長退陣!!</p>	参考	<p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
171	<p>2006年に定めた旧米軍上瀬谷通信施設の跡地利用計画を営利事業中心に変更することには大反対です。10年間以上もほったらかし状態で突然変質案を出してきたことに腹が立ちます。「色々と利用の検討をしてきました。」とか「土地所有者の方々と話し合ってきました。」等々の言訳をされるのですが、真相はカジノ(IR)の白紙宣伝と同じです。</p> <p>カジノの市が収入を目的とする1200億円のために市民・国民そして外国人の人達から6000億~7000億円をカジノ企業が騙し取らない限り表現しません。賭博は刑法で厳禁されていました。安倍政権は自民公明議員数の量を利用して刑法違反を無視した犯罪を実行したのと同じです。『税収を増やすから計画を変質させてもよい。』では林市長は市の最高責任として「白紙」として市民を騙した手法と同じです。本当に市民の為に政治をしているとは断言できません。そしてもう一つ。職員の皆さんへ。上記の様な「市長」に従うだけでよいのでしょうか! 営利事業は安倍政権がやってきた一部(1~3%)の富裕層だけが財産を数倍以上に増やした政治と同じでよいですか! 本当に市民の為に使うお金にならないと考えていますよ。</p>	参考	<p>一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
172	営利事業中心はやめてください。最初の計画どおりに地元住民の要望の介護施設、病院、スポーツ施設などを是非お願いします。	参考	「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。 「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様との意見、要望等を踏まえ、作成したものです。
173	2006年の跡地利用方針は「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」としていたのに、なぜ今回の計画はテーマパーク誘致等に変更したのでしょうか？納得がいきません。 民間の営利事業向けの開発ではなく地元住民の要望に沿った、病院・介護施設・防災等、元の計画方針に戻って下さい。	参考	医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。
174	米軍上瀬谷通信施設の跡地利用について 元計画 防災 環境再生を実行して下さい 民間企業・営利事業は中止して下さい 民間営利事業開発ではなく地元住民要望 病院・介護施設 スポーツ等 環境再生を	参考	一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化化することとしました。 また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。
175	132ヘクタール中82ヘクタールもテーマパーク用地等にしている計画には反対です。今どきテーマパーク、古すぎます。私は大和にあるシリウスのような市民のコミュニケーションが深まる施設がほしいです！ご近所と知り合いになっておく事が一番の防災になると考えるからです。 計画は民間企業に利するよう作り変えられたと感じます。せめて2006年の「農、緑、防災の野外活動空間」というコンセプトに戻してほしい。	参考	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。
176	2006年の利用方針は、「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」として利用する。としていたのに、今回の素案は、132ヘクタールのうち、半分にもならない50ヘクタールだけが、公園・防災などの公共的利用になるだけでのこりの82ヘクタールは、テーマパーク用地になっています。 地域住民の声を聞いたのですか？テーマパーク等の民間営利事業になれば、地域環境は著しく変貌します。交通渋滞、騒音等地域に及ぼす影響も考えたのですか？ 病院や介護施設、スポーツ施設、図書館など住民の強い要望を受けとめ、2006年の方針に基づく計画に一旦もどって再考して頂くよう強く要望します。	参考	医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。
177	2006年に市が策定した「横浜から始める首都圏の環境再生」をテーマとした「米軍施設跡地利用指針」を根底からひっくり返し民間企業の儲けの対象とした大型開発への変質です。 2006年跡地利用方針は上瀬谷について「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」としていますが、今回の計画では、132ヘクタールもの公有地のうち公共的利用に供されるのは公園・防災の50ヘクタールだけで残りの82ヘクタールはテーマパーク用地等になっています。 民間の営利事業向けの開発ではなく、病院や介護施設、スポーツ施設等の地元住民の強い要望を受け止め、2006年の環境再生を柱にした元計画に立ち戻るべきです。	参考	また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。 一方、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化化することとしました。 また、本地区では広く市民の皆様が利用する公園等の土地利用も行っていきます。
178	①公有地跡地（132ha）のうち82haを大型集客施設やテーマパークにするという「基本計画(素案)」には絶対反対です。2006年の環境再生の元計画に立ちもどして下さい。 ②跡地利用には、病院、介護施設、スポーツ施設など、住民の要望もよく聞いてすすめて下さい。	参考	なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。 国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。 国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。 今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
179	<p>(1) 旧上瀬谷通信施設の跡地242ヘクタールは、2006年6月横浜市が策定した指針では、「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」をテーマとして「首都圏全体を見据えた防災と環境再生の一大拠点として位置付け、平常時には多くの首都圏の人々が訪れ農と緑を楽しみ、災害時には首都圏の広域防災活動拠点となる空間の形成を目指す」としています。今回発表された「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(素案)」は公有地132ヘクタールの内82ヘクタールと民有地(農地)110ヘクタールの内60ヘクタールを合わせて142ヘクタールを「防災と環境再生」に無縁な利益追である「観光・賑わいゾーン」と「物流ゾーン」となっています。</p> <p>(2) 当初案に立ち戻り見直しをして下さい。</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置(換地)については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
180	<p>旧上瀬谷通信施設は、2015年6月に返還された米軍施設の跡地で、農地・草地などみどり豊かな面積約242ha(国有地約110ha:45%、市有地約23ha:10%、民有地約110ha:45%)に及び首都圏で貴重で広大な土地です。横浜市は「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(素案)」(以後「基本計画(素案)」)とします)を取りまとめ、2020年1月15日(水)から2月14日(金)にかけて市民意見募集等としています。市民意見募集に当たり党市議団の見解を公表します。</p> <p>旧上瀬谷通信施設は、農地や山林であったところを旧日本海軍が使用していましたが、戦後は米軍に接収され利用されてきました。2004年10月、日米合同委員会において、市内米軍施設6施設を対象とした返還方針が合意され、この中には旧上瀬谷通信施設も入っていました。横浜市は、米軍施設の跡地が、まちづくりや市民の福祉の増進に寄与する貴重な資産であるとして、2004年10月から、市経営責任職による「横浜市返還施設跡地利用プロジェクト」を設置し、跡地利用の検討を進めました。2005年7月には、学識経験者等を委員とする「横浜市返還施設跡地利用構想検討委員会」を設置し、市会基地対策特別委員会の意見も交えながら、同12月に同委員会は「返還施設の跡地利用に関する提言」を出しました。この提言は、米軍施設の跡地を活用し、新たな時代要請である環境への積極的な取り組みを進めるという環境に重点を置いたものでした。横浜市は、多くの市民のみさんから支持されたとして、この提言を尊重して2006年6月に「横浜から始める首都圏の環境再生」を全体テーマとする「米軍施設返還跡地利用指針」(以後「2006年跡地利用指針」とします)を策定しました。</p> <p>この「2006年跡地利用指針」は、旧上瀬谷通信施設について「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」を利用方針のテーマと設定し「首都圏全体を見据えた防災と環境再生の一大拠点として位置付け、平常時には多く首都圏の人々が訪れ農と緑を楽しみ、災害時には首都圏の広域防災活動拠点となる空間の形成を目指します」としています。東日本大震災の被害を目の当たりにする前の時点でのこのような指針を持っていたことは、自治体としての知見の深さと大都市としての役割を意識したものと考えます。また、旭区や瀬谷区の「都市計画マスタープラン」にも、「土地利用の方針」や「都市環境の方針」に、豊かな自然や農業の展開と共に、「全市的・広域的課題への対応等」を検討」とされています。</p> <p>しかし、2015年6月上瀬谷通信施設返還後の本市の対応は、2006年跡地利用指針等の方針・計画から逸脱したものになってしまいました。2016年4月に「農業振興ゾーン」と大規模開発につながる「土地活用ゾーン」からなる「跡地利用ゾーン(案)」を公表。さらに、2019年7月には、「観光・賑わい」「農業振興」「公園・防災」「物流」から成る土地ゾーン案を公表、跡地の半分を観光・賑わいゾーンとして、集客力のある大型施設の誘致宣言です。そして、今回の「素案」では、まちづくりのコンセプトとして、「郊外部の新たな活性化拠点を形成～みらいまで広げるヒト・モノ・コトの行き交うまち～」を目指していくことをテーマとし、3つの方針を新たに位置付け、土地利用ゾーンでは観光・賑わいゾーンを「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点を形成」と踏み込んだ内容となっています。</p> <p>党市議団は、2019年9月の決算特別委員会都市整備局審査で計画が観光・賑わいに偏重していることと地権者と開発事業者主導という問題点を指摘し、見直しを求めています。</p> <p>「素案」は、「第3章」において、地権者による将来の土地利用を検討する「まちづくり協議会」(2017年11月設置)は、2019年、土地利用の具体案作成に民間企業の参加を求めてきた中で、突如将来的には年間1500万人もの訪問客を見込むとするテーマパークを中心とした土地利用を「今後検討を深度化すべき提案として決定した」とし、さらに、土地活用事例として「物流施設」の提案をも受けたとしています。「素案」は、民間企業からの提案を丸呑みしたものです。地権者の意見を聞くのは当然のことながら、民間企業の参画によって、上位のまちづくりの計画をもひっくり返す利益追求に偏った開発優先へと大きく変質させたものと言わざるを得ません。</p>	参考	<p>1 米軍施設返還跡地利用指針について 「米軍施設返還跡地利用指針」(以下、跡地利用指針)では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、跡地利用指針策定後の社会経済情勢の変化へ対応しながら作成したものです。</p> <p>2 地権者との検討の経緯について 旧上瀬谷通信施設は、面積242haのうち民有地が約45%を占めますが、米軍施設として使用されてきたため、農業基盤の整備や栽培する作物に厳しい制限がかかるなど約70年間にわたってその土地利用が制限されてきました。横浜市では、このような経緯から地権者の皆様の早期の生活再建を念頭に置き、地権者の意向を踏まえた将来の土地利用の実現が必要と考え、地権者と意見交換を行いながら検討を重ねてきました。</p> <p>地権者の皆様は、平成29年に旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会(以下、まちづくり協議会)を設立し、民間企業の協力を得ながら都市的土地利用や農業振興の実現に向けて検討を重ねました。本地区は、地権者の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり大規模な民有地の土地利用を検討する上では、民間企業の協力が不可欠となります。令和元年に協議会は、観光・賑わいゾーンの土地利用について民間企業の提案を踏まえ、テーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。11月には、6月からまちづくり協議会と横浜市で検討を進めてきた土地利用ゾーンがまとまりました。</p> <p>3 周辺の市民との検討の経緯について 平成27年6月の返還後には、市民などの意見及び要望を踏まえながら、将来の土地利用を検討するとともに、検討の経緯や土地利用の検討の方向性をとりまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画(協議会・横浜市素案)」等について、市会で報告するとともに、ホームページで公表し、情報提供に努めてきました。瀬谷区、旭区においては、土地利用基本計画(素案)公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用の考え方について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきました。また、土地利用基本計画(素案)については、令和2年1月15日から2月14日までの間、市民意見募集を行うとともに、1月19、21日には、瀬谷及び旭公会堂で説明会を開催するなど、市民の皆様へ意見を伺ってきました。</p> <p>4 本市のまちづくりとの整合について 土地利用基本計画では、人口減少社会の到来や超高齢社会の進展などの横浜市を取り巻く状況や社会経済情勢の変化、中期4年計画などの上位計画を踏まえ、本地区のまちづくりにおいて、豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成～みらいまで広げるヒト・モノ・コトの行き交うまち～」を目指していくことを位置付けました。併せて、「多様な交流による、賑わいと活気のあるまち」、「活力ある都市農業と緑をいかした魅力あるまち」、「将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまち」の方針としています。</p> <p>地権者の皆様を検討を深度化することとしたテーマパークを核とした土地利用は、本地区のポテンシャルを最大限生かしているとともに、国内外からの交流人口の増加を見込めることから、市のまちづくりの考え方に合致すると考えています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点を形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>5 医療施設・福祉施設等の整備について 医療施設や福祉施設の整備については、今後、本地区の立地や周辺</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
	<p>また、「第4章」まちづくりのコンセプトにおいて、「将来予想される課題への対応」の項目に、「医療、福祉、公園型墓園等を検討」が書かれてはいますが、カッコつきです。さらに「第5章」の土地利用においては、どこにも見当たりません。地域住民からは、病院や老人ホーム、介護施設やスポーツ施設等の要望が大きいのですから、本気で取り組む姿勢を示すべきではないでしょうか。</p> <p>最大の問題点は、132haもの公有地のうち、公共的利用に供されるのは公園防災の50haだけ、残りの82haはテーマパーク用地とする点です。110haの民有地（農地）で、農地として利用継続するのは50haと半分にも達していません。このように「素案」の土地ゾーン案では、緑地として利用されるのは、農地と公園の100haで全体の4割だけ、残り6割142haは「環境再生」とは無縁なテーマパーク、倉庫等に利用です。</p> <p>「2006年跡地利用指針」の「基本姿勢」には、70年以上の間、米軍基地があるがゆえに大きくまちづくりが阻害されてきたことをうけて「跡地利用を計画するにあたっては、接収という厳しい歴史的経緯を経て現在に至っていることを認識しつつ、これからの時代に広くその価値が認められるような大規模空間の利用のあり方を、市民はじめ関係者の総力を挙げてかたちづくっていきます」としています。これまでのまちづくりや当該指針に立ち返って「基本計画（素案）」は出されるべきでした。地権者の権利擁護は行いつつも、民間の儲けの対象とした開発ではなく、市民意見を踏まえた土地利用の考え方を示すものとするべきです。よって、以下について求めます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1、公有地82haを民間資本等の使用に供することになる、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（素案）は、2006年6月に横浜市が策定し「横浜から始める首都圏の環境再生」を全体テーマとする「米軍施設返還跡地利用指針」に立ち返り、抜本的に見直しすること。</p> <p>2、公有地部分の見直しに当たっては、街づくり協議会とは別の組織を立ち上げ、審議すること。</p> <p>3、見直しに当たっては、市民参加で地域住民の要望・要求の位置づけを重視した計画とし、性急な計画推進は行わないこと。</p>		<p>の整備状況、需要等をみながら、必要性を含めて検討することにより、整備について判断していきます。スポーツ施設の整備については、レクリエーションの場の創出のため、スポーツ施設の整備を土地利用基本計画に記載することとしました。</p> <p>6 国有地・市有地の配置について 当地区のまちづくりでは、市施行による土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。国有地の配置については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討していきます。</p> <p>次に、要望についてお答えします。</p> <p>要望1について 「1 米軍施設返還跡地利用指針について」に記載するとおり、土地利用基本計画は、跡地利用指針の考え方を継承し、跡地利用指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の意見、要望等を踏まえ作成していますので、抜本的に見直す考えはありません。</p> <p>要望2、要望3について 「2 地権者との検討の経緯について」に記載する地権者の状況を踏まえ、引き続き地権者の皆様と検討を重ねながらまちづくりを進めていくことが重要です。 また、上瀬谷のまちづくりについては、計画地全体のまちづくりのテーマを「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とし、それを目指して取り組んでおり、各ゾーンや周辺地域が連携し、人やものが行き交い計画地全体の価値が向上することを期待しています。そのため、地区全体で検討を進める必要があります。 今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。公有地も含めた具体的な検討は、「6 国有地・民有地の配置について」に示すとおり今後、進めていきます。土地利用基本計画の策定にあたっては、「3 周辺の市民との検討の経緯について」に示すとおり進めてきました。今後も事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながら、まちづくりを進めていきます。</p>

土地利用について

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
1	私は、瀬谷区相沢に住んでいる者です。瀬谷で生れ、育ち、ずっとこれまで瀬谷に住んできました。跡地のテーマパーク化には絶対反対です。理由は、子供や、孫たちに持続可能な環境を破壊しない瀬谷を残したいからです。テーマパークは大量の電力を消費します。CO2を減らし、温暖化を止めるためにも、環境再生を考えた当初の計画に戻るべきです。テーマパークは一時は人が来るかも知れませんが、横浜ドリームランド、ワイルドブルー横浜と同じ運命をたどる危険性が大きいと思います。さらに、テーマパークは居住環境を悪くするのは確実です。いわゆる観光郊外と言われるものです。今のままの自然を残し、子供や孫達が自然の中で思いきり遊べる場所を残してやりたいと思います。観光にぎわいゾーンをなくし、自然体験ゾーンを作る。又、森や、池や、川を作り、生き物をふやす。そういう方向に転換して欲しいと思います。	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応しながら作成しています。</p> <p>また、旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
2	とにかく緑をいっぱい残してほしい。商業施設はいらぬ。観光・賑わいゾーンはいらぬ。東京都の立川市、昭島市にまたがる「昭和記念公園」をモデルに、緑が多い公園にしてほしい。名前は平成天皇の記念として、「平成記念公園」がいいと思います。せつかく残されてきた大地 それを生かす緑の政策を期待します。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農とのバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p>
3	観光地化せず横浜だからこそ、自然保全。生態系に影響が及ばないように保持を要望します。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>また、まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
4	観光・賑わいゾーンを縮小し、公園・防災を拡張することを望みます。もし国際園芸博覧会を開催するのならその後は、そこに大規模な商業施設（市内にはもう十分な施設がある）などを建設せずに、広大な草原（ススキ等）、原っぱとして維持・管理していただきたい。絶滅のおそれのある動植物の多くは、草原性、湿地性のものがあり、市民がのびのびと遊べる草原、原っぱというひろびろとした空間を確保・維持しながら、絶滅危惧種を保全することの意義は大きいと考えます。なお、草原、原っぱは植物遷移の途中段階であり、長期的に維持するには定期的な攪乱が必要ですが、3月に野焼きを行い、市民が楽しむことのできる早春の祭りとして展開することで、観光と賑わいも創出できると考えます。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>また、まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
5	返還前、個人的に何度か当地周辺で自然観察を行ったことがあります。初夏の朝、市内では珍しくカマウの声を聞くことが出来ましたし、冬季にはアリスイ（キツツキ科 市内では稀）を確認することも出来ました。残念なことには当時は米軍の所有地であったため、立ち入ることは当然できず、敷地に接する道から外側からのみの観察であり、悔しい思いもしてきました。今回の利用計画につきまして、折角の残された自然環境が人工的な美しさの施設、園芸植物のための一時的な地区の知名度、PR強化に使われることは甚だ残念なことであります。本来の自然のなかでの植物、昆虫などの小動物や鳥の繋がりが維持される持続可能な財産として後の世代に残していくことを強く希望します。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>また、まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
6	1月19日の説明会に参加しました。この旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（素案）に反対します。大型施設やテーマパークは不要です。奇跡的に残された緑地を最大限生かし、大部分を自然公園と農耕地にすることを要望します。一刻の猶予も許されない温暖化防止に、この土地を役立ててください。相沢川周辺にはかろうじて湿地と呼べる環境が残っています。ここをもっと広域にして、温暖化防止に役立ててください。大勢の人を呼び込むなど、都市部への一極集中を悪化させるような事業はやめてください。経済を回しても、自然がない環境では人間も健全に生きていくことはできません。トキやコウノトリが舞い降りる広大な緑地を想像してみてください。ワクワクするでしょう？それが動物である人間の自然な姿です。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>また、まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
7	<p>和泉川水源と自然公園を望みます。 近辺に「グランベリーパーク」があり瀬谷まで観光賑わいゾーンは不要 箱物商業ゾーンでは子供たちの心は育成出来ない。 今の日本に何が必要かと問われれば教育と自然環境の充実です。 40年近く前から子供達や犬と一緒に車で行きサッカーやキャッチボールをして楽しんだ場所です。 家族連れには最適な場所であるような広い空間は横浜市内で存在を知りません。 遊具やゲームセンターの類は不要です 木々があり小川が流れ多くの野鳥が集まる自然環境こそが瀬谷の環境に一番適しています。 大和市にはシリウス（図書館と文化の拠点）があり利用者1000万人を超えましたが駅からほど遠くない所にふれあいの森と引地川源流「泉の森」があり自然観察センターなど設備が充実していますが大事な基本は自然と教育です。 米軍上瀬谷通信施設跡地にも和泉川源流があります。 この辺りも以前はうさぎやキジ以外にも珍しい野鳥が沢山いました。 高層ビルがなく畑があり遠くに丹沢連山を眺めることが出来、夜、星の観察が出来る唯一の場所を残して欲しいと願います。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。 また、まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
8	<p>従来の方針では、大部分を緑地や農地、公共施設として利用するとしていたと理解しておりました。 今回の素案では、跡地の半分以上が集客を目的とした形態をとることになっています。 既に殆どの纏まった土地が存在しなくなった瀬谷区です。 せめて幸運にも残った土地の利用は、将来の世代が如何様にも利用できるような選択肢を増やしておきたいと望みます。 観光賑わいゾーンを物流ゾーン側の三分の二部分に縮小し、残りを農地や緑地に変更することを希望します。</p>	参考	
9	<p>・SDGsに沿う跡地利用をしてください。そぐわない観光施設はいりません。 ・SDGs『すべての人に健康と福祉を』からすると、大気がきれいとはいいがたい横浜市の場合、跡地の緑はいわば肺機能、壊さないで残すことが沿うこととなります。SDGs『気候変動に具体的な対策を』にも繋がります。 一部の跡地利用には“緑のコミュニティ”を主眼にした小屋付き畑を提供するなど市民の健康増進と食糧自給を図りたい。 ・SDGs『安全な水を世界中に』『陸の豊かさを守ろう』に沿い、隣接する瀬谷市民の森から湧き出る和泉川源流を絶やすことなく活かしてください。</p>	参考	
10	<p>瀬谷にごまんと人を呼ぶ必要はありません。 自然がたっぷりあるので、その貴重な自然を活かして、人々を癒す景観を作れば良い。 他ではまねの出来ない、懐かしい日本の風景を再現すること。 そこで生活体験(炭焼き、葉仕事、年中行事、稲作等)ができるようにする。 テーマパークは要りません。</p>	参考	
11	<p>私は若葉台在住ですが、40年前越して来た当初から上川井の農家の方たちと親しくなり、上川井の野菜を若葉台の路上で販売するという仕事を30年やってきた者です。 お世話になった農家の畑は米軍施設に隣接していて、私はあの辺りにはよく散歩に行きました。 たぬき、雉子、野兎、ひよどりの大群等々生き物も色々見ましたが、何と言っても風景です。高所から見ると、箱根連山から大山、丹沢山塊とその上に座して不動の富士山、秋から冬にかけての夕暮れ時はまるで“セザンヌの絵”のようだと言っていました。 今やどこに行ってもビル、ビル、ビルの林立でこの様な風景が都心の近くに残っているのは貴重です。是非共この風景を生かす利用開発にしてほしいです。20年後、30年後に横浜には美しいオアシスがあるよ、と世界に誇れるような形にしてほしいです。 港にIRが要らないのと同じで、山にも余計な商業施設はいりません!!</p>	参考	
12	<p>緑が少なくなっているため、緑は貴重です。地球温暖化を防止するためにも、あまり手を入れないで公園として残してほしい。 ロンドンのハイドパークのように、都市の中に、あれだけの緑を残せば、観光客も誘致できるし、周辺の気温も下り、何より空気がきれいになります。ぜんそくの子や孫も喜びます。 ◎テーマパークは絶対、反対です。</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
13	<p>瀬谷区の自然をこわさないで下さい。静かで、住みやすい所だと思っています。新しい予定では、公園はずい分と遠い場所ですね!! そして、にぎわいゾーンよりも、せまくて。自然があり今のままでよいと思っています。ただし、交通（バスなどをはしらせてほしいです。）みんながいいなと思うような所を願っています。よろしくをお願いします。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>また、まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
14	<p>昔から瀬谷に住んでいる人は海軍道路と道路わきの広い草っぱらに親しみを感じ生きてきました。 今も早朝にそこを通ると人工物の一切ない視界のはるか向こうの森の上から日の出を拝すことができます。 横浜という都会の中で、このような開発の及んでいない場所を我々はありがたく思います。 市民にとっての必要な防災という観点での開発であれば、最小限且つ環境に配慮した形にして頂きたい。 例えば建築物は県内産の木材を使った低層のもので、視界に入らないように窪地内に納めるなど、環境再生面では、今ある荒れた森や林を手入れする。 スギやヒノキといったアレルギーとして影響あるものを伐採し、広葉樹、落葉樹、山さくら等花を楽しめる木を植樹し、ある意味明るい、開けた、あか抜けた森、公園にすることで、人も、鳥や小動物も喜ぶ環境が作れると思います。 花博をするにしてもそんな管理環境の中で、自然を壊さない形で出来たら素晴らしいと思います。 ここに暮らしている人たちは誰も物流ゾーンを歓迎していないし、もっと相応しい場所があると思っています。 観光賑わいゾーンにしても、この場所に必要なものなのか、よく考えていただきたい。 空き地を手に入れると何かお金を使って作らなきゃ!と云った考え方をいつまで続けるのか? 再考願いたい。 よくよく考えて、新たなスタイルを作り上げていただきたいです ね。</p> <p>日本で最も美しい図書館のひとつと言われている、秋田「中嶋記念図書館」ですが、これが作られた背景、プロセスは一つの参考にして頂きたいと思います。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>4つのゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p> <p>なお、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
15	<p>自然に恵まれた広大なせっかくの土地大切に有意義に使って下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民とくに若物、子供達が自由にのびのび動ける場、広場に。災害のものもの時にも役に立つように。 ・人口減、収入減に向う中お金をかけるテーマパーク（利益は人々に）は不要。 ・せっかくの広大な土地 なるべく自然のまま緑のまま皆がホッと深呼吸出来る場に。 	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>また、本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行ってまいります。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めてまいります。</p>
16	<p>この地域は私の大切な日常生活の場です。自然環境を保全し、平穏な生活が維持できるよう注力して下さい。全面積の半分を超える「観光・賑わいゾーン」やテーマパーク、「国際園芸博覧会」に反対です。地球環境の危機や観光公害への対応が全くできていない、この構想では未来にはつながりません。人が集まって賑やかなら良いというものではありません。過剰に過度に人が集まることの弊害も考えるべきです。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>国際園芸博覧会についてですが、本地区において、基盤整備の促進、国内外への地域の知名度やイメージの向上、さらには国内外の先進的なまちづくりに寄与するため、国際園芸博覧会の開催に向けた検討を進めています。開催後の土地利用については、本地区全体でそのレガシーを継承・発展していきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
17	<p>私は近隣の緑地で自然観察のガイドを務め、生物多様性を守る為の保全活動を行っております。 11年程前から旧上瀬谷通信施設跡地において、自身の勉強のために野鳥や昆虫などの観察を行ってきました。 ここは森に近接して広大な野原が残されています。広大な草地は貴重な存在で、草地が必要な貴重な生物がたくさん生息しております。 野鳥ではキジ、セッカ、ヒバリ、チョウゲンボウなどがおり、昆虫も多様なバッタ類や、草原にしか暮らせないチョウ類などが暮らしております。</p> <p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画は、生物多様性の視点が全く足りておりません。 全国でも先進的な取り組みである「みどり税」を導入し、緑地や農地を守る取り組みをされている横浜市がこのような計画を作るとは驚きでした。 アミューズメントパークを作るより、緑地としての保全を行う方が、理にかなっていると思います。 是非、計画の再考をお願いいたします。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>また、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。この土地区画整理事業を実施していくために必要な手続きとして、現在、環境影響評価の手続きを行っております。環境影響評価とは、事業の必要性や採算性だけでなく、環境にどのような影響を及ぼすかについて事前に調査、予測、評価を行い、その結果を公表し、市民の皆様からご意見を聴き、このような手続きを踏まえ、環境の保全の観点から事業計画に反映させる制度です。</p> <p>引き続き、環境に配慮をしながら事業を進めていきます。</p>
18	<p>旧上瀬谷通信施設の土地利用の件で観光賑わいゾーンが提示されました。 テーマパークを核とした・・・と有りますが、その中心部に相沢川が流れ、川沿いには田んぼや畑（以前は田んぼ）が広がっています。</p> <p>私は、瀬谷環境ネットの一員として、2008年から毎月1回相沢川沿いの生き物の観察会を行っています。 この場所が観光賑わいゾーンになるとの事で、現在の自然環境が壊されることを危惧しています。</p> <p>この場所では、昨年7月に環境省の絶滅危惧II類（VU）のオオアカバナが神奈川県で初めて確認されました。 また同年9月には神奈川県レッドデータブック“繁殖期・絶滅種”のオオジシギが飛来しました。 このような環境を何とか残していただきたいと、メールする次第です。</p> <p>下記は瀬谷環境ネットのホームページです。 http://seyakankyonet.org/index.html</p> <p>下記は、瀬谷環境ネットの昨年7月の植物観察記録です。 https://seya-kankyo-nt.hatenablog.com/entry/35491138 オオアカバナが載っています。</p> <p>下記は、昨年9月の野鳥観察記録です。 https://seya-kankyo-nt.hatenablog.com/entry/2019/10/03/151828 オオジシギが載っています。</p>	参考	
19	<p>「観光・にぎわいゾーン」としてテーマパークを作ることに反対です。 人口減少、高齢化社会であるのに大型のハコモノで賑わいを作り出そうということに時代錯誤を感じます。 これからは市民力をあげるため、コミュニティの強化となるような施設が必要だと考えます。具体的には市民が学び、交流でき拠点、会議室やフリースペース、図書館などが一体化した施設。イメージとしては大和市のシリウスが好例瀬谷にはまだ自然が多く残されており、自然を生かした市民の交流の場を作ってほしい。 例えば里山の再現、環境保全の教育、農園を通しての農体験等。学びや体験を通して異世代との交流ができる場を作って欲しいです。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
20	<p>瀬谷には、豊かな自然がいっぱいあります。 それを売り物にしてきたのに、緑をこわすようなことはしてほしくないです。 緑と水の豊かな瀬谷のイメージをこわす事はいけません。</p> <p>テーマパークって何でしょうか？ ドリームランド、向ヶ丘遊園、としまえん、みんな潰れてしまった。 一時的に賑わっても、長くは続かない。 自然だけではずっと続くのだから、そこをうまく活用すればよいのです。 お金もかかりませんよ。</p>	参考	<p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
21	<p>観光・賑わいゾーンについて 現在観光・賑わいゾーン内にある、田んぼや、水辺の自然を生かした、観光農園や市民参加型の農業体験ゾーン、環境学習農園にしてはどうか。現在提案のテーマパークであれば、126haは広すぎる。箱物は要らないので、半分以下でよい。</p> <p>物流についてはよく分からない</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>横浜市中期4か年計画2018～2021において、コンパクトで活力のある郊外部のまちづくりとして、駅やインターチェンジの周辺、米軍施設跡地等の都市的土地利用が見込まれる地域では、緑や農地の保全とのバランスや周辺環境との調和を図りながら、ロジスティクス産業などを含めた戦略的な土地利用を推進するとしています。</p> <p>本地区では、こうしたまちづくりに関する方針等をふまえたうえで、東名高速道路や保土ヶ谷バイパス、八王子街道（旧国道16号）に近接するという本地区のポテンシャルを活かせる施設として、また物流として土地活用をしたいという地権者の意向があることから、物流ゾーンを選定しました。</p>
22	<p>永らく米軍の支配下にあった土地が返還され、今後の横浜市の発展に寄与できるようにすることは、大変喜ばしいことです。</p> <p>そうであればこそ、中長期的見通しをもった土地活用を考えることはとても重要です。計画実施のスピード感も重要ですが、拙速であってはなりません。</p> <p>今回の素案説明を聞き、観光・賑わいゾーンの核として考えられているのがテーマパークだと明らかになり、またそれが全体の中心に置かれていることになりました。テーマパークが、将来負の遺産とならないかとても心配です。</p> <p>今回の素案に、基本において抜け落ちていと感じるところがあります。地球温暖化対策、環境負荷軽減施策の視点です。30年前の昭和であつたら、こういう素案になるのもやむを得ないでしょう。しかし令和の時代、今の日本の抱える現状を抜きにしてこの土地活用を考えることはできません。</p> <p>短絡的な太陽光発電の基地とは言いませんが、温暖化対策のシリコンバレーを横浜市にこそ構想して頂きたいのです。</p> <p>次に改善を求めるのは、防災ゾーンの置き方です。どうも観光・賑わいゾーンにより隣に追いやられたと思えます。現在は環状四号線沿いの南側が広域避難場所に指定されていますが、その機能と位置は今後も重要で変えてはいけません。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>また、土地利用としては「農業振興ゾーン」、「公園・防災ゾーン」、「物流ゾーン」、「観光・賑わいゾーン」の4つを設定し、一定規模の区画設定を前提として検討を進めます。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p>
23	<p>戦争の悲しい出来事の影響があつてですが、横浜市の西部 東名高速で 東京から30分の横浜・町田インターの周辺に ディズニーランド4個分の大自然のままの土地が 手つかずで残っていることは奇跡です。私は この奇跡の土地が 「緑と土と農業と食の自然の街」として、100年500年1000年先の私たちの子孫に喜ばれる開発がされることを望んでいます。</p> <p>人口の減少。日本は下り坂の時代に入ったと言われてます。その中で近年、自然回帰のまちづくりが盛んに行われています。たとえば、星野リゾートが「星のや軽井沢」で日本の原風景を堪能して、意のままに食事処を選び 気ままに逗留できる 若い人達が集まるリーズナブルな価格の宿を展開して にぎわっているようです。また、茨城県土浦では「BEB5土浦」で自転車好きに特化したホテルで 土浦の街の活気を図っています。この瀬谷にある可能性は計り知れません。</p> <p>私の理想ですが、横浜市東部 MM21地区が「港と観光・公園・遊園地、宿泊、ショッピング、オフィス等の都市とリゾートが合体した街で繁栄しているのに対して、西部 瀬谷地区は 海軍道路の西側の農業振興地は 北海道の富良野のような「瀬谷フラノ」とでも称して、トウモロコシのもぎ取りや トマト・きゅうり・さつま芋や 土から野菜や果物を収穫して パーベキューコーナーでの食事ができたり もちろん持って帰れる農業パークを創ったら良いと考えています。農家は共同して 農業法人を創ったら 年間の収入も安定して お嫁さんも来るのではないのでしょうか。</p> <p>東側は「瀬谷軽井沢」。瀬谷野菜を使ったレストランやカフェ、総菜・ジャム等の販売、瀬谷ビールもありますし、公園・スポーツ施設や 星が見えるコンサートホール、風を感じられる 野外図書館など併設の イギリスやフランスのような 牧歌的な建物で統一したら 店舗や宿泊施設 グランピングなど 自然の田舎町を創ったら、在住の住民も 多くの人が都心や 遠くからも訪れる 活気があつて 世界に一つだけのステキな街ができるに違いないと信じています。 おまけに ズーラシアもありますし。</p>	修正	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p> <p>なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
24	<p>テーマパークは反対です。公園緑地を素案の倍に増やし、緑豊かな空間を残してほしい。賑わいゾーンはなくし、スポーツ、医療、研究施設、国による予算をつけて、ゆったりとした、研究都市を目指すべきです。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>観光・賑わいゾーンについては、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haするなど、まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
25	<p>保土ヶ谷カントリーとの関連で、観光・賑わいゾーンでなく、旭区でも使える野球・グラウンドなど旭区の人にも充分利用出来る施設にして欲しい。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p>
26	<p>基本的に緑地を減らすことには反対です。その上で妥協策として提言します。 1. 観光・賑わいゾーンは不要です。 2. 物流・農業ゾーンは素案通りで可です。 3. 公園・防災ゾーンを拡張し、災害避難場所（緑に囲まれた空地）、運動公園を充分に確保する。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p>
27	<p>アメリカ海軍上瀬谷通信施設跡地利用基本計画素案に反対する。物流ゾーンや観光、賑わいゾーン等一切 造るべきではない、通信基地 返還3～5年後から、野鳥が激減している 特に二ホンキジの見る機会が無く残念です 施設内跡地の地権者より買上げて、大きな公園等にすべきだと思うのです。 保土ヶ谷カントリー倶楽部も移転する話を聞くが、旭区 瀬谷区 区境が変更になったと聞くが、中央の道路が区境との話を聞くが本当か？ 公園以外の開発はすべきでない。横浜に残る大きな土地です「後世に残そう。」 他の開発には反対する 一市民の意見です。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>また、土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様への意見、要望等を踏まえ、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>なお、現時点で旭区と瀬谷区の区境を変更する考えはありません。</p>
28	<p>上瀬谷跡地の「観光・賑わいゾーン」計画に反対します。跡地には、民間の営利事業ではなく、病院、介護施設、図書館、児童館など、または、緑豊かな公園をもとめます。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>観光・賑わいゾーンについては、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>また、公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
29	<p>横浜市内で、ここまで広大な自然を残しているところは少ないと思います。特に海軍道路沿いの広場は開放されていたころ、桜並木と共に市民の憩いの場となっていました。あの広場を他の場所と大差ない建物などにしてしまうのは、残念です。広場を公園ゾーンに組み入れ、開放し、市民が憩える場にしてください。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。</p> <p>土地利用の転換により、現在のはらっぱを残すことは厳しいと考えています。公園・防災ゾーンに広場を確保する等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
30	<p>「観光・賑わいゾーン」の変更意見 ・この広い二度と手に入れることが出来ない貴重な土地です。これは広く中広い層市民の心のやすらぎと健康作りに役立つスペースとすべき土地です。 ※このゾーンは「健康とスポーツのゾーン」に変更すべきと提言します。</p> <p>緑の木々、四季折りの花の木ゾーンに野外スポーツがさまざまに楽しめるグラウンドを配置し、広く市民が親しみ、健康作りが安価に提供できる[「世界に誇れる」緑と花とスポーツパーク]にすることを提案します。</p>	修正	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきますが、スポーツ施設を整備することについて、「4章まちづくりのコンセプト」を一部修正しました。</p>
31	<p>現在、人類にとって一番の課題は地球温暖化を防ぎ、生態系を保護する事でしょう。一度壊した自然は、元に戻りません。年間1500万人も人を呼ぶ事はできないし、して欲しくもない。テーマパークの「テーマ」は何なのか、はっきり言って下さい。「観光ゾーン」は120haから50haまで、公園防災ゾーンを50haから120haへ増やして、少しでも破壊を少なくする事。 「水と緑の瀬谷」といつまでも言えるように、現在の空間をできるだけ、広く残して欲しい。 緑と自然は将来も、人間をいやし、支えてくれると思います。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>また、具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行っていきます。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p>
32	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画について（要望）</p> <p>瀬谷区(旧戸塚区)に幼児の頃より今に至る70年以上居住するものであり、米軍に接収されていた時期 その周辺の森などを遊び場に、こよなく瀬谷区を愛するものとして一言申し述べます。</p> <p>全体計画について、公園・防災ゾーンが少なすぎるでしょう。現在の「通信隊原っぱとその周辺」は災害時広域避難場所であり、平らな場所であるからこそ避難場所としてテント張りその他有効に使えるかと思いますが、計画による東側はなだらかながら傾斜地であり、水利やインフラ整備など何もないところ。整備に多くの時間と費用が必要でしょう。 観光・賑わいゾーンの方こそそのような場所にすべきかと思えます。</p> <p>年間1500万人もの人が集まる場所整備が5年や6年で完成すると本気で考えているのでしょうか？ そのような場所が瀬谷区に必要か？短兵急な話ではなくもっと長期スパンで瀬谷区の事を考えて頂きたい。原っぱを残し周辺には、旭区のゾーラシアや大池公園にあるような立派な管理棟を作り、各種イベントによる大きな人出がある時に対応できる休憩所やトイレなど備えて頂きたい。その周辺(旭区側も入れて)ではトレッキングやランニングなど出来るコースがある方がよいでしょう。旭区などにはそのような施設がありますが、瀬谷区には豊かな自然公園は一つもないのです。</p> <p>東の公園計画方向のゴルフ場に沿う小川(帷子川源流域)は貴重な水源で、是非残しかつての田んぼ後の畑を整備して長く続く水辺を希望します。片側は人の出入りがあり、対岸は野鳥や虫などの為の自然が必要。親水公園などは全て人のものだけで野鳥や植物・虫などの為は全く考えていないのです。</p> <p>野鳥も「国鳥・キジ」が横浜から姿を消そうとしています。港北ニュータウンやゾーラシア・県営阿久和団地などに生息していたキジはいなくなりました。夏・冬には「原っぱとその周辺」に多くの渡り鳥がやってきます。それらもこの計画では全て消え去るでしょう。やたらと「緑と水が豊かな地域」といいますが10年前と比べ多くのそれらが消えています。旭区などに比べ森など無いに等しいのです。</p> <p>水辺というのは遊水地のみと言って過言ではありません。大和市の「泉の森」のような、人の為だけの整備ではなく、(人的であろうとも)自然の状態の広い場所が瀬谷にとって必要です。 横浜市100年の計で、後の人達が後悔するような整備はして欲しくないのです。</p> <p>(ドリームランド・向ヶ丘・豊島園・その他多くの観光施設が消えています)</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>また、公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしています。 今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
33	<p>基本となる理念</p> <p>瀬谷区は横浜市の西端の比較的自然の残された地域であり、これは米軍基地がここにあったことによるところが大であろう。開発にあたってはこの利点を最大限に生かしていくことが重要であると考える。</p> <p>神奈川県も横浜市も国連のSDGsをいち早く取り入れることを表明しており、歓迎すべきことであった。</p> <p>ただ、今回の素案の中に、どのように具現化しているのかが見えてこない。</p> <p>日本古来の自然を生かした農地としての谷戸・里地を残し、訪れる人々にあるべき開発の姿としてこれをアピールしていくようにしたい。この自然環境は絶好の環境教育の場ともなる。地球レベルの急激な気候変動に対する取り組みは急を要している。生物や気象に関する体験を通して、現在起こっている気候変動について実感することができ、これからの人間の生活のあり方について考える機会にもなるであろう。</p> <p>瀬谷の自然は区の、横浜市の、日本の、貴重な宝である。一度壊された自然は二度と戻ってこない。経済成長という一時的な打算によって壊すことなく、しっかりと自然を保全して次の世代に受け渡していくなければならない。子や孫のためにも。</p> <p>開発にあたっては、自然とともに潤いのある落ち着いた生活を送ってきた地元瀬谷区の人々が、多くの負担を強いられることの無いようにしていきたい。</p> <p>具体的な提案・意見</p> <p>農業振興ゾーン</p> <p>近郊農業の強みを生かした農業を振興させながら、農家の高齢化等により耕作放棄されている田んぼ・畑を市民農園や、小区画のオーナー制を取り入れ、区民・市民みんなで地元農業を盛り上げていくようにしたい。多くの区民・市民かかわることで農業者の士気も向上する。史上最低の食料自給率となっている今日、安全でおいしい食料を供給していくことに通じる。これは国の安全保障にも通じることである。</p> <p>また、地元農産物の販売施設を設け、地元農家の6次産業化を支える役割を果たす。</p> <p>観光・賑わいゾーン</p> <p>このゾーンの中央を南北に貫く相沢川沿川地域は、地形的には谷戸として周囲の水が集まり、水害リスクも高いことから開発も遅れ、結果的には、瀬谷の遺産として、かつての豊かな自然環境が今なお残る瀬谷の貴重なグリーンベルトとなっている。</p> <p>このグリーンベルトにおいて、瀬谷環境ネットは14年に渡り、毎月の生物モニタリング調査を実施し、希少種も複数発見してきた。この観察結果は以下のウェブサイトですべて公開している。</p> <p>⇒https://seya-kankyo-nt.hatenablog.com/archive/category/瀬谷の自然</p> <p>瀬谷、更には横浜市の貴重な遺産としてのこの自然資本を最大限活用し、保全すべきところは保全し、再生する部分は新たに整備し、「水と緑」を主テーマとした観光・賑わいゾーンをめざしていきたい。</p> <p>保全の対象としては、瀬谷区内でも最後となった水田のある谷戸。また再生の対象としては、相沢川をかつての野の川のように復元（和泉川の東山の水辺の様なイメージ）し、生き物に欠かせない水場を造成する。</p> <p>水田地域は単なる保全ではなく、涵養機能を高め、また大雨時の遊水機能も付加し、グリーンインフラとして有効活用する。日本が誇る「里地」文化（自然と人が共生し、人が絶えず世話をしながら豊かな自然を守り育む生活様式）を次世代に継承する拠点として、相沢川に沿うグリーンベルト帯を、営農や稲作体験、自然観察や野鳥観察等の体験フィールドとして利活用する。</p> <p>瀬谷市民の森が「里山」、この大谷戸地域は「里地」として保全型の整備を行い、環境学習の拠点として利活用することで、水や緑のセンスを有する国内外の子どもたちを育む場とする。</p> <p>上記のテーマ設定であれば、まちづくりの考え方にある「自然をいかした魅力あふれるまちの実現」「活力ある都市農業の展開」「グリーンインフラの活用」「災害に強い都市づくり」に合致し、かつ、郊外部の新たな活性化拠点の形成にある三つの方針の持続的展開にも寄与すると考える。</p> <p>テーマパークのイメージは、自然を破壊し、人工物、機械的な遊びに多数の観光客を呼び込もうとする企画であるように思われ、瀬谷区には全くふさわしくない。横浜市の臨海部にあるもので十分であり、仮に多くの人が瀬谷を訪れたら、交通渋滞、騒音等生活環境の悪化は必至であろう。</p> <p>公園・防災ゾーン</p> <p>このゾーン是和泉川の重要な源流域となっている。近年建造物や道路の舗装により雨水浸透が減少したため降雨時には短時間に大量の雨が和泉川に流れ込み、中流域では洪水の恐れがあり、降雨の無い日が暫く続くと川は干上がってしまう。和泉川に安定した水位をもたらすためにも、防災の拠点とするためにも地元の植生に合ったしっかりとした森を育てることが重要である。それによって雨水の浸透も図られる。</p> <p>また、全域を造園業者に任せるのではなく、森の樹木の一部は市民・保育園児・幼稚園児・小学生・市民によりドングリの実生や挿し木等によって苗を作ってもらい、長い時間をかけて自分たちの森を意識させながら森を育てていきたい。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、各ゾーンにおける具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>また、具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
	<p>和泉川の源流としての働きをより良く確実にするため、森の中に大きめのため池を設け、川の濁水時にはここから放水して河川水を供給する。この水辺は訪れた人の憩いや子供たちの水遊びの場所となると同時に、多くの生物の生息場所になるはずである。特に隣接する瀬谷市民の森には何種類かの猛禽類が世代交代しており格好の水場・獵場になるはずである。生物にとって住みやすい環境はヒトにとっても良い環境である。</p> <p>住みやすい環境を創っていくばずから若い人が移り住むようになり活気のある街になっていくであろう。</p> <p>関連施設計画 来訪者が増える。それによって道路の渋滞が発生しないよう、車線を増やしたりそれに見合った駐車スペースを確保する。鉄道は性急に設置するのではなく、より長いスパンで計画を練りながら進めるべきである。 地下水を涵養するため駐車場は透水性のある整地を行う。</p> <p>ゾーンの広さ 上記の基本的な理念と具体的な提案を実現するには、旧上瀬谷通信施設土地利用計画からは自ずと変わらざるを得ない。観光・賑わいゾーンを狭め農業振興ゾーン・公園振興ゾーンをより広くしたい。</p>		
34	<p>1) 和泉川水源と自然公園を望みます。 2) 近辺に「グランベリーパーク」があり瀬谷まで観光賑わいゾーンは不要 3) 箱物商業ゾーンでは子供たちの心の育成は出来ない、今の日本に何が必要かと問われれば教育と自然環境の充実です。</p> <p>40年近く前から子供達や犬と一緒に車で行きサッカーやキャッチボールをして楽しんだ場所です。 家族連れには最適な場所であるような広い空間は横浜市内で存在を知りません。 現在は規制されて自由がありませんが今でも多くの人達の憩いの場所であることは間違いありません。 *裏の道路に車を止めて限られた狭い所に多くの家族連れが集まっています。</p> <p>大和市にはシリウス（図書館と文化の拠点）があり利用者1000万人を超えましたが駅からほど遠くない所にふれあいの森と引地川源流「泉の森」があり自然観察センターなど設置が充実していますが大事な基本は森林と水です。 米軍上瀬谷通信施設跡地にも和泉川源流があります。 この辺りも以前はうさぎやキジ以外にも珍しい野鳥が沢山いました。 高層ビルがなく畑があり遠くに丹沢連山を眺めることが出来、夜、星の観察が出来る唯一の場所を残して欲しいと願います。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を狙ったまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>また、公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、おおむね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p>
35	<p>地元民です。祭りや花見でいつも家族みんなで使っています。 テーマパークは反対です。静かな環境で暮らし続けたいです。 少なくとも地権者がどうしてもテーマパークを作って金儲けしたいのなら、横浜市は一切関与せず（税金は使わないで）やらせるべき。土地の経緯はもちろん知っていますが、負担すべきは横浜市ではなく国だと思えます。（できれば市で買収してほしい） 反対と賛成の割合と人数を公表してください。 今ある自然をそのまま残してください。周辺にはタヌキやフクロウなどの稀少な生き物が生息しています。テーマパークを作ったら生き物がいなくなってしまう。 物流ゾーンは大きすぎです。 農業振興ゾーンは地権者がやりたいならいいと思いますが、将来が心配です。 公園・防災ゾーンは全体の割合で見ると小さすぎます。</p>	参考	
36	<p>簡単にいえば、このままの自然をできるだけ残してほしい。</p> <p>割合が 物流 15ha 農地 50ha 防災 50ha 上記3つが計約115haなのに テーマパーク??利用が125haでは反対です。物流や防災利用には賛成です。農地利用にはちょっと今までの利用の広さにくらべ少ないような気がします。</p> <p>利用の割合の半分以上を公園 自然を残すべきです。</p>	参考	
37	<p>瀬谷基地跡地利用ですがテーマパーク、大型商業施設などの建設には大反対です。地球を守る再生可能エネルギー施設や公園、森、自然環境を守る場所にして頂きたい切に望みます。よろしくお願い致します。</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
38	<p>営利事業中心の素案に反対です。環境再生と無縁のプランが全体の6割を占めている。市民の要望は病院、介護施設、スポーツ施設等の充実で、今後はますます防災の大規模拠点が必要になることは明白。市民の税金を市民のために使って下さい。横浜博での失敗を市民は忘れていません。</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応しながら作成しています。</p> <p>また、旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
39	<p>花博誘致やテーマパーク誘致を検討しているようだが、花博に関しては大阪花博終了後の鶴見緑地周辺がどのような変遷を辿り、それがどれだけ財政負担になったかを見直してほしい。テーマパークは一過性の人気だけに目を取られて数年で撤退するようなものは逆に荒廃を招くだけなので誘致すべきではない。</p> <p>それよりは今後東南海地震・首都直下型地震など巨大地震の発生率が75%という予測がなされている中、市内中心部への支援拠点としての防災公園建設が公益性が高く、有効な土地活用と思う。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p>
40	<p>素案の「土地利用ゾーンの配置」の意見</p> <p>観光ゾーンが広すぎです。別のゾーンを広くしてほしいです。</p> <p>例えば、公園・防災ゾーンが今より広い方が、災害時により役に立ちます。</p>	参考	
41	<p>これから災害が多くなる事が予想されるので仮設住宅など利用の為に更地にしておいた方が良くと思います</p> <p>利益の為に無用なレジャー施設等の建設は、反対です。</p>	参考	
42	<p>大地震やその他のさまざま災害に備えて仮設住宅などの建設用地として、利用できるようにして欲しいです。</p> <p>商業地域はできるだけ縮小して、防災や緑地保全に9割は使って欲しいと思います。</p>	参考	
43	<p>大災害が多かった昨年を思い返すと防災を中心とした災害対策の必要性を強く感じました。同時に災害が起きた時やその後多目的に使うことのできる広い場所も必要です。私は上記の土地利用には観光・賑わいゾーンは必要性を感じません。瀬谷の友人も「生活に必要な施設やスポーツ・文化を豊かにして欲しい」と言っています。</p> <p>日々の暮らしを豊かに、そして防災はしっかり、市が取り組む基本ではないでしょうか。</p>	参考	
44	<p>あの場所に観行地を作ったら普段でも大変混む道路なのに余計渋滞が起きてしまいます。一般の人だけでなく仕事で使用している人にとっては大迷惑です。死活問題にもなりかねません。横浜市として収入が必要なのはわかりますが今ある観行地でやれる事をやってほしい</p> <p>いつ来るかわからない災害に備えていざという時に使えるスポーツ施設、病院の方が良いと思います。</p>	参考	
45	<p>1月19日(日)の説明会に参加しました。多数の方の意見が聞けて参考になりました。</p> <p>初期に出ていた案では4つの区分が同じ位の広さに画かれていたものが今回は、リゾートの部分がやたらに大きくなっているように感じました。</p> <p>無駄の様に思えますが防災のために広いあき地をとっておくことは大切だと思います。建物が出来てしまうと応急仮設住宅を建てられなくなってしまいます。自由に使える空間は、大切な宝物です。</p> <p>建物を作るとしたら医療のための病院や施設が瀬谷に必要です。北町の人からの発言で、もう住み続けられなくなってしまうという声は大切です。住み良い町を作るのではなく住みにくい町作りには反対です。交通の問題もドリームランドの例にならないことが大切です。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。頂いたご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
46	<p>・横浜市の防災計画では、「跡地」はすでに広域避難場所になっている。また、大震災の仮設住宅や復興住宅の用地としても考える必要がある。50haでは少ないと思います。</p> <p>・「一日でも早い地権者の生活再建」と言われていますが、農地を基地に取られて生活が成り立たない状態だったのですか、十分かどうかは別にしてその間の保証はあったのではないのでしょうか。民有地110haはもともと農地です。林市長もウドを地場農産物にと言われています(2015年2月4日)。地権者の意向もあるとは思いますが、110haは農地として活用して欲しいと思います。農業を希望されない場合は市が安価で買い取り、効果的な土地利用のため区画整理して欲しいと考えます。</p> <p>・「将来的に1500万人が訪れる」ようなにぎわいの街ではなく、横浜のベッタタウン、田園都市線や小田急線を通じた東京のベッタタウンとしては、静かで住みよい瀬谷にして行って欲しいと思います。にぎわい施設、テーマパークや商業物流施設ではなく、公園、市民憩いの施設、徹底的に不足している特養老人ホーム、瀬谷区にない総合病院などに活用して欲しいと思います。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p> <p>なお、現段階では、市立・地域中核病院などの大病院を新たに整備する計画はありませんが、医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等を踏まえ、その必要性を含め検討を進めていきます。</p>
47	賑わい、テーマパークゾーンと防災ゾーンを入れ替えて欲しいと思います 防災には重点を置いて頂きたい。農業関係も大切に保護して頂きたい。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p> <p>また、各ゾーンは、現状の土地利用や周辺環境を考慮し、配置しています。各ゾーンの考え方を踏まえ、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p>
48	観光賑わいゾーンの割合が多い事に異議があります。災害を中心に考えるのが第一と思います。仮設住宅テントなどがすぐ設置できる空間。ヘリコプターが数機発着できる空間。コンクリートの建造物ではなくすぐに多様に変換できる命をなごらせる空間になることを提案します。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p> <p>なお、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
49	みなとみらい地区などに多くの商業施設などがあるのに、何故観光賑わいゾーンが必要なか理解できない。今の原っぱをそのまま残し自由に遊べる場所にして欲しい。上下水道を整備すれば震災のときに、仮設住宅を多く建設できる場所としても活用できると思います。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p> <p>なお、土地利用の転換により、現在のはらっぱを残すことは厳しいと考えています。公園・防災ゾーンに広場を確保する等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
50	<p>我家の子供たち3人は、幼少の頃、祖父と父親である私と、(旧)上瀬谷通信施設の広々とした空地で、たこ揚げをして遊びました。その楽しい記憶は、成人した彼らに残っており、いい思い出となっています。</p> <p>横浜市や近隣の地域の子供たちに、広々とした空間、多目的に使える空間を提供する事は、教育上も健康上も大切な事です。</p> <p>「土地利用の基本計画」は、営利目的の商業施設ではなく、幼児、学童の遊びの空間、成人も高齢者が健康作りもできる憩いの空間の設置を考えてもらいたいです。</p> <p>また、大災害時の避難や、仮設住宅設置用に使える空間を計画して欲しいと思っています。</p>	修正	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p> <p>また、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
51	<p>あと地利用は、首都圏全体の貴重な緑地であり、民間企業を交えた開発計画には絶対反対です。広域災害対策を含め、平時には市民のスポーツ広場として活用すべきだと思います。アミューズメント施設などは、首都圏に多く存在しており、多額の投資のもとに、民間開発運営させるべきではないと考えます。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p> <p>また、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
52	<p>平成29年11月の基本計画には、住民の意向を反映し教育・医療・福祉・商業施設が「ゾーン」として位置づけ、かなりの面積を占めていました。しかし、今回の計画(素案)には教育・医療・福祉・商業ゾーンがまったく消え、基本計画になかったテーマパークを核とした観光賑わいゾーンがドーンと跡地の半分以上を占めています。市の意向が反映した住民無視の計画であり、納得ができません。</p> <p>昨年11月地区連合町内の会長で組織される上瀬谷通信施設返還対策協議会の要望書にも『高齢者社会に対応する医療・福祉施設』を市に提出し、住民の意見が反映することの重要性を訴えています。教育・医療・福祉・商業ゾーンの堅持が必要です。</p> <p>今後の課題の一つにすることではなく、ゾーンとして位置付けることが求められています。</p> <p>住民の要望や意向を無視することがあれば、横浜市への信頼が損なわれ、市民のための行政をめざしている市の職員の誇りも捨てることとなります。</p> <p>観光賑わいゾーンに固執することなく、市民の要望に沿った跡地計画を要望します。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
53	<p>観光、にぎわいゾーンには反対です。近くにグランベルモール南町田の商業施設が出ているし、段々と人口が減る中に箱ものは必要ないと思います。もっと農作業、農地を広げて、地産地消を進めていったらどうでしょうか？</p> <p>又、子供達が自由に遊べる公園もなくなり(野球、サッカーなどではいけない)増々体力のない、頭でっかちの子供が増えていくと思います。遊びの中で、色々学ぶ事が多いと思います。市長又、役人、議員は目先の事ではなく、これからの日本をせおう子供達の事を考えてほしい。乱筆乱文ですみません</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p>
54	<p>言語道断だと思います。温暖化、気候変動で想定を超える災害が各地で起きている現在です。何が起きるか分からない時代です。SDGsも国連から訴えが出ています。横浜市は少子化がカジノ誘致の目的の一つに挙げていますが、カジノ・テーマパーク等のほかに未来の市民のために持続可能な産業を模索活動はしているのでしょうか？何しろ広大な土地です。食料自給率を上げる農業の開発への土地提供、高齢化と叫ぶのなら必要とされている介護施設の増築、病院の増築、市民からの要望の多いスポーツ施設建築、災害から市民を守る環境整備、つまり緑化等々、市民の生活に密着した政策を考えるべきではないでしょうか？テーマパーク等一番最後の選択肢ではないでしょうか？</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p>
55	<p>先日、配付された計画案を見て、驚きました。物流施設や観光ゾーンになるなんて、私達、地元民はそんなものは望んでおりません。高齢化が進む中、観光ゾーンなど造ってどうするのでしょうか。一時的に人が集中するだけでその後は、潮が引くように寂しくなりますよ。現在の夜の上瀬谷付近を一度見に来られたらよろしいかと。日中だけ賑わう街はいくらでもあります。もうそんな街は必要ありません。永続的に使用可能で地域住民に貢献する施設がこれからの将来を考えると必要なのです。他県・各市を巡ると各々観光するものがあるが、横浜市はなにも無い、まして、瀬谷区に何があると言うのだ。目先の利益だけを追求するな！市税のムダ使い。花博も不要。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p>
56	<p>旧米軍施設の跡地は観光の為のテーマパークを作るのではなく防災や環境再生を第一に考え計画される事を願います。介護施設や市民が自由に使える施設など計画してくれる事要望します。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p>
57	<p>上瀬谷通信施設跡地利用方針は「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」ではなかったのですか？肝心の公園・防災ゾーンは半分以上で奥に追いやられている感じですか？</p> <p>観光・にぎわいゾーンとしてテーマパーク用地が主体になっているのはどうなのでしょう？</p> <p>瀬谷の観光ってピンときませんし、テーマパークを作ったとして人が来るとは思えません。もっと瀬谷の良さを生かすことのできる計画は立てられないのでしょうか？</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
58	<p>1. 土地利用ゾーン計画に対する意見</p> <p>a) 農業振興ゾーン：賛成します。 理由：地主の長年にわたる苦勞に報い、新たな発展に期待して賛成です。</p> <p>b) 観光・賑わいゾーン：反対します。 理由：今時この土地で「テーマパーク」を核とする計画は、失敗必至と思われるからです。例え新交通システムを導入し、デイズニードクラスを招こうにも失敗すると予測します。市民として、ゴーストパークした場合のコスト負担を負いたくありません。 代案：広々とした立地を生かした、「総合的な運動公園」、「憩いの施設」と「桜の公園」を作り、健康者から障害者までが日常的に利用できる「健康パークゾーン」とする。 「桜の公園」のイメージは、「せや世界のさくらパーク」（仮称）の創設です。古今東西の桜を集めた世界唯一の公園として、移植や、苗木から数十年がかりで育ててゆく、息の長く大規模な計画案です。国内各地の名木、海外からの里帰りコーナーや、レガシイとして海軍道路の桜の移植も意味があり面白いと考えます。</p> <p>c) 物流ゾーン：賛成します。 理由：隣接している卸センターと合わせての機能拡大が必要と考えます。</p> <p>d) 公園・防災ゾーン：公園ゾーン化に反対し、防災ゾーンについてのみ賛成します。 理由：公園ゾーンの配置については、中央部に設定されている観光・賑わいゾーン利用の代案として提案した「せや世界のさくらパーク」（仮称）が中央に移動した方が一般の人に利用されやすいと考えるからです。 防災ゾーンは、関東大震災級の災害を想定して、重要性、緊急性共に最も高い利用計画として、最優先課題として利用面積を拡大し、早急に着手すべきものと考えます。アクセスは陸路だけでなく、空路は厚木飛行場との連携にも対応したものとし、海路からの防災拠点については別途考慮すべきものと考えます。</p> <p>f) 国際園芸博覧会との連携：反対です。 理由：時代感覚がずれていませんか？どうしても国際博覧会をやるなら、例えば「国際環境改善博覧会」として、関連したシンポジュームの開催なども行い、横浜市を世界にアピールした方がはるかに意義があると考えます。</p>	参考	<p>a)からd)について 旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p> <p>4つのゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p> <p>f)について 国際園芸博覧会についてですが、本地区において、基盤整備の促進、国内外への地域の知名度やイメージの向上、さらには国内外の先導的なまちづくりに寄与するため、国際園芸博覧会の開催に向けた検討を進めています。開催後の土地利用については、本地区全体でそのレガシーを継承・発展していきます。</p>
59	<p>上記素案を拝見致しました。 地権者の方々や地域の方々の会議を重ねての公表としますので尊重すべきと思いますが横浜市民として、また、近隣生活者として想いを書かせて頂きます。</p> <p>全体の感想としましては、地域の方々は農業の継承と盛り上がりを中心に提案なさっていたように受け止めました。 ですが、ゾーンの広さからテーマパークゾーンの大きさを感じます。</p> <p>また、この中においてのテーマパークの内容が全く分かりません。テーマパークと言っても様々で農業体験や自然体験のもの、人口物中心の物、美術的なもの等どのような事を検討中なのか書いて頂きたいです。 同じような趣旨の文章が繰り返されていた部分を削れば十分に書ける事と思います。</p> <p>全体の方針としまして横浜市にはみなとみらいを盛り上げようとの機運があるかと思えます。 みなとみらいは既に人工的な手がかなり入っていますし市内のあちらこちらに集客地を作るより中心的に充実を図っていく方が安定を感じます。 手狭になりもっと広げたいとの事であれば別ですがまだ工夫の余地のある、みなとみらいだと思います。</p> <p>東京との比較が書かれていますが自然との触れ合いや農体験の方が東京には無く、人工物での楽しみとセットとしてまた、市内の中華街やみなとみらい、新横浜等を始めとする賑わいと合わせてPRしていく方が今の社会の貴重さと感じます。 都会に近く、また、都会と思われている横浜で自然体験ができるなんて1つの旅行で2種類楽しめる事だと思えます。 また、自然体験の内容を今までにない案を立てられるか大きな集客にも繋がると思えます。</p> <p>テーマパークの内容が分からないのでなんとも言えませんが遊園地や、キャラクター施設は国内にも市内にもありますからね。 無い物、そして、無くしてしまっただけはなかなか戻らない自然の環境をどう活用していくかこそ今の社会の流れで大きな役割と感じます。 グリーンインフラも人間の生活にはとても大切であると最近の気候変動で明らかになったと感じます。 生物の多様性も大きな役割かと。</p> <p>災害時の避難所や、仮設住宅、物資等の仮置き場の空間も市内または都内には不足とされています。 市民は勿論市外からの受け入れを行い空間管理や整備費を徴収し、継続管理していく方法もあるかと思えます。 ゴミの置き場としても活用できますし災害時ゴミ処理場の処理能力以上の状況も度々ニュースになっています。 普段から土壤混合法体験場に活用する事で現在のごみ処理費用の削減と共に災害時にも活用しやすくなるかと思えます。</p> <p>空間としては、野球、サッカー、ラグビー等一般の人が借りられる場はかなり限られているかと思えます。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>観光・賑わいゾーンの土地利用については、地権者が設立したまちづくり協議会が、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしました。これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。 なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行ってまいります。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にも情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めてまいります。</p> <p>また、スポーツ施設について、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>グリーンインフラについては5章土地利用「土地利用を実現する基盤整備の考え方」に示しており、具体的な内容については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
	<p>現状の貸し出しも、子供から大人まで有効活用の1つと思います。</p> <p>横浜市では、次々と建造物の議案が出されていますので今一度本当に人々の役に立つものか一部の企業の利益かを考えて頂きたく思います。現施設の建て替えや、改築でも企業収入に繋がりますよね。新たな物を作ってその管理はどうなるのでしょうか？現状の施設利用の安心安全も考えて頂けると有難いです。</p>		
60	<p>観光・賑わいゾーンについて グランベリーパークのような商業施設は、新たな交通を整備しても交通渋滞は避けられない。グランベリーパーク周辺が実証している。新たな交通で採算がとれないのは目に見えている。農産物を販売する道の駅程度の施設で十分と考える。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行います。</p>
61	<p>1、利用計画案(各ゾーン)が総花的です。みんなが納得しそうなものをならべているだけです。また横浜市以外の自治体が行っても変わらない内容となっております。 横浜市にある土地、旭区瀬谷区緑区、大和市、町田市周辺に位置していること、今横浜市が父がなくて困っていることなどが全く考慮されていません。観光・賑わいは山下埠頭再開発と同じです。 よって素案には反対です。 2、それではなにが良いか？ 返還される広大な土地がなくては実現できないことをまず考えることではないでしょうか？当然市が困っていることです。経済活性化や財政収入アップ計画は、この土地では不要です。細切れな利用はやめましょう。 では何がベターなののでしょうか？ 漠然としています。こう思います。 跡地に園芸博覧会を計画しているとのこと。これを活用して、土地全部(90%)を利用して、農業(農作物・園芸・果樹園など)とその加工販売する施設(加工業、食品加工、流通、小売り)そしてそれらを支える農業試験場、食品開発試験場をこの地域に集めて、一大集積場としてはどうでしょうか？もちろん地権者の方も参加していただいて、農業を継続してやっていただくようしたらどうでしょうか？ 環境保全エリア、公園エリア、防災エリア、体験エリアも適所に配置して余暇時間の利用、買い物、食事、野鳥観察など「自然と農業、食」の体験ゾーンとして活用したらよいと思います。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
62	<p>上瀬谷通信跡地の利用計画の「物流ゾーン」についての意見です。私たちは物流と言いますと、周りにある大きな倉庫を想像してしまっていますが、住宅の前に倉庫を建つのは反対です。この地で子育てをしてきましたが、公園、遊び場もなく、危険な道路であそばせてきました。今、若い子育て世代が増え、住宅の狭い通路で遊んでいる子供たちの声が聞こえてきます。時には、ボールが道路に飛び出すことも・是非この三角地には子供たちが、老人が遊べ、日向ぼつこの出来るスペースを作って頂きたいです。100年時代と言われる今、ゲートボール場、花を自由に植えて楽しめるスペース等々、老人を外に誘い出し、そして憩える場所を提供してくださいこの三角地「物流ゾーン」の変更を希望します</p>	参考	<p>広域的な交通利便性や、現状の土地利用、周辺環境を考慮し、物流施設を地区の北側に配置しています。 今後、土地利用を具体化する上では、周辺の影響を考慮した建物の配置などを検討していきます。 頂いたご意見は、関係部署で共有し、検討の参考にさせていただきます。 公園については、地区南側に公園・防災ゾーンを設定し、広域的に利用される公園を整備していきますが、小規模な公園など、具体的な公共施設の配置は、今後検討していきます。</p>
63	<p>【意見1】物流ゾーンに建設する物流倉庫は東側(川井1C)寄りに建設していただきたい。 【意見2】物流ゾーンの環状4号線西側の三角地帯は公園などの施設にいただきたい。または倉庫などの建設を控えていただきたい。 【意見の理由】 説明会で配布された資料6ページの土地利用ゾーンでは物流ゾーンが八王子街道に沿った北側に配置される予定となっており、北町の住宅のすぐ横がそのゾーンに色分けされているのがわかる。 現状でも北町の住民は交通渋滞・排気ガス・騒音などに悩まされており、これ以上の交通量の増加は住民の健康的な生活を脅かすものであると理解していただきたい。 また、住宅の横に巨大物流倉庫などの高い建物が建設された場合、日当たりが確保できない場合や建物による圧迫感などが考えられるため、これについても住民の健康的な生活が害されるものとなる。 北町の住民も横浜市の住民なので意見について検討いただきたい。</p>	参考	
64	<p>北町の家の前、三角地 海軍の水ソウがある所、物流倉庫は止めて下さい 公園にして下さい。 北町約100世帯、公園一つもなし。</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
65	私は現在北町地区に住んでいるものです。基本計画によるとちょうど物流ゾーンに位置します。 基本計画、拝見いたしました。新しく環状4号線が開設されましたが、物流ゾーンの西側(農業復興ゾーンの横で旧海軍道路と4号線の三角州になっている所)にしましては住宅街となっており、通学路にもなっています。環状4号線の開設とともに、通学路の歩行者用の信号がなくなったりしており、子供たちの安全を守るためにも物流ゾーンは外していただき、小さな公園などお年寄りや子供たちが集えるような施設を設けていただきたいと思います。	参考	広域的な交通利便性や、現状の土地利用、周辺環境を考慮し、物流施設を地区の北側に配置しています。 今後、土地利用を具体化する上では、周辺の影響を考慮した建物の配置などを検討していきます。 頂いたご意見は、関係部署で共有し、検討の参考にさせていただきます。 公園については、地区南側に公園・防災ゾーンを設定し、広域的に利用される公園を整備していきますが、小規模な公園など、具体的な公共施設の配置は、今後検討していきます。
66	物流ゾーンなるものも建物(倉庫事務所)等を建築する事は反対です もし横浜市として必要な施設なら16号線をの反対側(交番の裏側からバイパスまで)に空地がありますので取得する努力をして下さい。 上瀬谷の土地利用にはふさわしくありません。 是非、残された自然を大切に施設の利用をご検討下さい。	参考	広域的な交通利便性や、現状の土地利用、周辺環境を考慮し、物流施設を地区の北側に配置しています。 今後、土地利用を具体化する上では、周辺の影響を考慮した建物の配置などを検討していきます。 頂いたご意見は、関係部署で共有し、検討の参考にさせていただきます。
67	私は北町に住む者です。 北町付近に大きな倉庫を建てないでください。 今でも近くの倉庫に出入りするため大きな車が歩道付近で停車したり、八王子街道に横入りするため横断歩道の上で停車したりとマナーが良くありません。子供達はそういった車の脇をすり抜けて通学しています。中学生の自転車通学も付近を通るよう決まっています。 もちろん大人の私でも何度も怖い思いをしています。 少しでも事故を防ぐために、倉庫を建てないでください。よろしくお祈りします。	参考	
68	瀬谷区北町に住んでいます。物流ゾーンについては、絶対反対です。住民が住んでいる地域に、なぜその様な、施設を作るのですか?日照件、騒音、道路混雑、子供の通学、景観など問題が沢山発生します。今回の案には、公園、防災ゾーンも有りますが、横浜市には大きな公園が不足しています。この機会を逃すと後は出来ないと思います。公園や医療施設を要望します。どうしても物流ゾーンを作るのであれば、住民の住んで無い(会社、倉庫は沢山ある)北東側にすることをお願いします。	参考	広域的な交通利便性や、現状の土地利用、周辺環境を考慮し、物流施設を地区の北側に配置しています。 今後、土地利用を具体化する上では、周辺の影響を考慮した建物の配置などを検討していきます。 公園については、地区南側に公園・防災ゾーンを設定し、広域的に利用される公園を整備していきますが、小規模な公園など、具体的な公共施設の配置は、今後検討していきます。 医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。 頂いたご意見は、関係部署で共有し、検討の参考にさせていただきます。
69	観光・賑わいゾーンが4号線西側の農業ゾーンに一部配置されていますが東西の連絡通路 地下又は高架方式、いずれも老人子供達(乳母車)の人は西側には行きにくい東側に物流ゾーン・観光ゾーンと別けるのは土地利用の無駄物流ゾーンは西側に作った方が良くと思います。開発賛成	賛同	広域的な交通利便性や、現状の土地利用、周辺環境を考慮し、物流施設を地区の北側に配置しています。 今後、土地利用を具体化する上では、周辺の影響を考慮した建物の配置などを検討していきます。 頂いたご意見は、関係部署で共有し、検討の参考にさせていただきます。
70	ディズニー、USJを追い抜く勢いで、メガテーマパークの開設を頑張ってください。 もっと広い面積を、割り当てて欲しい。	賛同	旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。
71	観光・賑わいゾーンや物流ゾーンが、もっと大きな割合でも良いと思う。おおいに瀬谷を大改革して下さい	賛同	
72	上瀬谷通信施設跡地利用計画横浜市素案に見直しが必要 昔の思い出 あそこには 田んぼが有り 小川で良くザリガニを取りに子供と行く等に 楽しい思い出があります。 現在では 嵩上げし田んぼは無く 水路はコンクリートに成り 通信施設返還前は沢山の野鳥がたくさん見られたが、今は少なくなり、2~3時間散策するがキジの姿は確認されない時があり、野鳥が激変している 特に二ホンキジの見る機会が無くなり、定年退職後カメラで野鳥の撮影を始めたが残念です。 大きな公園等に造り変える 市民から木の寄付を募り、市民に愛される公園にしては如何でしょうか。 現在では、跡地の側に建材置場、物流置場等が2箇所出ているが、速く手を打たないと、問題解決に遅れが出ます。	参考	旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。 公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、概ね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。
73	自然を生かし、環境にやさしい、赤ちゃんから高齢者皆んながほっこり出来る公園にしてほしい。 大型施設も最初は賑わうかもしれませんが何年かして、市民のお荷物になったら大変。次世代に負の財産を残さない様にして下さい。	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
74	首都圏はどんどん開発が進み、人が密集して住んでいます。上瀬谷跡地は貴重な広い土地です。これからいつ、大規模な災害に見舞われるかもわかりません。貴重な緑地・公園として残すことで災害時に活用できたり、大気汚染を少しでも減らすことができます。民間企業による営利事業はいいですね！！	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、概ね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>また、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
75	広域避難場所や市民公園など、広範な市民が利用できる公共の場として、活用して下さい。 間違っても、市（民）の大切な財産を民間業者に払い下げはしないで下さい。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、概ね50haとしています。</p> <p>一方、地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p>
76	地域活性化策としての国際園芸博覧会の意義は理解できますが、自然環境の保全、或いは環境教育という視点がすっぽりと抜け落ちているように思います。 今時点で存在している上瀬谷地区の自然環境を開発して、園芸種（外来種を含む）で埋めつくしてしまえば、本来横浜が持つ自然の魅力を発信することができなくなります。 また、園芸種を植えることが、あたかも環境に良いことだ、という誤ったメッセージを発信してしまう怖れもあります。 園芸種を含む外来種が、多くの日本固有種を追いやっていることは、これまでも多く警鐘が鳴らされてきたことであります。 一方で、未来の日本の環境を正しく守るために、多くの子どもたちに環境教育を受けてもらう必要性はますます高まっています。 上瀬谷地区の現在の自然を極力保全した上で、『第二の横浜自然観察の森』として、環境教育の場として活用することを考えてみてはいかがでしょうか。	修正	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p>
77	緑といってもきれいな花壇とはではなく、未来の子供達の為に、森林を増やし、自然を学べる場所にしてほしい。 人の都合ばかりを全面に出してきた結果が温暖化等、今の状態で、くい止める為の行動として、その場所の樹木、植物、動物、昆虫、野鳥など現状を把握して変えない変わらない様、より自然が自然である状態を残してください。お願いします。	修正	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p>
78	17年くらい前に大倉山の景色にひかれて都内から横浜市に転入してきた者です。横浜の方は新しく来た人にも寛容で、よそ者といじめられたりすることもなく、とても感謝しています。また、都内に比べて自然豊かなことも横浜の良いところと思い、みどり税の上乗せも仕方ないかと考えております。 このたびのご計画につきましては、地権者の方々のご意向が尊重されるべきとは思いますが、可能な限り横浜市の豊かな自然をそのまま残していく方向性も考慮していただければ市民のひとりとしてうれしく思います。ご存じとは思いますが、計画対象の土地は、鳥、虫、植物など多くの生き物の棲み処となっており、彼らの繁殖や子育てに欠かせない土地でもあります。林や畑を工事で破壊するのは数日で済みますが、何世紀にもわたってそこに生きてきた生き物は散り散りになり、あるいは死に絶え、元に戻すことは不可能です。とくに絶滅危惧種でなくても、たとえば畑に棲むヒバリのように、もともと横浜市に普通にたくさん見られる生物が、将来も横浜市で普通にたくさん見られることが望ましいと考えています。それらの生き物たちはありふれた存在かもしれませんが、わが国の美しい自然の一部をなすかけがえのない存在でもあります。それらの生き物とその棲み処を全力で守るべきだと思います。拙い意見ではありますが、ご考慮をいただければ幸いです。	修正	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p>
79	自然をのこして欲しい。	修正	
80	私は広大な野原を残して頂きたい。手入れは草刈りなどの最低限のこと。あんなに広く空も広いスペースを残し自由に子どもたちや市民が自然に触れ合ったり、風揚げしたり野草で遊んだりできる何ということもないスペースがあってもいいではありませんか。作ることで再活用ではないと思う。	修正	
81	現在ある緑を残して欲しい。	修正	
82	上瀬谷の海軍道路は私が一番好きな瀬谷の場所です。 春は桜、冬は畑から富士山、高いたて物は、合わないと思います。 有意義に使って下さい。緑を残して欲しいと思います。皆が瀬谷にすみたいと思う場所にして下さい	修正	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
83	土地利用基本計画(案案)には基本的に賛成ですが、周辺が草地や森林など自然豊かな環境なので、賑わい・観光施設もそれと調和した配慮をしてほしいと思います。特に、湧き水や谷戸の環境ができる限り保全する方向で進めただけであればと思います。	修正	<p>頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。</p> <p>また、旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p>
84	現地を見て来ました。広大な土地にびっくりしました。「温暖化」が深刻な現在、いかに環境に配慮した構想が必要かを認識しました。 まず◎自然を最大限に残すこと。必要な樹木、果樹を植えること ◎防災拠点として、全市的に考えるべきです	修正	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしていますが、地区全体の防災機能の強化が図られるよう、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p>
85	ぜひとも広大で自然が残る形を活かし、市民が家族づれで楽しめる公園を希望します。 例えば「里山ガーデン」のような四季折々の植物が楽しめる公園にし、災害時には広域防災活動拠点としての避難場所または施設を含む公園が望ましいです。 公園内では安価で安全な食事ができるレストラン等があればさらにいいと思います。 テーマパークではなく、アスレチックなど、子供も大人も楽しめる健康づくりの施設があれば楽しいと思います。 以上、どうぞご検討いただけますようお願いいたします。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、概ね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p>
	<p>旧上瀬谷通信施設跡地とその周辺で多種類の猛禽類が確認されており、観光・賑わいゾーン、公園・防災ゾーン、その他のゾーンでもハヤブサ、ハイタカ、オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウ、ツミ、トビの飛ぶ姿をよく見かけます。フクロウもタカ木にとまっているところを公園・防災ゾーンで見ました。その他アオバスキも跡地周辺で見ました。ハヤブサは絶滅危惧種、ハイタカは準絶滅危惧種。ハヤブサ、オオタカ、ノスリの繁殖行動も見られました。現在絶滅危惧種のヒバリが旧上瀬谷通信施設跡地には多数生息しており、公園・防災ゾーンや観光・賑わいゾーンにも多数生息していて繁殖しています。その他にもキジ、セッカ、アトリ、カシラダカ、など多種類の野鳥、また、イタチ、タヌキ、ノウサギ、森林地帯にはモモンガなど哺乳類も生息しています。昆虫もトノサマバッタ、ギンヤンマ、カブトムシ、タマムシなど多種多数。公園・防災ゾーンの中の上瀬谷球場から細谷戸ハイツヘ向かう東西に延びる道路沿いにヤブカンゾウが群生し、瀬谷市民の森近くの公園・防災ゾーン中に大きな山桜の木とその根本一帯に菜の花が群生しており、春は多くの人が出かけるの写真を撮ったりしています。森林地帯にはスミレ類、フレンドウ、キンラン、ギンラン、キツネノカミソリなど多種の野草が群生しています。</p> <p>○全体的な観点について 跡地利用アンケートで第1位になった「緑を享受する首都圏郊外の自然レクリエーション空間」に忠実に進めてください。「観光・賑わいゾーン」にしても、「公園・防災ゾーン」にしても「緑」から離れないようにしてください。全体的なイメージとしては緑区の方にある「こどもの国」のような自然と調和した形にして、現存する木、植え込み、草地を破壊せず生かした形にしてください。NHKで放映された茅ヶ崎市の湘南カントリークラブでとりいれている生き物と共生するための「高刈り」などをとりいれ、野生生物との共存をはかってください。人工建造物や電線は猛禽類の狩の妨げになるばかりでなく高速飛行中の衝突につながるので跡地内北側の八王子街道沿いに集約し電線は地下を通してください。</p> <p>○テーマパークについて テーマパークは基本的に反対します。 「テーマパーク」は多種類の猛禽類に甚大な影響を及ぼすと考えます。獲物が減ってしまうことはもちろん、高速飛行で狩をする猛禽には広大なスペースが必要であり、その他の猛禽類にとっても、建造物や人工物、電線が狩の障害物となります。高速飛行中、電線で翼を切断してしまう例もあります。人間にとっても台風の影響が考えられます。また、今まで静かだった土地が大音量の放送や大量の人が押し寄せるとなると、猛禽類を含む野生生物が棲めなくなりやすくなります。小学校も近くにあり、地域住民からの苦情も十分予想されま</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>一方、土地利用の転換により、現在のはらっぱを残すことは厳しいと考えています。公園・防災ゾーンに広場を確保する等、対応方針について今後検討していきます。</p> <p>新たな交通の具体的なシステムの種類や構造形式については、周辺環境への影響や経済性等を総合的に比較検討し決定します。</p> <p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>この土地区画整理事業を実施していくために必要な手続きとして、現在、環境影響評価の手続きを行っております。環境影響評価とは、事業の必要性や採算性だけでなく、環境にどのような影響を及ぼすかについて事前に調査、予測、評価を行い、その結果を公表し、市民の皆様からご意見を聴き、このような手続きを踏まえ、環境の保全の観点から事業計画に反映させる制度です。 引き続き、環境に配慮をしながら事業を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
86	<p>す。夜行性の猛禽類等の生物にとっては、きらびやかな照明が障害となります。</p> <p>どうしてもテーマパークをつくるなら、日本に興味をもつ外国人の中には、日本の里山、原風景に魅力を感じている人が多いので、外国人観光客に来てもらえるような里山をテーマにしようかと考えます。当初の「緑を享受する首都圏郊外の自然レクリエーション空間」に矛盾しない形でもあり、野生生物と共存する形にしてほしいと思います。園内は、野生の四季の花々が広大な面積に咲き乱れ、実のなる木を意識的に植え、相沢川を利用した底の浅い安全は川遊びができるような環境をつくるとか、水を引いて池をつくるなど人にとっても生き物にとっても良い姿にしてください。今は減ってしまった水田も園内に作り、大学と連携して無農薬や作業ロボットを試みたり、5月頃はレンゲ草の花が一面に咲く里山によく見られる風景を再現してほしいように思います。ここでも、基本的に「こどもの国」のような自然と調和した形にし、茅ヶ崎市の湘南カントリークラブの自然と共生する試みを参考にしてほしいと思います。</p> <p>テーマパークの外壁下部にはキジやイタチなど野生生物が通れるように多数の抜け穴を設け、外壁の内外には植樹をして東側の公園等の緑地と西側の農地（生産緑地）に生物が安心して行き来できるようにしてください。巨大なテーマパークが中央にあることで、東の緑地と西の生産緑地を利用している野生生物が分断されてしまうようなことのないよう共存をはかってください。</p> <p>○米軍広場について 米軍広場と周辺の緑地はそのまま残してください。米軍広場は地域の人が活用してきた思い出の場所です。ほとんどが国有地でもあり、だれもが無料で使えるようテーマパークの中に取り込まないでください。また、キジや現在絶滅危惧種のヒバリ、多種類の猛禽類もよく利用している場所でもあります。生物にとって東の緑地と西の生産緑地をつなぐ大切な役割をはたしている場所でもあるので、「共生」の意味においても広場と周辺の草地、芝生、木々などは今のまま残し、東側の公園・防災ゾーンと西の農業振興ゾーンの緑がつながる形にしてください。そのためには、物流ゾーンは環状4号線西側の農業振興ゾーンの八王子街道沿いに移し、観光・賑わいゾーンを北にスライドさせ、八王子街道と接する形にして米軍広場と周辺の緑地を残し、東側の公園・防災ゾーンと商の農業振興ゾーンの緑をつなげてください。その際、4号線をはさんで西側の農業振興ゾーン中に突き出した観光・賑わいゾーンがありますが、そこは多種類の生物が利用しているのでそのまま残してください。そして、農業振興ゾーンの面積を補うため、米軍広場周辺の現在ある農地を活用すれば、生物にとっても良いと思います。</p> <p>○観光・賑わいゾーンについて 市民意見募集の冊子中にある「まちづくりのコンセプト」にも「今ある緑や農地を保全しつつ、ここでしかできない新たなコトやモノを創出する」とあり、「土地利用の内容」の「農業振興ゾーン」の中には「賑わい施設などと連携」とか「大学と連携した農業技術の研究」と書いてあります。農作業にロボットをとりいれろとか現地で減ってしまった水田をつくり無農薬を試みたり、5月頃はレンゲ草の花が一面に咲く里山によく見られる風景を再現してほしいように思います。ゾーン内につくった水田、小川、池に水生昆虫、タニシ、サワガニ、メダカ、クサガメなど、かつて里山にいた生物を復活させ、こどもからお年寄りまで無料で親しんでほしいように思います。</p> <p>○農業振興ゾーン 環状4号線をはさんで西側の農業振興ゾーン中に突き出るようにして観光・賑わいゾーンがありますが、そこは猛禽類やその他の野鳥、イタチなども利用しているのを見かけます。川がある場所でもあり、生物との共存のため農業新区縮ゾーンとしてそのまま残してください。</p> <p>○公園・防災ゾーンについて 公園・防災ゾーンの中は全面グラウンドのような砂地にするのではなく、子供がバッタなどの昆虫とふれあったりキジ・ヒバリなどの野鳥が生息できるような現在の自然な草地の形にしてください。花博時の人工物・建造物は撤去し猛禽類などが自由に飛べるようにしてください。</p> <p>瀬谷市民の森近くの公園・防災ゾーン中にある大きな山桜の木とその根本一帯に群生する菜の花や周辺の草地は地域の人やハイキングの人が写真を撮ったりして親しんでいます。</p> <p>野生生物にとっても貴重な棲家で、多種類の猛禽類の狩が見られ、多種類の鳥類も見られました。人工物、建造物などはつくり、現在のまま残してください。</p> <p>防災を理由とした巨大建造物をつくらず、地下を利用するか、現在ある米軍の建物を利用するなりしてください。どうしても人工物や建造物をつくる場合は、八王子街道沿いに集約し、野生生物に影響のないようにしてください。</p> <p>○地区内道路について 観光・賑わいゾーンの東西にはする南側から2本目の地区内道路と観光・賑わいゾーンの南北にはする八王子街道から公園・防災ゾーンにいたる地区内道路は、歩道とするか、車道にするなら地下を通してください。どちらの道も猛禽類、キジなどの鳥類、哺乳類との追突事故が考えられます。夜間においても夜行性の猛禽、哺乳類などの事故が心配されます。</p> <p>○鉄道について 駅からの移動手段として鉄道を考えているようですが、毎年花見の人々が実際に広場まで歩いていきます。高齢者が鉄道の駅で降り、</p>		

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
	<p>さらに目的地まで歩くのはたいへんなので、観光地によくあるような三輪車の自転車タクシーを廉価に走らせていただければ、目的地まで歩くことなく乗って行けるし、自然にも影響がないと思います。</p> <p>モノレールは高さのあるものなので、猛禽類の飛行の障害物となります。猛禽類が低空で飛行し環状4号線を横切り、付近の林へ入る場面を何度も見ました。共存のため、モノレールはやめてください。</p> <p>鉄道は敷設するなら地下を通すか、どうしても地上を通すなら、江ノ電のようにこじんまりしたものにして、駅も小さくし自然への影響のない形にしてください。電車のための送電線も地下を通し猛禽類の飛行の障害とならないようにしてください。台風の影響も心配されます。</p> <p>LRT(次世代型路面電車)が江ノ電のようなこじんまりしたものなのかよくわからないので、市民向けに絵なども入れ、具体的な電車の大きさ、駅の位置や大きさ、行き帰りとも同じホームの反対側なのかなど説明してほしいです。</p> <p>○電線について 現在、無電線化が進められているということをタウンニュースかなにかで読みました。観光という意味においても、猛禽類の飛行の障害物になるという共存という意味においても、今後の台風対策という意味でも旧上瀬谷通信施設とその周辺での無電線化を進めてください。</p> <p>○観光・賑わいゾーンあるいはテーマパーク内に植える四季の花について 具体例と有名な場所を挙げます。(譲ってもらえるかもしれませんが)なるべく野生の花で考えました。有名な場所は調べてもわからないものもありました。</p> <p>春 カタクリ 「城山カタクリの里」 相模原市緑区川尻 菜の花 現地の公園・防災ゾーン内にもあります レンゲ草 座間市(の水田)、大和市下和田いちよう団地前の水田</p> <p>藤</p> <p>夏 アジサイ 鎌倉の紫陽花寺 ヤマユリ 鎌倉岩瀬の大長寺裏山、埼玉県滑川町国営武蔵丘陵森林公園 ヒマワリ 座間市 キツネノカミソリ 埼玉県新座市市営墓園地側斜面、千葉市若葉区泉自然公園</p> <p>秋 ヒガンバナ 現地の環状4号線西側農業振興ゾーンにも多くはないがあります コスモス 現地の環状4号線西側農業振興ゾーン、公園・防災ゾーンにも多くはないがあります 四季の花以外で里山に見られる植物 ススキ 箱根仙石原、ガマの穂 綾瀬市比留川、ヨシ 琵琶湖畔など、 ツクシ、ヨモギ、 タンポポなど現地にもあります。 ヤマモモ、柿などの実のなる木も積極的に植えて野生生物との共存をはかってください。</p> <p>○その他 本来は「何ゾーン」という形で線引きするのではなく、この地区全体を一つの自然保護区のようにして、どこにでも緑があり、どこにでも田畑があり、どこにでも野生生物が生息し、どこにでも農作業の人などがいるというような里山の風景をそのままに残してほしかったように思います。そこに、「上瀬谷自然保護地区」とか「上瀬谷自然共存地区」とか、なにか名をつけて、「人間も生物もここには皆いっしょに生きています」というようなピーアールをして外国の人も含めて来てもらい、その人たちが駅の周辺で弁当などのお金をおとしていってくれるというようなことでよかったように思います。訪問者は一挙に大勢は来なくても毎年少しづつ来てくれ、それがずっとつづくというようなあり方がふさわしいと思います。 「こどもの国」がそれに近いものと思います。その地区の中の一部の農地では大学等と連携した無農薬などの先進的な取り組みをしているとかいうことでよかったと思います。それが「収益」ということを考え、お金を払わないとその中に入れないテーマパークにしてしまい、大量の人が押し寄せるようなことは、地域の人の気持ちを無視し、ここに生息している貴重な多種類の生物を追いやるようなことだと思えます。ゾーン全体を見ても、公園や農地を東西に押しやり、結局テーマパークを造りたいのではないかというように見えます。「テーマパーク」は市長案と聞きました。この地区には生態系とか、貴重な生物とか、人々の思い出のある広大な自然の風景とか、お金では買えない大切なものがあります。「テーマパーク」は一挙にたくさんのお金が入るかもしれませんが、それが長続きするとはかぎりません。また、造るときのお金が必要で、維持するための金が出ていくことになります。「自然保護地区」の方が長い目で見て得なのではないかと考えます。</p>		

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
87	全体について 当該地域は創建652年の妙光寺のような古刹がある地域です。 (釣鐘は県の重要文化財) 是非とも雰囲気や壊すことがないような開発をお願いいたします。 また観光第一ではなく、市民が普段使いできるような、開発をお願いいたします。	参考	旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。 まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。
88	みどり税の理念からすると、ほぼテーマパークが占める正反対の開発計画で到底納得できるものではありません。強制的に税を徴収するならみどり税の理念にあった計画を策定すべきです。	参考	
89	人工物を造ると自然は壊れます。みどり税を徴収してなぜ自然を壊すのでしょうか。反対します。	参考	
90	みどり税を徴収しておいて、横浜にわずかに残った自然を壊す行為をするのはどうなのかと思います。 できれば自然保全にみどり税を使ってほしいです。	参考	
91	長期間立ち入り禁止であったために、自然環境が豊かに残っています。瀬谷区の自然遺産としてこのまま広く残して下さい。 なるべく負担をかけないように、活用していく事が重要となる。 草原は横浜市ではとくに消失が激しいので、まず広い草原を確保する事。次に周囲に樹木を植えたり、大きな池を作ったりして、多様性のある自然を残す計画にしてください。	参考	
92	開発をするのではなく、「横浜自然観察の森」の様に自然環境を生かして生物多様性の保全なども考慮した市民のやすらぎの場としていただけるとありがたいです。	参考	
93	自然豊かな瀬谷地区をそのまま残して下さい。横浜のみならず鎌倉とも繋がる野鳥の宝庫です。100年先まで考えた上で英断が求められます。 宜しくお願い致します。	参考	旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。 まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。
94	瀬谷には妻の実家があり、海軍道路の通信隊の前の芝生の広がっている場所では子供と風揚げなどをして楽しんでおりました。 さて、基地跡地の活用について、以下のように思っております。 行政の皆様は何かの跡地が発生すると新しいものに活用するという方向に目が向いてしまうように思います。 しかし、都市部の用途の無くなった土地は何か活用するのではなく、元の状態に戻すというのが最も良いと思います。 つまり、基地のできる前の瀬谷の環境、神奈川の丘陵地帯のかつての自然環境を復元するべきです。 計画を見ると自然公園的なものもあるようです。この種の公園は児童に自然環境と接する場を提供するという意味ではとても有効ですが、すでに横浜には十分な自然公園があると思っています。実際、瀬谷市民の森が隣接しており、私も時折散歩して森を楽しんでいます。 人の楽しむための森ではなく、むしろ全く人の入れない手付かずの完全な自然環境を都市部に広く生み出すのが生態系の多様性を確保する上でも重要であると思います。	参考	
95	横浜市の市民の森として自然を残して、保全をすることを望みます。	参考	
96	広大な敷地であり、動植物がほぼ自然のままで残されていると思います。これだけの規模で、高低差のない草地は貴重です。地域の自然をできる限り保存していき、後世に残して行ってほしいと思います。子どもたちが将来、環境について学び、行動を起こすときに、身近に自然があったということは、大きな動機づけになり、推進力になっていくでしょう。100年後を見据えて、地球規模の環境を視野に入れた政策、土地利用のあり方が求められていると思います。広大な土地を利用して、豊かな暮らしを求めるあり方、考え方もあるでしょうが、できる限り自然を残す方向性で進めていくことを望みます。環境先進都市、ヨコハマと呼ばれるようになってほしいです。	参考	
97	何も建わず、そのまま残しておくことは難しいのでしょうか？ 何かの施設を作るよりか、来た人たちがゆったりと過ごせて、ありのままの姿を堪能できるお手伝いができる人々を育てる方が、横浜の地に自然を大切に育てる心が育まれると思います。 だから、ありのままを残しておいてください。	参考	
98	自然環境保全を切に望みます。	参考	
99	ここは広々して気持ちの良い場所です。 静かで人も少ないので、のんびり時間を過ごせます。 こんな自然を満喫できる場所は他にありません。 瀬谷の宝だと思います。 ぜひこのまま大事に保存してください。 ホテルもこんど見にゆきたいです。 子供たちの豊かな未来のために、瀬谷の自然を大切にしてください。	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
100	<p>全面と言わないまでも、なるべく多く、2/3くらいまでグリーンゾーンにして貰いたい。ブラジル、オーストラリアで超大量のグリーンが失われ、地球の温暖化、世界の気候異常がますます過大、加速化する時勢、横浜市民、神奈川県人すべからず、かのグレタさんの見情、心情に大いに思いをいたし、僅かの微細なチャンスをも活かす努力をすべきである。横浜市内に少しでも緑地を多く残す希少なチャンス、近視眼的な経済発展より、今こそささやかでも「大自然」に味方する市民の心意気を見せる時ではないか。孫子の代、人類の未来を見据える賢明な市民でありたいものだ。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
101	<p>自然、防災、グリーンインフラと言っていたのに突然テーマパークを持ち出した辺りは何か後ろに黒い利権を感じてしまう。説明会は反対派が多くて驚いたが、何でも反対の人達以外にも、テーマパークに今更感を強く感じる人が多いのではないかな？私は開発自体に反対ではないが今更感を感じさせない、ライフスタイルの提案のようなものが出来ないだろうか？鉄腕アトムのような未来都市ではなく、自然や環境と調和するようなもの。ひたすら高架を走り、車に媚びたAGTではなく、街と一体になったLRTを四通八達させるような。ひょいと乗って自然を感じ、ひょいと降りてスポーツを楽しむ、高齢者にも妊婦にも優しい、そんなモデル都市が出来るといい。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設等については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
102	<p>1. 大都会の近くで、まとまって緑地が残っているのは貴重です。昆虫や野鳥、貴重な植物の保護をお願いしたい。自然保護館、自然ふれ合い館など中心になる施設がほしい。 2. 当地は和泉川の源流になっています。源流を維持するには、周囲の環境保全が必要です。草原として、残してほしい。和泉川・相沢川の水源を利用し、池、水辺を作ってほしい。その結果、生物の多様化が進みます。</p>	修正	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
103	<p>「水と緑の瀬谷区」と言っているのだから和泉川の源流を守る為に地球温暖化を阻止する為にこれ以上自然を破壊しないで下さい。破壊された自然界は、再び元には、もどりません。テーマパークは、建設するべきではない。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>また、地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
104	<p>最近気候の状態は以前のデータをベースにできないほど変化している。今までの人間の生活態度が影響していると思われます。このような状態を極力さけるべく生活していかなければならない。その意味で緑をふやし、四季を感じるような土の遊歩道をふやすべきである。コンクリートや石の道路や建物を減らし夏のヒートアップをさけるべきである。また、水は人間にとって必需品である。水を供給できる施設（井戸をほる等）を考えるべきである。物流ゾーン/観光・にぎわいゾーン等営利事業中心の施策をさける努力をすべきである。営利事業はどこにでもあり十分である。環境中心の施策に変えるべきである。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>なお、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>また、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
105	私は泉区に在住していますが瀬谷区出身の者です。海軍道路といえは桜並木です。また、周辺の自然が広がる景観も貴重だと思います。開発することは重要ではありますが、貴重な自然環境を活かした開発を行うことを希望します。	修正	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p> <p>また、土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
106	<p>自然を壊さないようなパークを望みます。道路に面した土地は、ある程度の施設はいいとしても大谷戸の環境は野鳥も多い貴重な財産なので、価値を訴えてバードウォッチングゾーンにしてもらいたいです。手前の土地の高い場所はキャンプが出来る様にしたらどうでしょう。</p> <p>アウトドア好きなら自然を理解した人も集まるのではないのでしょうか、バードウォッチが出来るカフェでもいいかもしれません。施設の一部にはアウトドア用品(モンベル)等その側には飲食ゾーンなどなど。</p> <p>そばの川を利用してキャンプ地の真中で子供が遊べる小川を作りバーベキューが出来るとしたら夢があります。畑や田んぼもそのままにして収穫した野菜やお米を施設やキャンプ場で使って頂いたらどうですか。</p> <p>また、畑や田んぼなどは体験ゾーンでもいいのではないのでしょうか海外のかたなど日本の田植えなど興味あるかもしれませんね。林などもそのまま利用してアスレチック施設にしたらいいかと思います。</p> <p>田んぼだった場所にコンクリートを流し込んで施設を作っても地盤が弱いのでメンテナンス費用がかかりますよと言えば納得しませんかね。</p> <p>まとめると ①キャンプ場 ②バードウォッチングゾーン ③畑、田んぼ体験ゾーン ④自然を利用したアスレチックゾーン ⑤小川で遊べる体験ゾーン、一部水中生物観察ゾーン ⑥自炊コーナー大谷戸&海軍道路周辺で収穫した、お米、野菜を使って和食作り体験 おもてなしゾーン。</p>	修正	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、概ね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p>
107	<p>緑が少なくなり子どもの遊び場所すら減っている横浜市です。これだけの緑が残っているのなら、少しだけ手入れをして、ロンドンのハイドパークのような大きな緑主体の公園に整備してほしい。ロンドンに行った時、街中と公園の接点にまで、乗馬姿の人たちが現われ驚いたものですが、横浜という都市だからこそ、そういった利用してほしいものです。</p> <p>特に瀬谷区は小児ぜんそくが増加しているときくので、子どもの未来のためにも、地球温暖化防止のためにも、ぜひ考えてほしいです。</p>	修正	
108	<p>より良い計画となりますようお願いいたします。米軍施設の時は環4浴いは自由に入れて散歩も出来、広々とした空間は貴重でした。出来ればオアシスのような都市の空間として自然系の都市施設としていただきたい。農業、緑地、防災上の施設、避難（災害後の仮設住宅用地）の受け入れ広場などを望みます。</p> <p>建物施設は極力少なくした、いかなる事態にも対応できる多目的な広域広場にしていきたい。</p> <p>集客を目的とする施設は近隣にも大型施設もありこれ以上鉄道・道路に負荷をかけないように願います。</p>	修正	
109	今後おこりうる巨大な災害のためにも市民の安全なヒナン場所として公園やいこいの場所にして下さい。	修正	地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしていますが、地区全体での防災機能の強化が図られるよう、「5章 土地利用」を一部修正しました。
110	首都圏の広大な空き地は大変貴重です。基本的に地震や風水害、予期しない大災害に対応する、首都圏の大防災拠点として活用すべきです。	修正	
111	<p>近々予想される「南海トラフ大地震」等の大災害に備える態勢（避難用諸設備・仮設住宅等）にして下さい</p> <p>◎わが横浜市は、経済・文化ともに時代の流れの先頭に立っている素晴らしい都市です。再エネ取組みにも数々の実績があります。未来を生きる、子ども達に、あるべき姿として示して下さい。間違っても、どこにでもある「大型娯楽施設や大型商業施設」などしないでください</p>	修正	
112	自然災害と防災計画（省略）	修正	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
113	<p>1.大規模地震等が予想される現在、それに対応する防災拠点を確保することは、緊急の課題である。</p> <p>2.横浜は市民のための公園等が不足しており、市民のための健康とレクリエーションのために広い大規模公園を確保することは急務である。</p> <p>3.濃密な住宅密集が多い横浜市内で自然あふれた環境を確保することは重要である。</p> <p>以上の観点から上瀬谷の通信跡地の民間事業者の営利事業に供することには断乎反対である。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、概ね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p> <p>また、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
114	<ul style="list-style-type: none"> ・来たるべき地震・災害に備えて防災ゾーンをもっと広く確保してください。 ・市民区民の生活にうおいをもたらす公園をもっと広く確保してください。 ・地場産業振興の為に農業振興ゾーンをもっと広く確保してください。 	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>土地利用としては「農業振興ゾーン」、「公園・防災ゾーン」、「物流ゾーン」、「観光・賑わいゾーン」の4つを設定し、一定規模の区画設定を前提として検討を進めます。</p> <p>農業振興ゾーンは、横浜市の実況や現時点での地権者の以降を踏まえ、概ね50haとしています。</p> <p>公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、概ね50haとしています。</p> <p>また、地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。</p>
115	<p>国内だけではなく、地球規模的に災害が続いている今こそ、市民のための防災拠点として使用されるべき土地です。</p> <p>一部の営利企業の土地ではないはず</p> <p>自由に入出入りできなかった土地です。</p> <p>今こそ、私たちの生活の中で安心して、子どもたちを遊ばせる場としての利用を私は望みます。</p>	修正	<p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。地区全体での防災機能の強化が図られるよう、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p> <p>また、本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者の皆様は民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしました。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
116	<p>農業振興は今後大きなテーマになると思われます。従って「観光・賑わいゾーン」と合わせて（50ha+125ha=175ha）、その半分位（80ha）の広さを確保して欲しいと思います。</p> <p>複合的な集客施設は、既に各地にあるのですから。</p> <p>民間事業者と違った、コンセプトの下での計画をお願いします。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>土地利用としては「農業振興ゾーン」、「公園・防災ゾーン」、「物流ゾーン」、「観光・賑わいゾーン」の4つを設定し、一定規模の区画設定を前提として検討を進めます。</p>
117	<p>物流ゾーンはいらない。</p> <p>公園・防災ゾーンを拡げるべき。</p>	参考	<p>本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、検討していきます。頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
118	<p>◎農業ゾーンについて</p> <p>○計画はおおむね妥当と考えます。</p> <p>○このエリアは4号線に面している地域のごく一部を除き市街化調整区域になると想定していますが、見解をお聞きしたい。基本250名の地権者の家屋や倉庫、生活用品を売る商店などです。</p> <p>◎物流ゾーンについて</p> <p>計画は大きな問題はないと思う。</p> <p>計画地の北側の北町にすでに物流、陸運、倉庫関連企業が立地しているため。大型物流施設ができるとトラックが増え、騒音、排気ガス等の問題が想定されます。</p> <p>○八王子街道の事業が進めば先行してできる気もします。</p> <p>○物流ゾーンにより周辺道路が混雑し、より広域な地区で渋滞か？特に北川は八王子街道が渋滞するので、観光にぎわいゾーンまで長時間かかる事が想定されます。やはりモノレールなり、新交通システムなりは必要です。モノレールなりが先にでき、後にテーマパークとなると考えます。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な計画や施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>また、具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
119	<p>市民の声を優先し企業の営利目的になるような大型開発はしないでほしい</p> <p>医療施設を含む防災拠点公園を作ってほしい</p> <p>テーマパーク反対</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえまちづくりを進める必要があります。大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまちづくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご意見をお聞きするとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

具体的な施設の提案について

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
1	<p>この地区に降った雨は大門川、相沢川、和泉川、帷子川の水源になっている。道路整備や箱物を作った場合そこに降る雨は全て4つの川に流れ込む。集中豪雨による災害を防ぐためにも水処理として灌漑設備（池や用水路）を作る必要がある。</p> <p>意見（提案） 農業振興ゾーンについて 現在、この地域の農業専用地区は92haあり、52haに縮小するのは農業振興の趣旨からしておかしい。我々緑税を徴収されている市民にとって40haもの緑が無くなるのは納得できない。 農道や、給水、排水設備の充実のために、灌漑設備や、ため池などが必要。農業、観光、公園を兼ねた野鳥観察の池（灌漑用水）を作ってほしい。</p> <p>公園・防災ゾーン 現在予定している公園・防災ゾーン以外に、上記灌漑用水の池を利用した野鳥観察のできる池を追加してほしい。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>土地利用としては「農業振興ゾーン」、「公園・防災ゾーン」、「物流ゾーン」、「観光・賑わいゾーン」の4つを設定し、一定規模の区画設定を前提として検討を進めます。 本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、検討していきます。頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>また、各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p>
2	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用計画 公園・防災ゾーンについて</p> <p>私たちは、瀬谷市民の森・上川井市民の森及び周辺の原にて、鳥類調査・ラインセンサスを15年に渡り、毎月1回野鳥調査しているグループです。調査結果は神奈川野鳥の会を通して、環境省モニタリング1000にも反映されています。 この度の跡地利用、公園・防災ゾーンについて私たちは大規模な池、水性湿地ゾーンを作られることを提唱致します。（300m x 200m規模が望ましい。） 旧上瀬谷通信施設跡地は瀬谷市民の森に続く恵まれた環境を有していますが、水辺が無いという環境上の欠落があります。野鳥等生き物の半数近くは池・沼・湿地と水に起因した環境に生息します。私たちの調査では60種を超す陸鳥を記録していますが、カモ類、シギ類、サギ類等水辺の鳥の記録は非常に乏しい結果になっています。 当該地域には相沢川流域にあたり、大規模な池、湿性ゾーンの創生は十分可能と思われます。下流の遊水地と併せ、涵養機能を高め大雨時の遊水機能をも付加し、グリーンインフラとしての有効活用も図るものです。 又通信施設跡地の草地にはヒバリが囀り、横浜でも稀になったセツカの繁殖も記録されています。準絶滅危惧種のオオジギも秋の渡り時期には観察されており、広大な跡地利用の一部分になりますが、市民の森に隣接した豊かな自然公園が作られることを強く要望致します。</p> <p>旧上瀬谷通信施設土地利用に関する提言</p> <p>私たちは横浜市道路局指定水辺愛護会「和泉川源流を楽しむ会」として瀬谷市民の森にて、生物観察会をメインに林内の環境の見守り、ごみ掃除と活動を続け23年になります。 この度、旧通信施設土地利用計画で「観光・賑わいゾーン」にテーマパークを作る案を 2月19日、瀬谷公会堂にて公聴会で説明を受け、その世俗的な案に驚いています。 「横浜市水と緑の基本計画」とテーマパークは全く相いれないものです。臨海部ならともかく、すでに良好な住環境が形成された内陸の街に1,500万人とかの集客を見込むテーマパークは、市民生活が大きく損なわれる事、必至と予見されます。住民犠牲の上のテーマパークは、厚木基地の例ではありませんが、横浜市、瀬谷区、旭区に将来に渡り大きな問題を抱え込むことになること必至です。 以上の理由から、この案の取り下げを提案すると共に、商業施設ではなく、「横浜市水と緑の基本計画」に沿い、札幌市・丸山公園、立川昭和記念公園(165,3ha)に比肩される様な後世に残る公園になるよう要望致します。 よしんば、テーマパークが進行する様な折には、その構造物は明治神宮の様な緑の樹林で構造物が覆われる設計を強く要望致します。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。 まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。 公園・防災ゾーンは、広域的に利用される公園などを想定し、概ね50haとしています。なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>また、本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。 なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行っていきます。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にも情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。この土地区画整理事業を実施していくために必要な手続きとして、現在、環境影響評価の手続きを行っております。環境影響評価とは、事業の必要性や採算性だけでなく、環境にどのような影響を及ぼすかについて事前に調査、予測、評価を行い、その結果を公表し、市民の皆様からご意見を聴き、このような手続きを踏まえ、環境の保全の観点から事業計画に反映させる制度です。 引き続き、環境に配慮をしながら事業を進めていきます。</p>
3	<p>30年以内に震度7前後の大地震、大津波が横浜の沿岸部に予想されています。 地震、津波、火災から命を守る・生活を確保する その為の避難所、及び生活の場を確保する施設にする</p>	修正	<p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしていますが、地区全体での防災機能の強化が図られるよう、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
4	<p>1.災害対策拠点とする。 首都直下地震の想定被害は甘い。風速が10mを超えると今の想定の数倍の被害となる。</p> <p>①防災に関する各種訓練施設、研修施設、研究センター 研究センター：県内の大学・民間の防災学の英知を集めた常設研究機関</p> <p>②倒れない、燃えない防災備蓄センター、配送センター</p> <p>③県・市の防災統合指令センター(都心部のセンターと2系統化) ・本部が倒れても、ここは生き残って絶え間なく指令機能を継続 ・気象庁、国交省、自治体の情報一元化システムセンター 19号台風で、利根川、千曲川では、3者の情報が非同期に住民に届き、逃げ遅れ被害を拡大させた。 ・自治体(県・市町村)の被災時統合センター機能の体験センター 自治体間連携、気象庁・国交省との情報連携・統合化、ボランティア連携 被災地では、この統合システム・機能が不全で混乱してきた。</p> <p>2. エネルギー循環施設 ①エネルギーは太陽光・風力を使い、蓄電池を備えた自産自消の完全 エネルギー循環施設とする。参入する民間企業の参入条件とする。</p> <p>②施設内にエネルギー循環モデルハウスを作る。 ・ハウス内部は、完全防災タイプとして、来訪者に防災の啓発。 ・省エネ生活のノーハウと体験のできるハウスとする。</p> <p>③施設内を移動する車は、電気か水素車しか走らせない。</p> <p>3. 温暖化に負けない農業施設 ①温度・湿度・光・肥料を完全IT管理で、自然(温暖化)に影響されない 実験農場を作る。温暖化時代の次世代農業のモデルを提示する。 野菜、果物、花、豚、鶏・・・施設内の食堂、レストランに供給</p> <p>4. 地産地消のモデル施設 ①施設内の食堂、レストラン、カフェは県内・市内産の素材しか使わない。これも業者の参入条件とする。 素材提供者にも「生産者氏名」を明記する事を納入条件にする。</p> <p>5. 以上の哲学と見識を持って、跡地を開発していただければ、博打産業や ハゲタカ産業以外は何が入っても構いません。</p>	修正	<p>地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしていますが、地区全体の防災機能の強化が図られるよう、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p> <p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
5	<p>一世代前、日本企業は、安い賃金の中国へ進出し、中国工場での生産をしてきました。このように目先の利益を優先したため、日本の技術は、中国へ垂れ流しされてしまいました。今、中国国内の賃金は高騰し、中国工場で生産を続ける利点は無くなっています。数年前から、日本国内に生産工場を戻す企業が出てきています。上瀬谷は東名横浜町田インターにも近く、とても便利です。跡地の有効活用として、日本企業の未来のために、工業団地とすることを提案します。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を狙ったまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>土地利用としては「農業振興ゾーン」、「公園・防災ゾーン」、「物流ゾーン」、「観光・賑わいゾーン」の4つを設定し、一定規模の区画設定を前提として検討を進めます。</p> <p>本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、検討していきます。頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
6	テーマパークは不要。 作るなら、ららぽーとのような商業施設を作るべき！ 周辺にスーパーがないし、住みにくいと思われている。これでレジャー施設作ったら、誰も住みたいと思わない。誰もが住みたいと思う街づくりを望みます。	参考	本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。
7	テーマパークではなく、環境問題に取り組む企業を誘致することを検討してほしいです。 若い世代の就職先の候補が地域に増えると、若い世代が地域に増えるかもしれないからです。	参考	なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行ってまいります。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めてまいります。
8	テーマパークではなく、環境問題に取り組む大学等の教育機関を誘致することを検討してほしい。 若い世代の就職先の候補が地域に増えると、若い世代が地域に増えるかもしれません。	参考	
9	テーマパークはいらない。 ドリームランドのののまになってしまう。	参考	
10	「テーマパークは」反対です。 あなたがたのする事を信用していません。	参考	
11	テーマパークはやめて下さい 現在日本にはたくさんテーマパークが作られています、多くのテーマパークが利益を出していません 横浜でもドリームランドもつぶれました、 採算がとれるとは思えません。	参考	
12	今すでにある道路を中心に考え、同じ八王子街道沿いに存在するJAXA（またはそのような研究開発機関）の誘致を提案したいです。 テーマパークでの集客には、どのような公共交通もこの立地では不向きと考えます。 また、物流として横浜市旭区本宿町のタカナシ乳業を誘致してはいかがでしょう。同工場の大型車両により旭区四季美台の踏切が不便となっているように見受けられますし、バラ園は集客のひとつにふさわしいと思います。また当地（本宿町ならびに四季美台）は鶴ヶ峰駅から近いので、跡地利用の企画にも有利かと思えます。 農業振興については県内の市町村に余地を譲るべきと思います。	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
13	<p>ケバケバしいテーマパークには「反対」します。 観光客の急激な増加は、地域住民にとってマイナス面が多いです。 ・更に交通渋滞が頻発して、自由宅が抜け道になり、住民が危険にさらされ交通の妨げにもなる。</p> <p>安易な発想によるテーマパークには「反対」します。 ・失敗例が余りにも多く、維持費が心配です。路面電車も同様。</p> <p>「自然」をテーマにした、世界でも類を見ないユニークな施設にしてほしい。 ・再生可能エネルギー100%の里を実現してほしい。太陽光、風力、バイオマスなど。 ・防災拠点は賛成だが、地下施設にして通常は見えないようにしてほしい。 ・環境面、健康面で自転車が注目されています。敷地の外周部を自転車専用レーンにすれば、多くの自転車マニアが集うでしょう。境川自転車専用道が近くにあるのも有利です。 ・地元農家の無農業を使うレストラン（藤沢市の「農家レストランいぶき」をご参考に）や、道の駅も良いと思う。 ・イチゴ狩り、ブルーベリー狩り、梨狩り、ブドウ狩りや野菜の収穫体験も良いと思う。 ・敷地内の海軍道路は、大山や富士山をバックに夕日が綺麗です。更によく見えるように小高い丘を作ってもらえれば嬉しいです。夕日の絶景ポイントになるでしょう。 ・野外コンサート場も良いと思います。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行ってまいります。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にも情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めてまいります。</p> <p>また、環状4号線や地区内に整備する主要な道路においては、歩行者や自転車が安心して通行できるような空間を形成します。</p> <p>あわせて農業振興ゾーンで収穫された農産物を直接提供できるような機能について、今後、検討を進めます。</p>
14	<p>「賑わいゾーン」については、大規模テーマパークの誘致が決まっているように聞いておりますが、先般の豊島園の閉園や最近の東京ディズニーランドの集客減などに見られるようにインバウンドの動向次第で業績は大きく左右され、まさに事業自体が「水もの」です。さらに今般のコロナウィルスのような事態が発生すると、一気に経営危機という事態さえ想定されます。即ち、将来のロングランの事業継続性に大きな疑義があります。それにも関わらず、国有地がこの「水もの」に利用されるということに何の大義があるのでしょ。しかも、構造改革特区まで活用して。湾岸ではやはり「水もの」のIR、海も内陸も「水もの」ばかりでは失敗したときにどうするのか？この巨大ダブル「水もの」で横浜市の実業リスクのポラティリティが相当高まります。また、公共交通機関が瀬谷方面からしか整備の見通しがなく、東京ディズニーランドと同様に自家用車での来場者が太宗を占めた場合、横浜町田IC周辺は完全に機能停止になるでしょう。東京ディズニーランドの駐車場から出るのに以前5時間かかったことがあります。瀬谷からの当該地まで新交通が引かれても瀬谷経由では人は来ないでしょう。人は東から来るのです。少なくとも、新交通は長津田駅か十日市場駅に繋がってこないかと、横浜町田IC周辺は渋滞で機能停止になるでしょう。ここにまた物流機能が来るのですか？もう少し、交通計画をしっかりとしないと、また大義のない「水もの」主導の市政では市民がついてこないのでは？失敗したら横浜市・市民全体が水没します。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行ってまいります。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にも情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めてまいります。</p> <p>本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めてまいります。</p> <p>具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査してまいります。渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
15	<p>開発を行うこと自体には賛成です。ただ、テーマパークを作ることは強く反対です。</p> <p>私は旭区で生まれ育ち、結婚して瀬谷に移り住みました。</p> <p>そもそも横浜市の構造を家に例えた場合、みなとみらいが客間、中区・神奈川区が書斎だとしたら瀬谷区、旭区は寝室になると思います。</p> <p>そんなところにテーマパークを作ってしまったら、生活に支障が出るばかりか、ストレスの元です。</p> <p>さらに言うと横浜町田ICは市民の足です。観光客が利用する場所ではありません。私は子供を東京の成育医療センターに連れて行くのに、横浜町田ICを利用していますが、そこが渋滞してしまうと非常に困ります。</p> <p>一度連休の入間ICを視察されてはいかがでしょう？アウトレットのせいで市民の生活にいかにか支障をきたしているかお分かりになると存じます。</p> <p>いままでは林市長に投票していましたが、次は絶対に投票しません。もう少し横浜市の構造について勉強したほうが良いのではないのでしょうか？</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行ってまいります。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めてまいります。</p> <p>また、具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査してまいります。渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
16	<p>テーマパークや商業施設の誘致ではなく、今後想定される大規模な災害対策用のフレキシブルな用地として確保しておいて欲しいです</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備してまいります。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p>
17	<p>テーマパークは反対です。賑わいゾーンをなくし、スポーツ、医療、研究施設、国による予算をつけて、ゆったりとした研究学園都市を目指すべきです。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p>
18	<p>通信施設跡地の利用計画は、2度と手に入らない広大な土地を市民生活の利便性を高めるためにつかうよう計画してください。教育、医療など不足している施設の建設のあてべきで、一過性の賑わいしかもたらさないテーマパークなどもってのほかと私は考えます。</p>	参考	<p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めてまいります。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備してまいります。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p>
19	<p>医療センター、高齢者の福祉施設、公園などにしてください。</p> <p>商業施設、娯楽施設には絶対反対！</p>	参考	<p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めてまいります。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p>
20	<p>テーマパークは不要だと思います。横浜市は新しい劇場やR誘致など、観光関連に力を入れすぎだと思えます。福祉、医療、保育園等に力を入れてください。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めてまいります。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
21	<p>貴重な自然環境を守ることを実践してほしい。土地を利用するすべての事業者が自然を守るための共通のルールを定めることが大事だと思う。特に、経済優先で川を埋めたり、地形を大きく変えたりするのは絶対にやめてほしい。</p> <p>今生えている木もなるべく残してもらいたい。海軍道路の桜は市民の宝である。</p> <p>また、野球場や海軍広場、ドッグランなど今あるものを残すのもよいが、何かに片寄せせずバランスよく配置してほしい。</p> <p>テーマパークは賛成ではない。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、豊かな自然環境をいかしていくことを位置づけていますが、具体的な基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>なお、土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
22	<p>テーマパークではなく、病院を作ってください。救急病院が足りません。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、現段階では、市立・地域中核病院などの大病院を新たに整備する計画はありませんが、医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等を踏まえ、その必要性を含め検討を進めていきます。</p>
23	<p>○公立の病院の建設 ○高令化している現在、高令者が安心して入れる公立の住居の建設 ○テーマパークは反対</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、現段階では、公立病院を新たに整備する計画はありませんが、医療施設の立地については、周辺の整備状況や医療需要等を踏まえ、その必要性を含め検討していきます。</p> <p>また、郊外部の鉄道駅を中心としたコンパクトなまちづくりを進めており、鉄道駅徒歩圏（おおむね1キロメートル圏）については、現状の土地利用を踏まえつつ、駅周辺（生活拠点）への利便性を生かした良好な住宅市街地を形成するなど、土地の有効活用を図ることとしています。</p> <p>そのため、現時点で市街化調整区域である本地区においては、市街化区域を拡大して、住宅を整備するという考えはありません。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
24	<p>近隣区に住んでおりますが、花博の誘致およびその後のテーマパーク構想等に反対いたします。</p> <p>まずは、花博のほうですが、これだけ環境危機が叫ばれているなか、7年後に大きな建物を建てて膨大なエネルギーを消費しながら行うような「国際博覧会」が時節に合っているとは到底思えません。CO2削減の目標も示すことができずに世界中から白い目で見られている日本で、大掛かりな花博を開催することが、インバウンドに貢献するとは考えにくいです。</p> <p>また、例えば会場に外来種の種を盛大にまいたり苗を植えて巨大な花畑を作れば、一時的な観光名所になるかもしれませんが、長い目で見れば近隣の在来種を減らすこと、また種が多様性を失わせることにもなりかねません。</p> <p>テーマパーク構想もわかり、人の集まる場所を作ることが非常に困難なご時世では、大掛かりな建物は負のレガシーとなり、長期的には地域の住民の負担になることも考えられます。</p> <p>私はむしろ、最先端のまちづくりを実践する「まちづくり特区」とすることを提案いたします。</p> <p>横浜もせつかく、「スマートシティプロジェクト」などを立ち上げて検討されてきたことと思います。</p> <p>瀬谷区の土地柄を活かしてソーラーシェアリングなどを取り入れたエネルギーを地産地消を進め、災害に強い次世代型のまち（柏の葉スマートシティのように）を民間企業と一緒に作りあげることで、新しく未来志向型の横浜市の在り方を示すことができるのではないのでしょうか。</p> <p>追伸： 本気で市民意見を募集しようとお考えでしたら、投稿フォームはもう少し分かりやすい形で提示していただけるとありがたいです。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>国際園芸博覧会については、本地区において、基盤整備の促進、国内外への地域の知名度やイメージの向上、さらには国内外の先進的なまちづくりに寄与するため、国際園芸博覧会の開催に向けた検討を進めています。開催後の土地利用については、本地区全体でそのレガシーを継承・発展していきます。</p>
25	<p>テーマパークは、多数のところで破たんしています。横浜のドリームランドも閉鎖しましたよネ ※テーマパークつくり反対！！</p> <p>花博をやるならレガシーとして細々と残さず、大々的に残して下さい。テーマパークは廃墟をつくるだけ、市の税金は使わないで下さい。</p> <p>※運動広場、体育館を十分につくって下さい。アスリートだけのスポーツでなく小さいうちからスポーツに親しめる場が十分に必要です。子供の体力不足がいわれている</p> <p>※有害物質が残っていないか、土にしみこんだいないか、徹底的に調べて下さい。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>土壌汚染については、現在、国で調査を進めています。汚染が確認された場合は、土壌汚染対策法などの法律等に基づき、対応していくこととなります。</p>
26	<p>再生可能エネルギーの大規模発電施設 仮称「横浜電力」の建設・設置をお願いします</p> <p>理由について</p> <p>言うまでもなく、持続可能な社会を目指すSDGsの動きやパリ協定の発効により、再エネは世界的な流れになっています。また、中東からの原油輸入により、年間5兆円も貴重な外貨を支払い、そのうえ複雑な紛争地に日本のエネルギーを依存しています。原発については、もはやいかに及ばず。</p> <p>◎わが横浜市は、経済・文化ともに時代の流れの先頭に立っている素晴らしい都市です。再エネ取組みにも数々の実績があります。未来を生きる、子ども達に、あるべき姿として示して下さい。間違っても、どこにでもある「大型娯楽施設や大型商業施設」などしないでください</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
27	<p>テーマパークは反対です。 ○ずっと防災拠点になるものと思っていました。 ○テーマパークはカジノと同じで莫大な投資以上に回収され地域の活性化などありません。市財政に負担をしいるだけです。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討 し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化して いくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生 かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利 用基本計画に位置付けました。 また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備してい きます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮す るとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性 化拠点の形成を実現していく考えです。</p>
28	<p>基地が返還され、市民の利用できる場として活用を期待していま した。 しかし、肝心の公園・防災ゾーンは少なすぎます。いざ災害という 時の広場が必要ですし、高令化社会に見合ったゆとりのある施設を 求めます。 1500万の集客をみざすテーマパークは必要ありません。</p>	参考	
29	<p>健康診断と美容、アンチエイジングに特化したリゾートスバ的な病 院を核とした観光施設を考えました。健康診断を受けつつ、漢方等 を取り入れた食事を提供できる飲食施設。温泉、認知症予防でした ら制約は必要ですが賭け事を疑似体験できる施設も良いかと思いま す。ホテル、ショッピングモールも併設すれば富士山も見えますし 観光客も来やすいでしょう。ただ新型コロナウイルスのニュースがあつたの で、神奈川県はこういう時は市民病院に負担がかかりすぎる気がす るので感染症対策万全の新しい病院を市が県の威信にかけて建設し てもいいと思います。 もうお話しはきてるのかもしれませんが、ポケモン、ディズニー、 ムーミン、ハリボタ、ジブリは押さえられました。これらに勝てる 強IPが思いつきません。ガンダムは前述のIPより格下です。夢見がち な計画で恥を将来に晒すのもどうかと思いますので、堅実な計画の 立案又は計画の破棄を希望します。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討 し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化して いくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生 かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利 用基本計画に位置付けました。 現段階では、市立・地域中核病院などの大病院を新たに整備する 計画はありませんが、医療施設の立地については、周辺の整備状況 や医療需要等を踏まえ、その必要性を含め検討していきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
30	<p>葛西臨海公園を目指して欲しい 横浜でキジが見れるのにはびっくり。瀬谷には鷹見塚があるので、ぜひこのキジがいる環境を残すことで、瀬谷の歴史を身近に感じられるようにして欲しい。 (仮にアスレチック満載の忍者村にでもすれば、近場で、子供も大人も楽しめ、外国人ウケも良いと思う。しかし”教えることができる本場の忍者”の人材確保、忍者屋敷の構想に何年かかるだろうか？そこで、) なるべく自然を生かした方向で、葛西臨海公園のような造りの自然体験型アトラクションを提案する。</p> <p>1、キャンプ・バーベキュー場 キャンピングカーやログハウスなど、室内泊も可能なキャンプ場。 車中泊可能なキャンプ場。 地元食材のバーベキュー場。 どちらも貸し出し有りで、雨でも気軽に体験出来ること。 光害の少ない造りにして星空観測。流星群の時にはイベント開催！ メリット:近場で体験可能。手軽さが売り。地産地消が可能。 様々な宿泊施設や、星空観測によりリピーターも見込める。</p> <p>2、古民家宿泊 古民家を移築して、外国人ウケを狙った古民家宿泊。 (歴史が無いと、外国人は興味示さないから注意) 釜戸で体験型料理教室あり！ 五右衛門風呂を自分で沸かす体験。 竹細工で水筒作り、凧作り。 メリット:地産地消が可能。 問題:古民家の探し出しと移築、大規模なりフォームが必要。</p> <p>3、宿泊施設の周りは、野鳥散策コース(1、2を含む) 野鳥が生活できるように、人が入らない池や草むらと野鳥観測台。 公園・防災ゾーンとは別に、虫、めだかの飼育池。 ドッグラン、凧揚げ・スポーツカイト広場、広場での肉フェス、音楽フェス、ビールフェスの開催。 草刈委員の山羊の飼育。 メリット:自然にふれあえる緑の財産を未来に残すことが可能。 宿泊以外の野鳥撮影のリピーター、歩こう会への場所提供、フェスのリピーター、フェスによるキャンプ場の認知。ドッグランのリピーター。</p> <p>4、道の駅 採れたて農作物の販売所。 メリット:少量でも地産地消が可能。 遊園地やアウトレットモールは望まない。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただくとともに、ご意見の一部を踏まえ、農業振興ゾーンで収穫された農産物を直接提供できるような機能について、今後、検討を進めていきます。</p>
31	<p>私たちの地元に、きちんと責任ある展望を持って後地利用を考えてください。 「テーマパークは反対」です。 もっと瀬谷区が豊かな地域となるように ゆったりとした土地利用で研究学園都市をめざしてほしいです。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画(素案)公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画(素案)について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
32	<p>「テーマパーク」は反対です。 市民の声は聞きましたか？ はじめて聞きました。何でもテーマパークにすればと思うのはあさはかです。 他にもっと市民のことを考えて、病院や避難施設など、市民のためになることを考えて下さい。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p>
33	<p>緑をそのまま活用し、病院や高齢者福祉等の施設がほしいという地元の要望はどうなってしまったのでしょうか。あの土地は地権者だけでなく、区民の財産です。大気汚染、交通渋滞の心配を地元はしています。住民不在のテーマパークについてはてっ回をして下さい。そして住民のための施設を作って下さい。</p>	参考	<p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
34	<p>テーマパークは反対です。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p>
35	<p>1、テーマパークなどにお金を使うことに反対します。 市にはお金がないのでは？失敗しても後々まで 始末にお金がかかる。 1、川の源流がありますが どうやって守りますか。 1、跡地利用に対する横浜市の考え方の資料と相いれないのでは。</p>	参考	<p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
36	<p>「テーマパークを誘致」という、記事を読んでびっくりしました。なぜ、あの広い土地にテーマパーク？か意味が分かりません。前々から思っていました、畑が有る近くに、勝手に駐車している車が大量に有るのはなぜか？さっぱり分かりません。家族でその話をした事がありますが、あの大量の車は何でしょう？ゴルフ場側の広大な畑に工場が有りますが、夜、12時頃灯りがついているのを見た事がありますが、あれは何なのか？とにかく、「テーマパーク誘致」もさっぱり分かりませんが、前からある駐車場化している土地と、工場は、何なのか、今だに分かりません。あれは何でしょう？</p>	その他	<p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
37	<p>大型テーマパークは絶対反対。公有地は福祉施設やスポーツ施設に活用して下さい。もっと時間をかけて、市民の意見を聞き反映して下さい。泉区の深谷通信基地の跡地利用については、私達は色々な意見を出し合い、永い時間を掛けて話し合いました。子供達がキャッチボールの出来る公園や、泥んこになって遊べる公園が全くありません。</p> <p>老人が安く入れるような公営住宅も必要です。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>住宅についてですが、郊外部の鉄道駅を中心としたコンパクトなまちづくりを進めており、鉄道駅徒歩圏（おおむね1キロメートル圏）については、現状の土地利用を踏まえつつ、駅周辺（生活拠点）への利便性を生かした良好な住宅市街地を形成するなど、土地の有効活用を図ることとしています。</p> <p>そのため、現時点で市街化調整区域である本地区においては、市街化区域を拡大して、住宅を整備するという考えはありません。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
38	<p>以前から発表されていた「農・緑・防災の大規模な野外活動空間」の理念に基づいて、テーマパークのような商業施設ではなく、昭和記念公園のような緑を保全し、災害時にも活用できる空間を中心とした土地利用にしていきたい。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
39	<p>農・緑・病院や介護施設、スポーツ施設、大規模な野外活動空間として利用するようにすべきで、テーマパークの誘致には反対です。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
40	<p>緑が失われ、土の保水力もなくなっている日本。通信施設の跡地は、市民農園等にできないでしょうか。人工的な建造物でのテーマパークは不用です。足りない介護施設や病院等も建ててください。</p>	参考	
41	<p>私はテーマパークは反対します。病院や老人ホーム介護施設、緑地、農地、（防災用倉庫）、映画村</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
42	「観光にぎわいゾーン」として、大型施設・テーマパーク誘致に反対します。緑と防災施設、病院や介護施設、スポーツ施設等、地元住民の強い要望に沿った開発をしてください。	参考	土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様の見解、要望等を踏まえ、作成したものです。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。
43	テーマパークは必要ありません。赤字になると思います。それより、防災公園等、市民の生活に必要なものをつくって下さい。	参考	医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。
44	長年の運動で返還された上瀬谷基地の跡地利用はこれまで住民から出されている公園、防災、医療、教育などを中心に計画していただきたい。 大規模なテーマパークの施設には反対です。	参考	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。
45	テーマパークは反対です。 あれだけ広大な土地です。 市民にとって必要な医療施設とか、防災拠点とか、有ような使用方法を考えてもらいたい。	参考	
46	テーマパークなどはもういりません。 どこかの商業ベースの利益になるようなものでなく、病院や特別なたてもがなくても若人が安く使うことができるような自然を生かしたスペースにしてほしいです。 人工的なテーマパーク等昭和の発想です。	参考	
47	自然豊かな土地に集客力のある大型テーマパーク等を作る案のようですがその土地に合った計画をお願いしたです。 子供からお年寄が集えるような施設、スポーツ広場等、住民本位の立場での計画をお願いします。港には大型テーマパーク等の計画もあり私たちは何のために税金を払っているのでしょうか。自分たちのくらしが豊かになるよう願っているのです	参考	
48	跡地利用の「観光・賑いゾーン」テーマパークに反対です。 当初計画どおり「環境再生」をテーマに、又、気候変動による災害等に柔軟に対応できる施設などを今から準備することが必要だと思います。又、現在おきている新型肺炎のような病気がこれからも発生する可能性も考えられます。備えこそが私たちの不安をなくすことができるのではないのでしょうか。	参考	
49	遊園地なんて、望みません。造るなら、災害にそなえての避難場所的なものを作ってほしい。	参考	
50	漸く戻ってきた広い土地です。地権者の権利は守りながら、公園、防災、病院など市民に役立つものをつくって下さい。	参考	
51	テーマパークは反対です 緑地の保存と災害時の際に避難する為の空地を残して下さい。 子供達が利用できる野球場やサッカー場を作って欲しいです。	参考	
52	市がとりくもうとしている大型テーマパークではなく福祉施設やスポーツ施設などを、積極的に市民のための施設をつくって下さい	参考	
53	有効な土地をテーマパークなんぞに使用することは反対である。もと公園や病院、老人施設を作ることを希望する。	参考	
54	テーマパーク作りはやめてください。もっと本当に市民の安全・安心に資するものを計画するべきです。「高齢化」といって、長寿をせめるような市政でなく、健康や防災に対してこそ、もっと予算を使うべきです。市の予算は市長のものではありません。	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
55	<p>現地を見て来ました。広大な土地にびっくりしました。「温暖化」が深刻な現在、いかに環境に配慮した構想が必要かを認識しました。</p> <p>◎子供たちが、お金を払わずに自由に遊べる空間を確保すること。テーマパークで自然を破壊し、お金を払わなければ遊べないのは、福祉に反します。金儲けを考えるのは貧しい心の発想です。真の豊かさとは何かを真剣に考えてほしいです。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
56	<p>野外の活動空間はテーマパークではなく公園（自然豊かな）やスポーツ（野球場、ゲートボールなど）や市民菜園や防災の時に利用できるようなしてほしいと願うものです。時々隣の区ですが桜の時期はお花をみに行ってました。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、現段階では、公立病院を新たに整備する計画はありませんが、医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
57	<p>テーマパークは反対、市民のために災害時のために保全、公立病院、福祉施設を作れ</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、現段階では、公立病院を新たに整備する計画はありませんが、医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
58	<p>地球温暖化など環境問題を考えて大植物園・公園やスポーツ施設、教育文化施設とし活用することで、賑わいを招くようにすべきです。娯楽施設や遊園地はいりません、文化都市にふさわしい賑わいを求めます。</p> <p>また新型コロナウイルスの大流行時に対応できる大病院や介護施設・老人ホームなどに活用すべきと考えます。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、現段階では、市立・地域中核病院などの大病院を新たに整備する計画はありませんが、医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等を踏まえ、その必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
59	<p>公有地は、福祉施設やスポーツ施設を優先に活用して下さい。 大型テーマパークは反対です。 桜並木は残して下さい。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>また、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>なお、土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
60	<p>大型テーマパークは反対です。市民が長年親しんでいる桜並木を残し自然を生かした活用をして下さい。区民が要望している福祉・スポーツ・文化施設をつくって下さい。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>なお、土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
61	市内の少子高齢化の先頭を走る瀬谷区にとって、唯一と言えるほど明るい未来の話です。 テーマパーク、大々大賛成です！ 是非、花博に続き、テーマパークを実現、成功することで、私たちの未来に明るい火が灯されることを願っています。	賛同	本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。
62	テーマパーク、賛成です。 テーマパークできたら、是非友達を誘って遊びに行きたいと思いません。	賛同	
63	テーマパークには大いに期待しています。 これといった産業がない瀬谷が大きく飛躍できるきっかけになるはずです。 テーマパークが成功すれば、私たちの未来だけでなく、横浜の未来にも大きく役立つと思いますので、是非推進してください。	賛同	
64	私たちの住む町にテーマパークが来てくれたらと考えたら、とてもワクワクします。 今は瀬谷に誇りは感じませんが、きっと誇れる町になるはずですよ。	賛同	
65	テーマパーク、いいですね！ 雇用も増え若者も増え、町が栄えそうですね。 上瀬谷は、今は老人が多い町ですが、テーマパークができればきっと活気に溢れた街になると思います。 是非実現してください。	賛同	
66	実家が瀬谷にありますが、今までは緑が多く、比較的静かな街でしたが、横浜市内では魅力のない町でした。 テーマパークができれば魅力的な街になると思いますが、子供達を連れて実家を訪れる機会も増えると思います。 テーマパークで瀬谷を魅力的な街にしてください。	賛同	
67	瀬谷区公会堂の説明会に参加しましたが、テーマパークに対する反対意見が多くあったことに驚きを感じました。 地元としては、若い人が増え、雇用もでき、来場者への物販機会も増え、良い効果はかなりあると感じていましたので、ちょっと意外でした。 交通問題など解決すべき問題は多くあるとは思いますが、皆が知恵を出し合い協力していけば、完全解決とは言わないまでも、何かしらの軽減策があると思います。 皆が少しずつ我慢することで、瀬谷が大きく飛躍する最初で最後の機会ですので、横浜市には是非ともテーマパーク構想を推進していただきたいと考えています。	賛同	
68	戦前戦中戦後と苦しめられてきたこの地区が、大きく発展する可能性が合う最後の機会です。 私とその姿を見る機会が訪れるとは考えもしませんでした。 命が続くかわかりませんが、是非テーマパークを実現していただき、上瀬谷に人が溢れる姿を見てみたいものです。	賛同	
69	今は亡き先輩たちが一生懸命に守ってきた上瀬谷の土地です。 是非先輩たちに恥じない街にしなければと考えます。 テーマパーク、良いじゃないですか。 横浜のチベットが、横浜有数の町へとなる最後の機会だと思います。 テーマパークであれば、先輩たちも喜んでくれるはずですよ。 是非実現してください。	賛同	
70	交通問題、緑の減少など、反対意見は多いと思います。 しかし、今後の人口減少社会の中で、このままでは、この街は加速度的に衰退していくことは火を見るより明らかな事。 市内、国内、世界の街との競争に勝たなければ、孫子の代には、この街は人の少ない管理されない緑だらけの街になるでしょう。 緑が多くても、誰がそのような場所を望むのでしょうか？ 構想にあるようなテーマパークが完成し、成功したならば、世界から人が訪れる街となり、その財源で、守るべき緑をきちっと維持管理して次の世代へ受け渡すことができると思います。 そのためにも、テーマパーク構想を推進し、成功へ導けるようなサポートを横浜市には強く望みます。	賛同	
71	父の実家が瀬谷にあります。 父の実家にはあまりいく機会がありませんが、テーマパークができれば行く機会も増えると思います。 テーマパーク、楽しみにしています。	賛同	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
72	瀬谷と言えば田舎というイメージでした。テーマパークですか。瀬谷のイメージが変わりますね。同じ市内ですので、是非訪れたいですね。テーマパーク、楽しみにしています。	賛同	本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。
73	テーマパーク構想には大いに期待しています。瀬谷や横浜市の活性化に大いに寄与すると思います。是非実現してください。	賛同	
74	大和市在住ですが、近隣の町に夢のあるテーマパークができることを楽しみにしています。是非是非テーマパークを造ってください。	賛同	
75	当該地区に住んでおりませんが、大変夢のある構想と期待しています。特にテーマパークは横浜市内全体への波及効果もあり、期待は大です。孫と遊びに行ける日を心待ちにしています。	賛同	
76	友人宅が瀬谷にありますが、今まで横浜の僻地と馬鹿にしていた場所が、大きく変化する可能性に期待しています。テーマパークなど夢のまた夢と思っていましたが、考えてみれば道路利便性に恵まれた平坦な場所ですので、コンテンツの選定など経営を間違えなければ成功の可能性が大にあると考えます。市内への波及効果も期待できますし、素晴らしい内容だと思えます。	賛同	
77	横浜市の課題は山積みで、将来に向けた投資と、現状課題の解決を限られた予算内行うのは大変難しいと思います。課題山積みの中で、大きな投資となる事業に予算を振り分けるのには反対意見もあると思いますが、明るい未来が描ければ、人は前に進むことはできません。我々老人も、若者たちの未来のため、少しは我慢を強いられることを許容しなければと思います。テーマパークなど、夢物語と言う人もいるかもしれませんが、夢を描き、市民を明るい未来に導くのも横浜市の大切な役目です。是非この構想を推進し、明るい横浜市を創り出してください。	賛同	
78	賛成です。地元でテーマパークができたら最高！！	賛同	
79	横浜市に大きなテーマパークを作ることに大賛成です。横浜市は若い世帯も多く、県外に行かずとも1日遊べるテーマパークができることは、とても良いと思います。	賛同	
80	市の発展が見込める、テーマパーク計画に賛成です。是非、成功してください。	賛同	
81	子供に夢を与える、テーマパーク構想に賛成です。	賛同	
82	テーマパーク建設、賛成です。	賛同	
83	こちらの土地利用に関して、テーマパークの計画があると伺っています。私はぜひテーマパークを作っていただきたいと思っております。今やテーマパークと言えば東京ディズニーランドか、大阪のユニバーサルスタジオで人気集中してしまっています。横浜に全く新しいテーマパークが登場したら、たくさんの方がきて新しい観光名所になり、経済効果も上がるのではと思います。ぜひ推進していただきたいです。よろしく願い致します。	賛同	
84	テーマパーク案に賛成します。	賛同	
85	旧上瀬谷通信施設土地利用計画ですが、横浜市の一層の発展の為に、整備されたテーマパークになることを希望します。	賛同	
86	最近瀬谷に越してきました。テーマパークを作るという話を聞き、応援したく投稿しました。ぜひ瀬谷の町にテーマパークを作ってください。	賛同	
87	長い間不自由だった土地です。もう先は短くなってしまったが、やっと夢が見れる時が来たのです。テーマパークでも物流でも良いから、上瀬谷が栄える事業を実現して欲しい。	賛同	
88	テーマパーク案に賛成です	賛同	
89	テーマパーク賛成します。よろしく願いします	賛同	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
90	テーマパークに賛成します。	賛同	本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。
91	テーマパークに賛成します	賛同	
92	日本及び日本国外の民間のテーマパーク建設に賛同します。	賛同	
93	テーマパークで町おこし	賛同	
94	テーマパーク建設に賛成します。賑わいの拠点になると思います。	賛同	
95	テーマパークに賛成します。	賛同	
96	テーマパークが欲しい！！	賛同	
97	テーマパークが欲しい	賛同	
98	今後日本は、少子高齢化等の影響で、地方都市のみならず、東京、横浜近郊の所謂「郊外」といわれる地域でも「過疎化」が進むと思われる。少々のまとまった土地は今後次々と出現します。瀬谷の強みは「大きくまとまった土地」「都心からの利便性」。大きな土地だからできること、都心からの便がいいことを最大限いかせるプランがいいと思う。テーマパークなど、子供たちが笑顔になり、日本、世界からお客さんが来る、明るく楽しいものがふさわしい。静かでのんびりできるようなエリアは、30年後、日本中いたるところに出現する。活性化しましょう！	賛同	
99	テーマパーク賛成。 幕張に負けないような施設を実現してほしい。	賛同	
100	テーマパーク大賛成。 これから、高齢化するので、大人もたのしめる施設の誘致をお願いします。	賛同	
101	維持管理にお金がかかる施設よりも、テーマパークや物流計画に賛成です。	賛同	
102	若者に夢を与える、テーマパーク構想に賛成です。	賛同	
103	子を持つ親として、テーマパークには、夢があります。 是非、瀬谷で実現してください。	賛同	
104	横浜のシンボルとなる、テーマパーク計画に賛成です。	賛同	
105	横浜といえば、中華街のイメージですが、テーマパークはいいですね。	賛同	
106	テーマパーク賛成。 夢の実現を、是非旭区で。	賛同	
107	是非、横浜にテーマパークを。	賛同	
108	市のシンボルとなる、テーマパーク計画は、大いに期待します。	賛同	
109	テーマパークいいですね。 横浜の未来に期待が持てます。	賛同	
110	1500万人と言わず、2000万人を超えるようなテーマパークの実現をお願いします。	賛同	
111	テーマパーク計画に賛成します。	賛同	
112	瀬谷区にテーマパークを核とした複合的な集客施設が出来る事を大いに期待しています。また花博楽しみにしています。 頑張ってください。	賛同	
113	観光・賑わいゾーンはテーマパークが必要です。	賛同	
114	観光・賑わいゾーンには、集客力を考えると絶対にテーマパークが必要です。	賛同	
115	集客力を考えると、観光・賑わいゾーンにはテーマパークが良いと思う。	賛同	
116	横浜市東にはみなとみらい地区があり、観光・賑わいがある。今回の観光・賑わいゾーン（テーマパーク）があると、現在開発中の瀬谷駅南側と合わせ、瀬谷区が横浜市西側の観光・賑わいの名所になり、瀬谷区の知名度が上がり良いことだと思う。そう言ったことでテーマパークは必ず実現していただきたい。	賛同	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
117	<p>こちらの土地利用に関して、テーマパークの建設計画があると伺っております。 東京ディズニーランドや、大阪のユニバーサルスタジオに人気が集める中、横浜に全く新しいテーマパークができたら、たくさんの人が横浜に遊びに来て、新しい観光名所になると思います！経済効果もあると思うし、若者や高齢者の雇用にも役立つのではないかと思います。 ぜひテーマパークの建設を希望致します。よろしくお願い致します！</p>	賛同	<p>本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。</p>
118	<p>テーマパーク、とってもいいと思います！ 都心に近くて、こんなに広い土地であれば、たくさん人が来ると思います。 カジノには反対ですが、こちらは大賛成です！ 可能な限り、自然を残した形で開発されると、なお良いと思います。 市外のもの（川崎市民）ですが、横浜は国内で一番好きな街なので、ぜひテーマパーク実現して欲しいです。</p>	修正	<p>本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。</p> <p>また、まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p>
119	<p>観光賑わいゾーンにテーマパークにして欲しいです。 できたらムーミンバレー2とか</p>	賛同	<p>本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。</p> <p>なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行っていきます。</p>
120	<p>公園へのアクセスは、専用の歩行者道と車でも行けるように大きな駐車場を、整備して欲しい。 テーマパークは、神奈川県民が誇れるような素敵なものをお願いします。</p>	賛同	<p>本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。</p> <p>なお、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
121	<p>テーマパークは、賛成。 スポーツ公園を希望する。</p>	修正	<p>本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的なスポーツ施設については、今後、詳細を検討していきますが、頂いたご意見を踏まえ、「4章まちづくりのコンセプト」を一部修正しました。</p>
	<p>賑わいゾーンの中にテーマパークと連携し、21世紀の横浜・瀬谷の都市型農業の振興が図れるような「道の駅」設置を要望・提案します。</p> <p>上瀬谷通信施設土地利用に思う・想うこと * 21世紀 都市型農業の開発・推進、 * 「道の駅」の設立</p> <p>旧上瀬谷通信施設土地、返還後の跡地利用については、瀬谷区まちづくり委員会、跡地利用プロジェクトの活動において、数年にわたり議論、究め、本年3月、4年間の研究の成果が報告・提言されました。</p> <p>上瀬谷の同施設が、防衛庁から横浜市に返還されることが決まり報道されました。同施設返還は、瀬谷区民はもとより、横浜市民の長い間の悲願でした。返還後の活用・利用には、様々な制約があると考えられますが、有効な活用において、瀬谷区・横浜市の飛躍、充実・発展する有効な活用が期待されます。その計画は、様々な機関、組織、団体、官・学・民の研究、企画、政策が予想されます。その中で、当プロジェクトのこれまでの研究成果を踏まえ、一層の具体的な活動が必要になると思います。</p> <p>旧上瀬谷通信施設土地は、人の安全・安心な生活基盤、農産物の必要条件である自然の恵み（日光・空気・水・緑・大地、動植物）が豊かな地であり、瀬谷区のみならず大都市横浜の物心両面の貴重な資産と思います。</p> <p>当地返還後の適切な活用は、市民生活の向上、都市開発、未来の夢の実現等多面的な重要な課題と言えます。本テーマの基本構想を理念として、21世紀の農業「都市型農業の開発・推進」、「道の駅」の設置は、旧上瀬谷通信施設土地利用の課題の一つと思います。</p> <p>* 「都市型農業の開発・推進」</p> <p>・地産・地消を豊かにした農業施策の充実・発展 (1) 豊かな地産農業施策 ・伝統的・歴史的農業方法を生かしさらに工夫・改善を図る ・大型農業の導入、法人化を目指し農業の多様化、企業化 ・瀬谷区の特産品、加工食品生産の開発・拡大化 ・農業経営のマルチ化、量産化</p>	修正	<p>本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきますが、スポーツ施設を整備することについて、「4章まちづくりのコンセプト」を一部修正しました。また、農業振興ゾーンで収穫された農産物を直接提供できるような機能について、今後、検討を進めていくこととし、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p> <p>各ゾーンへの具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
122	<ul style="list-style-type: none"> ・観光農園、原体験農業の開設 ・新規農業参入者、児童生徒（小・中・高生）の農業参加、農地解放 ・農作業の拡大、マルチ化一野菜、花類、水田、養鶏、畜産 ・栽培・製作教室の設置一家庭菜園の方法・技術、花・野菜の活用造形教室（押し花、草染め等） （2）地消の拡大施策 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への新鮮農産物の活用のピーアール、消費の拡大 ・地域の飲食店、レストラン等の業者との連携と早期契約促進 ・学校給食、公共施設の食堂等の活用拡大 ・スーパー、コンビニに不動産業等商業機関での販売委託と経路拡大 ・学校行事、各町村・団体の行事（収穫祭等）での活用 ・「道の駅」の開設、直営レストラン等の開設一地産農産物の消費と雇用推進 ・「区内農業祭」の定期的開催一農作業の啓蒙、展示、産物の販売、体験 ・農産物・加工食品の消費拡大PR ・都市型農業の推進・充実の研究・研修・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・21世紀農業施策・開発研究・研修機関の設置、運営 ・農業従事者、技術者養成の研修・推進活動 ・農業専門学校設置・経営 ・農業の大規模化、企業化の研究と実践化 ・新規農業参入者、児童生徒（小・中・高生）の農業体験の推進 ・ヨコハマ市民まち普請事業の推進 ・「自然教室」（自然体験活動）の開設一小・中・高生、地域住民、 <ul style="list-style-type: none"> ・「自然探究」一自然にふれ親しむ活動、 ・「勤労・生産活動」一栽培活動、農作業、 ・宿泊体験活動（キャンプ）一集団生活の仕方、生活習慣、技能習得、 ・「各地域との交流活動」一都市と農村、各地域との交流、 人、習慣、伝統、文化の学び、 ・「野外での健康づくり」 ・公園併設と農業施策の推進 <ul style="list-style-type: none"> （1）自然公園・学習センターの設置と活用 （2）大規模な自然公園（旭区大池公園の例）設置一樹木、花壇、野菜、小動物等、利用者直接活動 （3）学習センター設置と活用一①周辺域の生物、生息、分布、案内図、標本、②農業分布、農作物栽培状況、農業の歴史・発達、農機具の変遷、未来の農業、③農産物と加工品、④生産高と消費高、販売店の種類内容、⑤農業従事者 （4）公園利用者の農業体験と農業開発 <ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者が管理・運用一栽培・飼育等農作業活動、 ・栽培・飼育、生産・収穫、活用・料理試食、販売のサイクルの原体験 ・セミナー、座談会の開設一農業の啓蒙、経営の合理化・拡大、地産・地消の推進 ・大規模公園・遊園地・スポーツ球場の設置と活用（省略） ・道の駅設置（関係資料別紙） 「道の駅」の開設（事例概要） ・仮称：「道の駅せや」 ・趣旨：瀬谷区上瀬谷地区は、242ヘクタール（ha）の広大な地域、太平洋戦争により米軍通信施設として接收、終戦後は、広大な農業地域の早期返還が望まれ、返還後は、農業施策の開発・推進は元より、地域住民の豊かな生活の保証、世界を目指す、瀬谷区・横浜市の文化的・経済的発展等等、マルチな開発・活動を目指す「道の駅」の設置が期待される。 ・目的：道の駅は、緑豊かな恵まれた自然環境の中で、瀬谷区民・横浜市民、日本、世界の人の交流の拠点として、農業をはじめ、地域の自然・資源の保全と活用、地域の産業な発展、地域住民の就業の拡大、生活の向上、他地域との豊かな交流「賑わいの街」の発展に資する。 本施設、仮称「道の駅せや」が設置されることにより、施設が発展、多くの人に愛され、人々の交流の場として、豊かな瀬谷区民・横浜市民の生活向上、「賑わいまちづくり」の発展、文化の交流に資することが期待される。 ・事業内容の計画（一例） <ul style="list-style-type: none"> ①施工場所：横浜市瀬谷区上瀬谷 ②総面積：敷地面積、建物面積、駐車場面積、 ③規模・構造：2階、鉄骨、木造・コンクリート ⑦施設内用：・生産物直売コーナー、・生産作業場、食材提供コー 		

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
	<p>ナー、・加工コーナー、 ・ミーティングルーム、・各種展示コーナー、ミイテ ングルーム、・総合観光案内、 ・民芸品展示販売コーナー、・食事コーナー、休憩 コーナー、・手作りキッチン、 ・交流ふれあいひり場、・体験コーナー、・情報コー ナー、瀬谷の野菜、果物狩り ・トイレ、・駐車場—大型化、普通車、バイク、自転 車 ・牧場（乳牛、やぎ、）、業乳、乳製品、小動物ふれ あいコーナー、乳製品加工場、 ⑧施設管理、運営 自治体管理、管理条例を定め管理運営 ⑨事業：・施設設備の建造・自家用水道、・造成工事、・耐震防 火、・テレビ等情報受信施設、 ・案内板、・電話ボックス、看板、・物流センター、 ⑩交通：既存の4号線道路の拡張・整備、新交通機関、東名高速、 ・交流促進施設、人・物・情報の展開（一例） ①未来都市の構想 ②環境保全、地域の活性化 ③交流促進施設 ④各施設との関わり ⑤観光施設—せやの湯、温水プール、森のコテージ、観光農園、 ⑥観光農園、 ⑦農業原体験、 ⑧農業開発—教育施設、研究施設 ⑨桑畑・養蚕・製糸、絹織物、製造工程・展示、試作センター、 ⑩瀬谷特産品—うど、・落花生、・甘藷、・スイカ、・トウモ ロコシ、・葡萄、・梨、・柿、・みかん、</p>		
123	<p>横浜の西端に大規模観光施設が誘致されると、地域の活性化に貢献 し大変ありがたい。併せて、瀬谷柏尾線の歩道を全線に設置して もらいたい。 ぜひとも、夢にあふれた国内第一のテーマパークを実現していただ きたい。 期待しております。</p>	賛同	<p>本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある 空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テー マパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきま す。 また、周辺道路に関するご意見については、関係部署で共有し、 今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
124	<p>港横浜のイメージを変えるような魅力あるテーマパークができたら 良いと思う。また、テーマパークは、大勢の人々が集まると思うの で、交通施策にしっかり取り組むようにしてほしい。</p>	賛同	<p>本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある 空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テー マパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきま す。</p>
125	<p>周辺道路の混雑を考えていただき、子供からお年寄りまで楽しめる テーマパーク等土地を最大限にいかしてほしいです。</p>	賛同	<p>なお、具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化して いく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよ う、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討 を進めます。</p>
126	<p>素案を拝読し、おおよその考えは理解できました。 テーマパークや物流施設など、静かであった上瀬谷が騒がしくなる のは少々残念です。しかし、これからの少子高齢化社会で街を維持 していくには人が集まる街にならねばならないと思っています。 その意味で、横浜市素案に賛成いたしますが、地域住民の単なる 迷惑施設にならぬよう、交通対策や騒音など十分に対策されるよう 望みます。</p>	賛同	
127	<p>近くにテーマパークがあると楽しみだ。 当然、渋滞対策のため、道路整備も考えて頂きたい。 テーマパークは、大賛成です。</p>	賛同	
128	<p>渋滞対策を考慮した上で、観光・賑わいゾーンはテーマパークを希 望する。</p>	賛同	
129	<p>集客力を考えると、観光・賑わいゾーンにはテーマパークが良いと 思う。 また、近くにテーマパークがあると楽しみだ。 当然、交通の渋滞対策も必要である。</p>	賛同	
130	<p>ラグビーの練習場を作って、ラグビーのトップチームを誘致して ください！横浜でもラグビーが見たいです！横浜には日産スタジアム があるのにトップチームがいません！</p>	修正	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したもので あり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます が、スポーツ施設を整備することについて、「4章まちづくりの コンセプト」を一部修正しました。</p>
131	<p>是非今年50回目となる瀬谷マラソンの拠点となるクラブハウスの 設置と、緑の中を走れるマラソンコースを作ってください。</p>	修正	
132	<p>テニスコートがほしい 市民利用のコートと国際大会が開けるような観客席付きのコート</p>	修正	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
133	<p>横浜Fマリノスを応援しています。 4万人収容するサッカー専用スタジアムを中心とした、緑あふれる公園を希望します。 モデルは、新横浜公園です。 横浜市は、大規模サッカー専用スタジアムが二つありますが、それぞれ以下の問題を抱えています。 日産スタジアム：7万人収容するが、陸上トラックがあり見づらい。Jリーグでも平均3万人程度なので、大きな試合以外は空席が目立つ。 三ツ沢競技場：陸上トラックが無いので、選手が近く迫力がある。しかし、1万5千人程度しか収容できず、屋根も無い。周りに病院が建っており、拡張も難しい。</p> <p>横浜市はJリーグのチームが3つあり(横浜Fマリノス、横浜FC、YSCC横浜)、もう一つ使用できるスタジアムがあって良いと考えます。また、それぞれのスタジアムと差異化を図りたいと考えます。 また、神奈川県はJ1に4チームチームを抱えテイルにもかかわらず、4万人規模のサッカー専用スタジアムを持たないことに違和感を感じます。</p> <p>スタジアムの周辺にサッカー関連施設(天然芝/人工芝サッカー場、フットサルコート)を配置することにより、平日も成人男性のみならず、子供、主婦、ご老人(サーカーを通じた体操など)にご活用頂けます。 新たなサッカーの聖地を作る事が出来ると思います。</p> <p>テーマパークは、成功例としてはディズニールゾート、USJが上げられますが、その他は長い期間愛される施設としては苦戦しており、廃業になったところも少なくありません。</p> <p>新たなサッカーの聖地として愛される瀬谷を。</p> <p>私自身、0才から3才までは瀬谷で過ごしており、発展を祈念しております。 宜しくお願い致します。</p>	修正	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきますが、スポーツ施設を整備することについて、「4章まちづくりのコンセプト」を一部修正しました。</p>
134	<p>サッカー専用スタジアム!!</p> <p>横浜市にはJリーグだけでも横浜F・マリノス、横浜FC、Y.S.C.C.横浜と3チームもあり、高校年代、ラグビーも三ツ沢球技場を使用。また収容人数等、マリノス戦には対応しきれない。</p>	修正	
135	<p>私はあの広大な土地をテーマパークのみで留めるのはもったいないと思います。</p> <p>そこで、私が提案したいのは『テーマパーク内もしくは、併設施設としての球技専用スタジアムの建設』です。</p> <p>上瀬谷通信隊跡地の場所は町田ICからも近く、瀬谷駅からも来やすい土地なため、地域活性化の観点からもスポーツを巻き込むことは非常に有効かと思われれます。 スポーツ産業はその町へ人を呼び込むことによる交流人口を増やすことに繋がるため、より瀬谷区のためになると思いこの度提案させていただきました。</p>	修正	
136	<p>サッカー専用スタジアムの建設を要望します。2020年、J1リーグは神奈川県で4チームあります。私は横浜F・マリノスのファンですが日産スタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場はとても良いスタジアムです。しかし、日産スタジアムはピッチとの距離感がかなり遠くなっています。ニッパツ三ツ沢球技場はピッチとの距離感は近いですがキャパ数が少ない、屋根がないなど観戦をする時には不便さを感じることもあります(老朽化も進んでいます)。 大阪の吹田スタジアム、愛知の豊田スタジアム、京都の新スタジアム、埼玉の埼玉スタジアム2002など主要の都市にはサッカー専用スタジアムが建設されてきています。マリノスのホームタウンである横浜市に4万人規模のサッカー専用スタジアムを建設し、Jリーグだけでなく日本代表戦、高校サッカーなどに活用してもらいたいです。 関東圏からはもちろん、東海、関西方面からのアクセスも良い土地なので集客も見込めると思います。 横浜市内にこの規模の土地は他に考えられません。是非、ご検討の程宜しくお願い致します。</p>	修正	
137	<p>広大な土地を生かして、サッカー専用スタジアムを瀬谷に創りましょう。中途半端な複合施設でなく、特化することが大事です。瀬谷に外から人が来るようになると、街が活性化します。</p>	修正	
138	<p>横浜F・マリノス、横浜FC、YSCC横浜3チーム共同運営、使用のサッカー専用スタジアムをご提案致します。</p>	修正	
139	<p>サッカー、ラグビー専用スタジアムを中心としたボールパークが必要です。 スタジアムは陸上トラック無し。ボールパークでは子供、大人が自由にボールで遊べる施設を。</p>	修正	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
140	サッカー等の専用スタジアムの建設。	修正	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきますが、スポーツ施設を整備することについて、「4章まちづくりのコンセプト」を一部修正しました。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。 本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。 観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行います。
141	陸上トラック無しのサッカー専用スタジアムを中心にした公園。子供も大人もボール遊びできるように。子連れ親子が遊べる屋内屋外施設。赤ちゃんもハイハイしながら遊べる場所も備えて。	修正	
142	サッカー専用スタジアムが欲しいです。プロ選チームの試合で使えるような規模だと良いと思います。	修正	
143	サッカー専用スタジアムの建設を希望します。ご存知の通り、神奈川県はサッカーチームが多いのに対して、サッカー専用スタジアムは三ツ沢の1つと非常に寂しく、しかも屋根がないなど、サッカーを見る側にとって環境が良いとは決して言えません。相模原に専用スタジアムの建設の流れがありますが、これからの時代はサッカー選手はもちろん、観客の立場に立ったスタジアムの建設が必要になる時代が必ずきます。スタジアムだけではなく、周辺施設を充実させて、試合が無い日でも地域住民が集まれる、そんな施設がこれからは必要です。 神奈川をスポーツ最先端の県に！	修正	
144	草野球用のグラウンド2面ぐらいほしい。	修正	
145	上瀬谷球場に現在2面、奥に1面あります。野球の区民大会やその他の試合、練習に利用している者ですが、今回の利用計画に野球場を最低3面確保して下さい。近くに本郷球場があるのでりっぱな球場はいらませんが、球場の利用料を低く抑えるために簡易な施設を希望します。	修正	
146	毎週日曜日になると、子供達が野球練習の為、グラウンド（おそらく地主の土地）で一生涯練習をしている所をみると悲しくなりませす。W.CはインスタントW.Cももっと良い場所で練習出来たら良いといつも思っていました！ この土地はスポーツ広場として、子供達の未来に夢を与えたらどんなものか・・・ 今さらプロ野球は無理でしょうが、本郷公園の野球場は見学席はあってもいすはなく、とても不自由しているみたいです。ナイターは出来ず。もしスポーツ広場にすれば、ナイターで見学出来るスタイル。（大和の野球場みたいに!!）もっと早く返還出来ていたら味の素グラウンド多目的の話もあったみたいでしたよー。医師会でも動いた事を少々ばかりですが耳にした事を記憶しております。	修正	
147	野球場3面。付属の⑩。まわりを杉、ひのき、くぬぎ、ふなで囲み、マラソンコース、周回散歩コース。	修正	
148	スポーツ施設など皆が利用できる場所にしてほしいです	修正	
149	スポーツ施設を希望します。特に瀬谷区に弓道場がなく大和市の弓道場を利用しています。市外の利用者ということで大和市民の倍の金額を出しています。それと県営の遠的弓道場がないのでブロック予選のために高額の代金で仮設の道場を作り他県の方が不便の思いと神奈川の選手も稽古の場がなくよい成績が上げられません。全国大会の開けるような近的場、遠的場をそなえた施設を作っていただくことを希望します。	修正	
150	・今ある野球場は工事が始まる前に新しいものを完成させて欲しいです。子供達のために、球場を作るのであれば、多数建てて、草野球の名所になるように立派なものを。 ・公園は土地の高低差を生かした作りで、例えるなら四季の森公園のようなものが出来たらうれしいです。 ・テーマパークは映画やアニメ、キャラクターのものではなく、ゲームやe-スポーツをテーマにしたものの方が収容力は高いと思います。任天堂やカプコンなど、人気ゲームメーカーのテーマパークは、きっとみんなもワクワクすると思います。 ・みなさまガンバって下さい。	修正	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
151	<p>公園ゾーンについて 公園を作るにあたって先ずお願ひしたいのは野球場の建設です。今ある3面の野球場も開発の進展によってこわされるのですよね？ そうなると夜遅くまで一生懸命に練習している野球少年たちや、休日草野球を楽しむにしている大人たちの場所を一時的とは言え奪ってしまいます。理想は公園内に新しい球場が完成してから今ある球場の取り壊しが始まるという形です。それに欲を足すなら球場も多数作り、ゆくゆくは少年野球のメッカになったら良いと思います。あとはサッカー場等ですね。公園自体は今ある土地の高低差を利用した自然な作りに、例えるなら四季の森公園のような形で出来たら嬉しいです。</p> <p>テーマパークゾーンについて 基本的には子供が喜ぶものが良いと思います。わかりやすい物でしたらキザニアやレゴランドといったところです。海外からのお客を招きたいのであれば、ゲームやeスポーツ等テレビゲーム関係一択でしょう（漫画やアニメ、キャラクター物は100%失敗します）。任天堂やCAPCOM等の海外でも人気のあるメーカーのテーマパークであれば集客も難しくないと考えます。</p> <p>流通ゾーンについて 道の拡張や移動手段の新要素などはここに意見を書いても実現は難しいでしょうから現場のプロにお任せします。</p> <p>農業ゾーンについて 今ある畑をそのまま気軽に市民が参加できる農業体験、例えば1年貸し農地（1坪単位の小さなもの）や収穫体験が出来る施設ができれば良いと思います。と、この意見は素案にありましたね。とりあえず夏の直売所のトウモロコシは毎年の楽しみですですのでそれだけは絶対に残してください。</p>	修正	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきますが、スポーツ施設を整備することについて、「4章まちづくりのコンセプト」を一部修正しました。</p> <p>また、本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。</p> <p>観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行います。</p>
152	<p>私は上川井在住です。子供の頃より実家の畑が施設内にあり毎日のようにふれて育ちました。今回の横浜市の素案によりますと公有地132ヘクタールのうち82ヘクタールがテーマパーク用地となっております。市が考えるテーマパークとはどのような施設であるか具体的に提案を頂きたいと思えます。その案をふまえて検討する事を希望します。私は、これだけ大きな自然が残り、高低差の少ないフラットな土地ですので大きな建物や、箱物にたよった多くの人の誘致するのは反対です。具体的には三ツ沢公園で足りていないスポーツ施設を作って頂きたいと思えます。野球場、サッカー場、体育館、陸上競技場、それを取りまく公園として欲しいです。もし余裕があれば、これからの人口構成を考えると病院施設と老人と子供達が安価な費用で一日楽しく過ごせるテーマパークを希望します。</p>	修正	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきますが、スポーツ施設を整備することについて、「4章まちづくりのコンセプト」を一部修正しました。</p> <p>また、医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。</p> <p>なお、観光・賑わいゾーンの、具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行います。</p>
153	<p>昨今のラグビー人気の向上や、横浜市をホームタウンとするJリーグチームの数の多さを加味し、横浜Fマリノス、横浜FC、YSCC横浜のJリーグチーム共同運用が可能な3万人規模の球技専用スタジアムと、そこに併設するショッピングモールの建設をご提案致します。</p> <p>三ツ沢公園球技場は老朽化に加え、観客席数の少なさ、スタンドの屋根敷設率、トイレ数などの問題を抱えており、ここをホームスタジアムとしている横浜FC、YSCC横浜が好成績を残し、アジアチャンピオンズリーグの出場権を獲得した場合でも、この三ツ沢で試合を行えないのが現状です。横浜国際総合競技場を使用する事も可能ではありますが、こちらは逆に大き過ぎる事から現状では横浜Fマリノス以外のチームでは収益率が悪く、使用する事が財政を圧迫する可能性も考えられ、神奈川県内のスポーツ振興において足枷となっている部分があります。</p> <p>また、該当地区はJRと直通となった相鉄線瀬谷駅が最寄りとなり、後に新横浜とも直通となります。県央から新宿を繋ぐ小田急線との乗り換え駅である大和駅とも1駅という好立地にある為、常設のショッピングモールを併設し、瀬谷区の利便性、交通インフラの向上を相鉄、小田急両社と連携して進め、横浜市外や県外から人の流れを呼び込み、実際に便利な横浜を見てもらい、体感してもらおう事で人口増に繋げる事も狙いとなります。人口増加に伴い保育施設や店舗、法人の増加にも繋がり、大きな相乗効果が生まれるものと考えております。</p>	修正	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきますが、スポーツ施設を整備することについて、「4章まちづくりのコンセプト」を一部修正しました。</p> <p>新たな交通の具体的なシステムの種類や構造形式については、周辺環境への影響や経済性等を総合的に比較検討し決定します。また、旧上瀬谷通信施設より北側の整備については、現時点で未定です。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
154	<p>瀬谷区は「ウド」で有名な場所です「ウド」を中心とした「菜園」にしてください。中学校給食に向けた「給食センター」を作り「デリバリー方式」で瀬谷区内の中学校に「配食」してください。「菜園」には「太陽光発電」を取り入れ、「蓄電」設備を設けてください。災害に強い「瀬谷」になります。「災害避難用住宅」も建設してください。自然を生かした利用を要望します。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p>
155	<p>【農業振興ゾーン】 福祉施設と連携し、障害者雇用創出になる「農福連携」のモデル事業を。 名産品を物販エリアで販売促進</p> <p>【観光・賑わいゾーン】 各テーマパークの施設においては「屋上緑化」を徹底。 市民には自然を残すべき、との意見も根強く十分な配慮を。</p> <p>【物流ゾーン】 施設屋上への「太陽光発電」パネル設置義務付け。 物流拠点としてだけでなく、市の施策発信の場と位置付ける</p> <p>【公園・防災ゾーン】 桜並木と同様に「桜の名所」をつくるなど、地域の観光名所となるよう意識 特に乳幼児さんを持つ「子育て世代の憩いの場」となるように</p>	修正	<p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくことを明確にするため、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p> <p>なお、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、各ゾーンの具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
156	<p>神戸のように観光農園化して神戸牛やワイン・チーズ・アイスなどを生産販売し観光化するのはいかがでしょうか これだけ広ければ臭い問題も解消出来ますし、雇用も生まれますし賑わいも創出できると思うのですが</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
157	<p>農業振興ゾーンについて 日本の食料自給率（カロリーベース）は戦後88%あったものが近年ではおよそ37%～38%、県内ではカロリーの低い野菜の生産が多いが自給率2%、横浜市内では少なすぎて統計が取れないという惨憺たる状態が続いている。勿論政府も近期中に自給率を45%に引き上げるべく様々な政策を執り努力しているが、目標達成には程遠い。 周知のとおり日本は食料の大半を様々な国から輸入しているが、今後、世界の人口増加、気候変動、国際情勢、周辺国の発展等により、今後農産品の輸入が極めて困難になることが予想され、近い将来「食料安保」が極めて重要な国家戦略課題になる。</p> <p>1. そうした状況の中、市内で上瀬谷地域が最もまとまった農用地であり都市近郊農業地として市内だけでなく県内でも大変重要な地位を占めている。しかし、今回のゾーン指定では従来上瀬谷でおよそ90ヘクタールあった農用地が半分近くになってしまっている。県民市民の将来の暮らしを安全安心を市が本気になって担保しようとしているのか疑問である。</p> <p>2. 農用地を個人所有しては生産性と生活設計上成り立たないのは自明であり、農用地を集約し、農業をアグリビジネス化するために研究機関、農協や企業と協力する政策やネットワーク作りで横浜市が指導力を発揮しなければならない。 安易に観光農園や体験農業によって地域の活性化を図るだけでは「他の地域へも波及する新たな都市農業モデル」になりえない。 また、「持続可能な都市農業」の中身がまるで見えてこない。</p> <p>3. 嘗て瀬谷区北部地域は八王子街道、大山街道に近接していた立地のため経済活動が盛んであったが、簡略的に乱暴な言い方をすれば日本軍や米軍が基地を経営して以降様々な意味で大変な困難を味わうことになった。 今回のゾーン分けで海軍道路（4号線）に面した一部の地権者はメリットを享受できるが、海軍道路以西の柏尾線周辺の本郷北部、中屋敷、竹村、上瀬谷地域の活性化や生活上の利便性向上にどのような施策を執るつもりなのか？「医者、コンビニ、商店が来てくれなず、道も狭く、交通も不便だ！また、横浜市から取り残されてしまう」という地域住民の嘆きにどのように対処するのか？</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
158	<p>□都市農業モデル 都市インフラ（上下水道、道路交通など）が整備されている周辺の条件を生かして、レンタル農園事業を展開したらどうですか。レンタル農園は、作付け計画をはじめ種苗や農具、肥料などを農園が用意し、利用者は手ぶらで来園できる施設です。</p> <p>□物流拠点、防災拠点 東名高速道路、保土ヶ谷バイパス、八王子街道、環状4号線など既に幹線道路との交通ネットワークは整備されています。物流拠点としては、各路線を効率的に融合させられる出入り口の整備が必要です。 また、東南海、東海地震、富士山噴火などの大規模災害時、横浜都心部はもとより、首都圏が被災した場合、幹線道路とのネットワークが強化されている同地区は、首都圏西部の防災拠点としての優位性が高いと考えられます。 また、ヘリポートが設置されれば、さらに優位だと考えられます。</p>	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な基盤整備や施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
159	農業エリアについては現時点で台風など大雨が降った時に海軍道路へ畑の土が流入している個所もあるため、道路へ土が流入しないよう対策が必要である。	参考	
160	農業振興が図れるような「道の駅」を提案致します。 「道の駅」の近くに池を造っていこいの場にして欲しい。	修正	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見を踏まえ、農業振興ゾーンで収穫された農産物を直接提供できるような機能について、今後、検討を進めていくこととし、「5章 土地利用」を一部修正しました。
161	テーマパークの集客施設の中に瀬谷のかつてのブランド野菜「瀬谷ウド」などを販売できるいわゆる「道の駅」をお願いします。	修正	
162	観光・賑わいゾーンに瀬谷地域で作った農産物売る「道の駅」のようなものを設置して欲しい。	修正	
163	「道の駅」のようなものをつくって。	修正	
164	現在農業をやっている人の作物を売る場所を作ってやって。	修正	
165	地元の野菜等を販売する道の駅を作って！	修正	
166	「道の駅」のようなものがほしい。 又、この土地を掘って温泉施設があればよい。	修正	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、温泉等具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見を踏まえ、農業振興ゾーンで収穫された農産物を直接提供できるような機能について、今後、検討を進めていくこととし、「5章 土地利用」を一部修正しました。
167	①賑わいゾーンの中にテーマパークと連携し農業振興が図れるような「道の駅」を提案します。 ②24ha基地跡地だったことを後世に知らせるため外周道路を設置して下さい。	修正	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見を踏まえ、農業振興ゾーンで収穫された農産物を直接提供できるような機能について、今後、検討を進めていくこととし、「5章 土地利用」を一部修正しました。
168	①賑わいゾーンに「道の駅」の設置を ②基地跡地外周道路の設置を	修正	また、外周道路など、具体的な基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
169	①農業振興のためにも道の駅で野菜販売を出来るようにしてほしい ②基地外周道路をつくってほしい	修正	
170	<p>・道の駅を設置。グランピングが可能なエリアを併設し、自然とふれあいながら遊べる空間が欲しい。 ・現在旭区内にある西部病院は老朽化し手狭感があります。当該のエリアに新築移転し、規模を拡大したうえで防災拠点と連携して欲しい。そのことによりドクターヘリ等の運用も可能になるのでは？ ・場所柄暴走族が集まりやすい場所です。警備の強化が必要。そのため、老朽化もしている瀬谷警察署を移転させることも必要に感じます。 ・屋内イベントスペース（横浜アリーナに匹敵する）があっても良いのでは？ ・屋内でスポーツイベントを可能にするのも一つの方法。</p>	修正	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見を踏まえ、農業振興ゾーンで収穫された農産物を直接提供できるような機能について、今後、検討を進めていくこととし、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p> <p>現段階では、市立・地域中核病院などの大病院を新たに整備する計画はありませんが、医療施設の立地については、周辺の整備状況や医療需要等を踏まえ、その必要性を含め検討していきます。</p> <p>また、屋内イベントスペース等の具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
171	<p>・公園の中に樹木葬が出来る施設をお願いしたい。 ・農業振興の為に「道の駅」をお願いします。</p>	修正	<p>土地利用基本計画において、将来想定される課題への対応として、不足が想定される施設が整ったまちを目指し検討を進めることとしており、墓地整備の必要性・あり方について、引き続き検討を進めます。</p> <p>また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見を踏まえ、農業振興ゾーンで収穫された農産物を直接提供できるような機能について、今後、検討を進めていくこととし、「5章 土地利用」を一部修正しました。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
172	観光・賑わいゾーンに医療モールを造ってほしいです。できれば病院がよいのです。	参考	医療施設の立地については、周辺の整備状況や医療需要等を踏まえ、その必要性を含め検討していきます。
173	多くの横浜市民が恩恵を受けられる施設を、建てて欲しいです。 普通の病院や施設では近隣の住民しか利用しないでしょう。介護施設も結局はお金が無いと入れません。テーマパークもありふれていて、趣向を凝らしても頭打ち。夢がありません。理想を言います。 最先端の医療が受けられる日本一の病院。と宿泊施設。 病気はいつ誰がなってもおかしくないもの。近くの病院で病名がわからず、名医を捜してさ迷うのはお金も時間もかかります。そして、有名な病院でも診断がつかなければ、患者は納得します。 横浜の宣伝にもなりますし、住みたい人も増えます。最先端の医療を学ぶために優秀な人材も集まるでしょう。開国した横浜に相応しく、自慢にもなります。未来を感じる病院。ワクワクしませんか？ 難しいとは思いますが、いつか、どこでもいいので、つくっていただけたら...。切にお願い申し上げます。	参考	現段階では、市立・地域中核病院などの大病院を新たに整備する計画はありません。 なお、高度先進医療を担う大学病院として、横浜国立大学附属2病院がありますが、現在、再整備の検討を進めており、将来的な医療需要の高さ、全市からのアクセシビリティ等を考慮し、その再整備候補地として、市中心部を中心に、必要な条件を満たす土地を検討しています。
174	瀬谷区には、総合病院がなくその様な時は旭区の病院にたよっています。ぜひとも瀬谷区に救急総合病院をおねがいします。	参考	現段階では、市立・地域中核病院などの大病院を新たに整備する計画はありませんが、医療施設の立地については、周辺の整備状況や医療需要等を踏まえ、その必要性を含め検討していきます。
175	ゆりかごから墓場迄といった、大きな病院を希望します。働く人が増えれば、町も活性化します。是非、検討をお願いします。	参考	
176	跡地の一部を老人医療施設（例としては、県立または市立の老人病院『認知症介護治療専門研究病院』と『介護医療知識取得教室（誰でも参加型）』の施設の建設を提案します。 なぜならば、今後、若年層が減少し → 出生率の低下 → 益々、老人人口を支える社会基盤が（金銭的な支援）先細りになりつつあります。 誰でも、年老いれば、老人病等「痴呆症：がん他等」になりうる可能性があります。 何はともあれ、施設建設費の財産確保を何処に求めるか？ 私の愚案提案としては、 1：入県税（例えば柔らかな表現として → 「老人への思いやり税」 → 神奈川県内に入出入りする人々に少額の金銭を負担して頂く（電車運賃に加算する少税：車両バス、トラック等他）に加算する少税 → 高速道路料金所通過時またはガソリン（燃料）の注入時に加算する少税 2：宗教法人税（観光地区の寺社と仏閣）への少税（入場入館料金へ税加算） 3：特殊法人への少額課税（美術館、病院他） 4：娯楽施設の遊戯器具利用の少額課税 但し、上記において消費税と重複する税もありえる。	参考	
177	横浜市西部地区の中核となる市立病院・介護施設を設置して下さい。	参考	
178	自然に恵まれた広大なせつかくの土地大切に有意義に使って下さい。施設は市民が本当に必要と思われる物だけに。（福祉・医療ナド）	参考	医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。
179	あと地は住民・市民の住宅や病院等にできないのでしょうか。新型ウイルスの件でもかく離を必要とする病が世界中から入って来る港町に。 お金もうけだけの発そうでお客を入れるのはおかしい。それにともなって発生する事からは市や国としての対応がまずあるべきと思っています。 軍隊が国を守るのではなく、住民のインフラを充実させることが国を守る基本と思っています。	参考	医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。 また、本市では、郊外部の鉄道駅を中心にしたコンパクトなまちづくりを進めており、鉄道駅徒歩圏（おおむね1キロメートル圏）については、現状の土地利用を踏まえつつ、駅周辺（生活拠点）への利便性を生かした良好な住宅市街地を形成するなど、土地の有効活用を図ることとしています。 そのため、現時点で市街化調整区域である本地区においては、市街化区域を拡大して、住宅を整備するという考えはありません。

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
180	<p>①老人保健施設（介護事業を含む） ②総合病院 ③公営住宅群 ④公営保育園（③にともない必要となる） 以上。あと地の広い土地を利用すれば建設可能でバス利用便を新設すれば、瀬谷駅までの交通問題は十分。 市有地はあくまでも、市民のために有効利用するもので、お金もうけはあくまでも2次～3次的に考えなければならない</p>	参考	<p>現段階では、市立・地域中核病院などの大病院を新たに整備する計画はありませんが、医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等を踏まえ、その必要性を含め検討を進めていきます。</p> <p>また、本市では、郊外部の鉄道駅を中心にしたコンパクトなまちづくりを進めており、鉄道駅徒歩圏（おおむね1キロメートル圏）については、現状の土地利用を踏まえつつ、駅周辺（生活拠点）への利便性を生かした良好な住宅市街地を形成するなど、土地の有効活用を図ることとしています。</p> <p>そのため、現時点で市街化調整区域である本地区においては、市街化区域を拡大して、住宅を整備するという考えはありません。</p> <p>なお、現時点で、横浜市立保育園整備の新規計画はありません。</p>
181	<p>ストレス社会の今草原は必要です。病院・老人ホーム・保育園・をたくさん作って下さい。地産池商も大事です。農地もたくさん作って下さい。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>各ゾーンの考え方を踏まえ、また、地区全体として都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを目指していきます。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。</p> <p>また、現時点で、横浜市立保育園整備の新規計画はありません。</p>
182	<p>ページ 意見 質問、提案等 2 市民の森がつながってとても良い。緑地が連続することが重要。 上瀬谷もネットワーク状に緑地を。細い道（緑道）でかまいません。</p> <p>○瀬谷区の要望、にぎわい 医療、福祉、交通、買い物など課題はあります。瀬谷に限らず郊外区は同じ。瀬谷区の課題としてひとつ病院を考えます。大病院がありません。旭区に聖マリアンナ大病院（以下マリアンナさん）がありますが交通が不便。住民によってはバスまたは電車を乗り継がないといけません。マリアンナさんはじめ周辺各病院と連携が必要です。</p> <p>○公園・防災ゾーンについて 講演と防災を両立、併用する旨の記述があり評価する。すでに深谷通信跡地計画はあり、これに近い計画が出来ると考える。平時はグラウンドでスポーツを行い、芝生広場で遊ぶ、やすらぐ（プレイグラウンドとパーク）災害時には避難場所 深谷の場合は更に災害廃棄物置場、仮設住宅も記述がある 深谷に準拠して本計画書にも記述を追加する事を提案する。</p> <p>○本ゾーンは最小コストで 水道、トイレ(下水)、電気、(照明と自動販売機) 他が最小限度あれば良いと考える。スタジアムとか野球場夜間照明とかは当面不要。</p> <p>○エコシティ化について 主に観光賑わいゾーンと必要に応じ物流ゾーンについてです。一言で言うとみなとみらいに準拠したまちづくり。</p> <p>○無電柱化、もしくは最低限の電柱 ○EV,自動運転車、自転車などの利活用 ○歩くのが楽しい、移動が楽な街 ○車での乗り入れが少い街（新しい交通） ○廃棄物の計画地内処理、減容 ○日よけになる並木、ミスと装置。 更には、し尿の再資源化・井戸の利用、地熱の活用・太陽光発電とオンデマンド電力制御 災害時の活動拠点として必要な以下のインフラ整備が望しい。電気と電話と情報（インターネット） ①電力系統の二重化。できれば変電所 停電が最も困る。各組織体警察等は電源車を持っていないと思われる。できれば上瀬谷エリア内に変電所・配電所を作り、違う系統から配電を受ける。市の権限を越えているかもしれないですが・・・ ②携帯電話基地局及びデータセンター インターネットのデータを持ち発信能力のあるデータセンターを設置、（誘電）できるのが最も良い。携帯電話基地局は無線、衛星電波等複数多様な電波を使える施設が好ましい。</p>	参考	<p>現段階では、市立・地域中核病院などの大病院を新たに整備する計画はありませんが、医療施設の立地については、周辺の整備状況や医療需要等を踏まえ、その必要性を含め検討していきます。</p> <p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設や基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
183	<p>・瀬谷区や旭区の周辺に、子育て世代が利用しやすい保育園や子育て支援センターがあると、子育て世代が定着しやすくなるのではないのでしょうか。</p> <p>・高齢化も問題となっていると思うので、福祉施設もあると良いと思います。</p> <p>どちらも、駐車場が充分にある方が、利用者は増えて良いと思います。</p> <p>また、民間企業の運営ではなく、「公共の福祉」の理念で、私たちが納めている税金を使っていただけたらと考えます。市や区に運営してもらえる方が安心です。</p> <p>・最近では気候変動の問題も顕著になっています。住民と地球に優しい、私たちが排出しているCO2をO2に変えてくれる緑いっぱい、子どもも大人も自然をたっぶりたのしめる、そんなスペースになるといいなと思います。</p> <p>キャンプもできるなんて素敵ですね。よろしくをお願いします。</p>	参考	<p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。</p> <p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
184	<p>遠くからでも訪れたいような公園等、幅広い世代に活用してもらえ施設をつくって欲しい。</p> <p>墓地等、需要はあるかもしれないけれど、一般的にマイナスなイメージになるものはつくらないで欲しい。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>また、土地利用基本計画において、将来想定される課題への対応として、不足が想定される施設が整ったまちを目指し検討を進めることとしており、墓地整備の必要性・あり方について、引き続き検討を進めます。</p>
185	<p>赤ちゃんからお年寄りまで、笑顔が絶えない緑豊かな住宅公園を希望します。</p> <p>若い人が安い料金で賃貸契約が出来る代わりに、高齢の方々と触れあえます。</p> <p>朝の挨拶だったりボランティア等を行い、お互いに刺激しあいます。</p> <p>人が増えれば税収も増えます。</p>	参考	<p>本市は、郊外部の鉄道駅を中心にしたコンパクトなまちづくりを進めており、鉄道駅徒歩圏（おおむね1キロメートル圏）については、現状の土地利用を踏まえつつ、駅周辺（生活拠点）への利便性を生かした良好な住宅市街地を形成するなど、土地の有効活用を図ることとしています。</p> <p>そのため、現時点で市街化調整区域である本地区においては、市街化区域を拡大して、住宅を整備するという考えはありません。</p>
186	<p>公園・防災ゾーンについて</p> <p>防災拠点だけではなく、昨今の感染症に対応できる施設なども必要ではないか。地域総合型スポーツクラブなどが利用できる屋内、屋外施設を作り、緊急時(災害、感染症対策)に利用できる施設とする。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
187	<p>防災ゾーンについては、災害多発時代に合った内容をお願いします。</p>	参考	
188	<p>公園・防災ゾーンでは、ガスコージェネレーション（CGS）を採用により電力供給の複合化を図り災害に強い防災拠点としてほしい</p>	参考	
189	<p>公園・防災ゾーンでは、震災発生時などの非常時にも電力供給が可能となるようガスコージェネレーションシステム（CGS）を採用し、災害に強い防災拠点としてほしい。</p>	参考	
190	<p>当地域には、震災発生時には多くの市民が避難することからガスコージェネレーションシステムの採用により、災害に強にまちにしてほしい。</p>	参考	
191	<p>横浜市にとって、地震に備えることは急務である。このため、防災ゾーンには細心の技術を取り入れた災害に強い街を早急に整備してほしい。</p>	参考	
192	<p>防災についての提案。</p> <p>防災エリアについて。</p> <p>①スーパー台風対策として想定外の対策を考えて防災を進めてほしい。</p> <p>断水対策として無料で飲める水の確保。</p> <p>井戸を作り、飲料水になるフィルター設備を導入無理飲料水確保してほしい。</p> <p>② 長期停電対策として蓄電カーの設置。</p> <p>建屋の屋根を利用してソーラーパネルを設置、蓄電カーに充電して地域で停電が起きた出勤できる様にしてほしい。</p> <p>③ ガス、電気他にエネルギー確保。</p> <p>炭作り林などの伐採で出た木材を炭にして欲しい。</p> <p>炭材は、廃材をおがくずにする。</p> <p>廃材をおがくず、またはチップにして圧縮機で圧縮加工オガ炭(白炭)にする、煙も少なく火力も持続するので住宅地でも使えるのではないのでしょうか、炭を着火するの煙の少ないロケットストーブを各公園の防災倉庫に設置する。</p> <p>オガ炭は、販売もできるので収益にもなるのではないのでしょうか。</p> <p>④ 大災害一時避難場所</p> <p>地下シェルター</p> <p>基地地下道があるなら一部整備して大災害時の避難場所を作してほしい。</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
193	<p>近年、各地で台風直撃、大地震、局所的大雨などの自然災害が相次いで発生し市民生活や経済活動に甚大な被害を与えました。特に台風15号や台風19号では千葉県を中心に広範囲に亘る長期の停電が発生するなど、エネルギー供給途絶による事業及び市民生活を脅かす深刻な被害をもたらしました。</p> <p>一方、『旧上瀬谷通信施設における園芸博覧会 基本構想案（答申）（H30年2月）』によると「次世代を担う世界の子どもたちを始めとして、みんなで作る・つくり続ける博覧会とし、博覧会後にも、そのレガシーが社会に定着することを促進する。（P.17）」「国際園芸博覧会時や将来の土地利用における電力量の検討が必要となる。なお、既存の電気供給システムだけではなく、再生可能エネルギー、燃料電池などの記述革新の動向を踏まえながら、エネルギー利用に関する検討もすすめていく（P.38）」などの記載があります。本プランにおいても、博覧会後の将来を見据え、大規模自然災害発生後などに重要拠点や市民生活におけるエネルギー途絶に対応可能な安全・安心なまちづくりの概念をぜひご採用いただきたいと考えます。</p> <p>当社はエネルギー事業者としてこれまで、日々の事業活動を通じて、安心して都市ガスをお使いいただくため、より災害に強く、より安全な供給を目指した防災対策に取り組んでまいりました。今後も、より強靱な都市機能の実現に向けて、横浜市の皆様と協働しながらエネルギー事業者としての役割を果たして参りたいと考えております。</p> <p>以上をふまえ、『旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（素案）』につきまして、以下の通り提案させていただきます。</p> <p><意見1> P.8『表2-1 上位・関連計画における計画地の位置付け』にある①～③の上位・関連計画に加え「横浜市強靱化地域計画 平成31(2019)年3月」(P.69)（広域連携・受援体制の構築）を下記の通り追記することを提案いたします。</p> <p>③横浜市強靱化地域計画 平成31(2019)年3月 首都圏における大規模な自然災害の発生を想定し、西日本からのアクセスの中継点として利便性が高い旧上瀬谷通信施設や、活動拠点として利用可能な旧深谷通信所等において、広域のかつ基幹的な広域応援活動拠点としての利用に向けた検討を進めます。</p> <p>【理由】 「横浜市強靱化地域計画 平成31(2019)年3月」に上記の記載があり、この位置づけと整合した土地利用が必要と考えます。</p> <p><意見2> P.21『①土地利用の内容』 公園・防災ゾーンの2行目に下記の通り追記することを提案いたします。</p> <p>国際園芸博覧会のレガシーを継承する公園や災害時における広域的な防災拠点（消防・警察・自衛隊・指定公共機関などの受入に必要な広域応援活動拠点としての施設・機能や広域避難場所としての機能）などを形成します。</p> <p>【理由】 『横浜市強靱化地域計画(2019年3月)』では「事前に備えるべき目標6」(P.109)に記載がある通り、消防・警察・自衛隊のみならず、指定公共機関(東京ガス・東京電力パワーグリッド・NTTなどライフライン事業者)においても、市民生活や事業活動の早期復旧に向けた活動拠点が必要となります。</p> <p>ライフラインの復旧には、多くの車両や人員が全国から応援に駆け付けて対応します。効率的に復旧作業を行うためには、復旧場所の近くに「復旧拠点」を即時開設できることがポイントになります。しかしながら、ライフライン事業者単独で確保することは困難なため、「復旧拠点」として市が指定し、災害発生時に速やかにライフライン事業者等が活用できるようにすることで、復旧の早期化が図れると考えます。</p> <p><意見3> P.7『あらゆる災害への対応の強化』 2行目に下記の通り追記することを提案いたします。</p> <p>市民生活や経済活動を将来にわたり支えるため、政府が進める国土強靱化を踏まえ、これまでの防災・減災の考え方を一歩進め、様々な自然災害に対し、被害を最小限に抑え、最低限の市民生活や事業活動を継続(BLCP※1)し、迅速に復旧・復興できる「強さ」と「しなやかさ」を持った都市づくりを進めることが期待されています。</p> <p>P.11『3 横浜市による旧上瀬谷通信施設のまちづくりの考え方』 ○横浜市による計画地のまちづくりの考え方 災害に強い都市づくり 2行目に下記の通り追記することを提案いたします。</p> <p>市民生活や経済活動を将来にわたり支えるため、これまでの防災・減災の考え方を一歩進め、様々な自然災害に対し、被害を最小限に抑え、最低限の市民生活や経済活動を継続(BLCP※1)し、迅速に復旧・復興できるまちづくりを進めます。</p> <p>*1. BLCPとは… Business and Living Continuity Plan の略（業務生活</p>	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
	<p>継続計画) 災害や事故に対して、最低限の事業活動や生活の継続を図るための危機管理に関する行動計画のこと。</p> <p>【理由】 大規模な自然災害に強いまちづくりの実現には、平常時だけでなく非常時においても最低限の生活に必要なエネルギーの確保が欠かせません。『横浜市強靱化地域計画～強靱化に関する取組の方向性～(H31年3月)』では、市域における国土強靱化を推進するため、「5. 大規模自然災害発生後であっても、経済活動(サプライチェーンを含む)を機能不全に陥らせない(P.27)」 「6. 大規模自然災害発生後であっても、生活・経済活動に必要な最低限の電気、ガス、上下水道、交通ネットワーク等を確保するとともに、これらの早期復旧を図る(P.28)」と記載があります。 例えば、市区庁舎・消防署・病院などの重要拠点においてエネルギー供給途絶に対応するためには、多重化・多様化の観点が必要不可欠と考えます。重油や灯油、液化石油ガスなどの備蓄燃料は当面のストックとしては役立ちますが、通常備蓄量が3日分であり、停電が長期にわたり備蓄が途絶えた際に配送面で交通事情の影響を受けることとなります。実際、北海道胆振地震時には、液化石油ガスの供給網が途絶してしまい苫小牧市、石狩市で停電による基地からの出荷が停止となりました。 また、非常用発電機は、あくまで非常時の用に供する仕様となっている為、長時間運転には向いておらず、停電が長期に渡った場合に運転停止のリスクがあります。これらの非常用発電機のデメリットを補完するものとして、防災負荷の他に保安負荷への給電機能を担う停電対応機能付の高効率自立分散型電源の導入を提案いたします。具体的には、災害拠点病院である昭和大学横浜市北部病院では、東日本大震災による発電所停止で計画停電対象地区となったことから、中圧ガス導管供給による高効率自立分散型電源(ガスコージェネレーションシステム*2)をフル稼働させることで、10日間にもわたり全館の電力供給を維持し、平常診療が可能となりました。 こうしたことから、災害時にも一定程度の生活が継続できるよう、必要なエネルギーを自立的に確保し最低限の市民生活や事業活動を継続できる設備の普及は、災害時の混乱防止にもつながります*2. ガスコージェネレーションシステムとは…クリーンな都市ガスを燃料に用いて、必要な場所で電気をつくり、同時に発生する熱を冷暖房や給湯、蒸気などに有効利用するシステムです。</p>		
194	<p>カジノ(IR)問題に相対して、こんな短期間で考えると、全く市民のためなど何も考えていないとしか言えません。近辺で生活している皆様が実感していらっしゃる意見が第一、他区に住む者としては、水に対しこれから最も重要な問題が起きると思うので東京の墨田区のように地下に水槽を造り防災に備える事をしながら地上には美しい公園を造り人々の心のいやしをしてみたら、大きなゆとりある利用がしてもらえる事を希望します。</p>	参考	
195	<p>・米軍の施設がもどって来た土地です。 ・区民・市民の意見を十分きいて、市民の為に使って下さい。 ・あわてて「テーマパーク」にしないで下さい。 ・大型災害が想定されています。「ひなん場所」や仮設住宅等々の利用を優先して下さい。 ・豊かな自然が守れるようにして下さい。温暖化が大きな問題になっています。「みどり」を守って下さい。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。 まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>また、今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
196	<p>●防災について 当該地域のすぐ脇には境川が流れており、先日の台風19号の際には氾濫危険水位を超えました。現在護岸工事を進めているとは思いますが、今後どのような想定外の災害があるともかぎりません。当該地域はお年寄りも多く暮らす場所です。是非ともこの機会に防災拠点となるような屈強な施設を作って頂きたいです。</p> <p>●海軍道路について 海軍道路を抜けて横浜町田ICに続く道は頻繁に渋滞します。(信号での右折待ちが渋滞の原因) 海軍道路の脇には桜が植わっており、これ以上道幅を広げることができません。 桜はそのまま残して現在の道路を遊歩道として整備し、その脇に新しく、二車線の道路を建設して頂きたいです。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設や道路等の基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>また、土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
197	<p>要旨： 1、上瀬谷通信施設跡地の一部に、平常時には、犬同士がコミュニケーションを取り合え、社会化出来るような、広いドッグランを希望します。</p> <p>2、災害時には、避難場所として転用し、ペットと同行避難し、その後も同伴して避難生活を送ることが出来る（；以下、同伴避難）場所を希望します。</p> <p>3、この活動は、NPO法人どっばー（旧；上瀬谷わんわんクラブ）のメンバーと、小動物臨床獣医師1名により2014年から行われており、賛同いただけただけ5060人の署名と要望書を、横浜市の政策局基地対策課と瀬谷区総務部政推進課に提出させていただいております。（2015年8月2日提出）</p> <p>理由： 神奈川県飼育犬登録数は、東京に次ぐ多さではありますが、公共のドッグランが少なく、犬同士や犬が他人とコミュニケーションを取り合え、社会化出来る場所が限られています。また近年頻発している災害では、ペットの同行避難に多くの問題が発生していることから、ペット愛好家たちが不安を抱えています。 この2つのテーマは実は密接に関係していると我々は考えています。</p> <p>現行の、犬の同行避難における問題は複雑ではありますが、その1つとして、犬の社会化が大きく関わっていると考えています。社会化が出来ていない犬は、喩えると、人間の子供が子供同士での遊びや義務教育を全く受けずに大人になり、災害時に突然、共同生活での協調性が求められるようなもので、突然の共同生活を強いられた時には人と犬、犬と犬の間に多くのトラブルを生むのは当然と考えます。</p> <p>そして2つ目に、災害時のペット対策に不安を感じているペット愛好家が多くいるにもかかわらず、実際に被災するまで何が必要で、何が問題になるのか、分からずに生活している事だと考えます。</p> <p>そこで、上瀬谷通信施設跡地に、その特色を生かした広いドッグランを設置し、平常時はドッグスポーツやしつけ教室を織り込んだ犬の社会化の場、愛犬家同士のコミュニケーションの場、また災害に備えたペット愛好家の意識向上の場や災害ボランティア育成の場所として、さらに有事の際には同伴避難場所として利用出来ることで、結果的には動物アレルギーを持つ人やペットの非愛好家など、一般市民と住み分ける事も可能になります。</p> <p>今後、ペットの飼育頭数が多い神奈川県を代表して、上瀬谷通信施設跡地が、広大な敷地や交通の利便性、ヘリポートを生かした、災害時の備蓄の拠点となり、ペット同伴避難の拠点となり、災害時の動物一時保護の拠点となることを願っています。災害時のペット対策が机上にもならないよう、平常時から、ペットと同伴避難する事を想定した避難訓練を行ったり、ローリングストックを実践していき有事に備える、全国に先駆けたモデルケースとして発展して行って欲しいです。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見は、関係部署で共有し、検討の参考にさせていただきます。</p>
198	<p>将来にも国際園芸博覧会にもドッグランができればいいと思います。瀬谷に住んでいても、休みの日には郊外（三浦、御殿場など）に犬を連れて出掛けます。都内の方などは、近場にできれば、来てくれると思います。</p>	参考	
199	<p>瀬谷本郷公園は、遊具があり、駐車場もあり、子供を連れて楽しめる公園だったのに、遊具はほとんど無くなってしまい、本当に残念な気持ちです。 遊具の撤去は誰が決めたのでしょうか？ 決定権のある人は、どういう年代の人でしょうか？ あの本郷公園で満足している人は誰でしょうか？ 公園、防災ゾーンも子供達、子育て世代のためになるものにして頂きたいです。 大和市にはシリウスがあり、ゆとりの森があり、イオンモールがあり、本当に良い施設があると感じます。 南町田にはグランベリーパークがあり、本当に素敵な場所だと思います。</p>	参考	
200	<p>防災公園を中心に、住民にやさしい自然の多い公園にしてください。</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
201	貴重な緑の空間にハイキングコース、公園などを作ってほしい。	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見は、関係部署で共有し、検討の参考にさせていただきます。
202	小さな子供でも安全に遊ぶ事が出来る川が流れる様な場所。子供が小さいと遠くに行けないので夏になると遊ぶ場所がとにかかない。 海老名の駅前等、草木が多いと、蚊が増えるので、とにかく、明るく。 以前、区役所の時も提案したが、却下された。今公園であそんでいる子は保育園の子しか見かけない。財源がなかったらしいが残念。あと子供達が少し大きくなると居場所がない。小、中、高、大和シリウスのような図書館 子供達は、今大和、海老名に遊びに行きます。なぜなら町がおしゃれで活気があるからです。瀬谷には何もありません。若い、ファミリー層が引っ越してくる町にしてください。瀬谷はお年寄りであふれています。 そのお年寄りも行く場所がありません。認知カフェも必要だと思います。	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。 なお、現時点で、市立図書館の新設について計画はありません。
203	貴重な土地がようやく戻ってきて、戦争の負の遺産を深く考えます。 土地柄、市民が気軽に使える避難所、公園、農地借し、広場、図書館、プール等、お金がかからず憩える場所、家庭菜園等の一市民として希望があります。今の社会、ちょっと遊びに行くにもお金が必要な施設が多すぎます。お弁当だけ持てば1日遊べ、心身共に充実した時間がすごせる土地活用して下さい。	参考	
204	近くの方にとって、公園は重要かと思しますので、老若男女、幅広く活用できる公園にしたいと思います。 長い間地域を分断する施設があったことを踏まえて、近隣の人が歩行者・自転車含め行き交えるように、交通網の整備（車道はもとより、歩行者・自転車の導線含め）を期待します。	修正	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。 環状4号線や地区内に整備する主要な道路においては、歩行者や自転車が安心して通行できるような空間の形成を検討していくこととし、「5章 土地利用」を一部修正しました。
205	テーマパークはTDLやUSJの焼き直しのようなものではなく、自然環境を活かしつつ、日本の良き文化の発信や世界の人々との交流を目指すような内容としてほしい。	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行います。
206	自然や音楽、スポーツなど生活を楽しむヒントが得られるような街がいい。キャラクターに遊んでもらうのは、もういいんじゃないか。	参考	
207	観光・賑わいゾーンのイメージが湧かない。"テーマパーク"と、ひと言で表わされているが、バクゼンとして雲をつかむような気持ち。TDLのようなエンターテインメント系の施設はいい。ありうるとすれば農業振興や公園・防災ゾーンと連動した里山ガーデンのような花・緑系のガーデンパークかな？継続運営のためのノウハウとソフトが大切です。	参考	
208	横浜の新たな魅力となるよう、環境と経済が融和した賑わいゾーンとしていただきたい。	賛同	
209	提案：科学技術ふれあい広場（TECHNO PLAY ZONE） ◇提案の背景 ・日本は技術立国、日本の将来発展には技術振興が不可欠 ・若者の科学・技術離れが心配 →子供たちに科学技術に対する興味を持たせる →将来の科学・技術者の玉子を育てる必要 ・横浜を日本の科学・技術の拠点に →将来の技術者のインキュベータ ◇提案概要 ・「観光・賑わいゾーン」の中に「科学技術ふれあい広場」を設ける ↓ ・子供から大人まで科学技術に触れ、遊び、楽しむ ・最新の科学・技術に触れ体験し科学・技術への興味・知識を深める ・体験型、創造型の展示、内容	参考	
210	基本計画（素案）の観光・賑わいゾーンについて、以下の提言を致します。 当該地は、交通網を多少整備したとしても、年間1500万人（毎月100万人以上）もの人があつまる立地環境にあるとは思えない。 集客にこだわりキラキラした箱ものを建てたりせず、現在の自然環境を活かした水と緑の健康的な寛げる テーマパークにすることを希望する。	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
211	<p>他にない施設を目指したらどうですか。 パークないの基本理念 地球に優しい多様性を重視したサステナブル(Sustainable)な持続可能なパーク。 パーク内の建設にはコンクリートは極力減らした建設。 現状の自然を極力壊さないで建設。</p> <p>パーク内で出たゴミは、資源としましょう、 ゴミ資源の考えは以下で良いかと思います。 3R Reduce リデュース：減らす Reuse リユース：繰り返し使う Recycle リサイクル：再資源化する 1.リデュース、 2.リユース、 3.リサイクルの優先</p> <p>具体施設</p> <p>ゴミ焼却炉を造る パーク内で出たゴミは焼却炉施設でエネルギーに変換、主に 電 気、温水。 電気は施設内で消費。 発電方式はスターリングエンジンなどどう でしょう。 温水は、温水プール、日帰り温泉 バードウォッチングできる 露 天風呂などなど。</p> <p>足りない発電は、ソーラーパネル蓄電装置。</p> <p>防災を意識したドーム施設。 スーパー台風の影響が何年多くなる予測なので、 ドームの中でも田植えができる場所もあったら面白いかもしれませ ん。</p> <p>跡地利用案は以下です。 #農業振興ゾーン 50ha 土地の高い場所では畑、低い場所には田んぼを整備して体験ゾ ーン。 植林ゾーンも、紅葉樹林、など、育てた木で薪や炭を作る炭焼き ゾーン。</p> <p>#観光・賑わいゾーン キャラクターをつくって見学コースにしたらどうですか。 焼却炉を中心にエネルギーに変換。 エネルギーは、電力、温水。 パークない温水、発電見学コース。 温水を利用したバードウォッチングできる露天風呂などなど。 動物を飼い、動物の糞を利用した発酵エネルギーガスなど抽出 発 酵見学コース。 動物は、ポニー、馬、牛。 ポニー、馬の糞は発酵が早いので良いかと。 馬やポニーに乗馬できるなんてどうかと。 牛からは 乳製品 ジェラード作り。 牛や馬の放牧牧場。 120ha</p> <p>#物流ゾーン 車 専用道路 レンタルサイクル 自転車(サイクリングコースを作る) ハイキングコース 乗馬で散策コース などなど 15ha</p> <p>#公園・防災ゾーン 林を利用したアスレチックゾーン 防災を意識して、キャンプ場。 ありきたりな防災ではなく、サバイバル術を教えたらどうでしょ う。 火おこし、薪割りなどなど。 宿泊できる大型テントゾーン デイキャンパーや子供が遊べる小川を作り パーベキューゾーン 花博会場と周辺で収穫した食材を利用した自炊体験ゾーン 和食 メインでおもてなしゾーンなどどうでしょう。 花を見ながらのカフェもいでしょう。 建物は、バンガロー風 コンクリートの建物は減らす。 50ha</p>	<p>参考</p>	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンや農業振興ゾーン等の具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行います。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
212	<p>①観光・賑わいゾーンは縮小して民有地は、地権者に返した方がよいと思う。 山下公園に1Rを造ったら、ここと重複する。 交通の便から考えて、こちらの方が不利。 1Rがなくなったら、テーマパークの検討もありだと思う。</p> <p>②横浜と海老名の間なので商業施設だとしたら、トレッサ横浜やテラスモール湘南ぐらいの規模が程良く地元の方も喜ぶのでは？</p> <p>③物流ゾーンを考え、市が法人税をより集めたいのであれば、企業を誘致したり、ヤマトや佐川、Amazon、Yahooなどの新たな物流拠点として提案するのも良いと思う。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ケ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。</p> <p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行います。</p> <p>また、具体的な物流施設についても、今後、まちづくり協議会とともに、幅広く検討を行います。</p>
213	<p>農的利用と公園に関しては賛成。 テーマパークは、TDWやUSJのような造りモノ、ニセモノの箱物を想定しているなら反対。 2つの川はどうするのですか？ まさか暗渠化なんて愚かなことは考えていませんよね。 水辺は生物多様性の根幹です。 ぜひ残して活用してください。 あれだけの広さだから、フェスを開催できるようなキャンプサイトも併設したらどうかしら。 ぜひ、パーマカルチャーセンタージャパンと提携して、持続可能な都市型の農ある生活を体現する、親自然型のテーマパークを実現してください。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行います。</p> <p>また、具体的な基盤整備についても、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
214	<p>観光振興ゾーンを横浜にとどまらず、国内有数の魅力あるコンテンツにすることは大賛成。DLを超えるインバウンドにもつなげていってほしい。 そのための条件は2つ。 1番目は花博のレガシーを引き継ぎ、単なる集客機能に特化するだけでなく、花や緑のもつあらゆる可能性（化粧品、薬など、私たちの身の回りにある、生活に欠かせない自然由来の力）を学び、自然の大切さと経済の調和も学べる、「SDGs未来都市よこはま」ならではのゾーンにすることを前提とする。 2番目は、1番目とも関連しますが、エリア全体の基盤整備に際し、日産スタジアムでの多目的調整地のように、雨水を貯留・浸透するエリアとすること。近年の気候変動は想定を超える大雨への対応が喫緊の課題です。そのためには、これまでの開発ルールにこだわらず、想定を超える雨においても、跡地の外の流域には影響させない対応が必須です。 基盤を大きく下げて、昨年のような場合にエリア全体が一時的な貯留機能を発揮する施設とすることなど、巨大なグレイインフラとすることも、環境配慮型テーマパークとしての「売り」になります。 是非、公募条件への記載をお願いします。</p>	賛同	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行います。</p> <p>また、具体的な基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
215	<p><にぎわいエリア> にぎわいエリアには是非、現代アートの美術館をつくってください。 毎回トリエンナーレは楽しみにしており、過去の作品をもう一度見たいと常々思っています。 三年に一度なので、過去のトリエンナーレには、その時々自分の環境や心境と共に思い出として残っています。 是非、金沢21世紀美術館のような美術館を瀬谷の豊かな自然の中につくって頂けたらと存じます。</p> <p><公園、防災エリア> 公園、防災エリアには是非かつてみなどみらいにあった、横浜みなどみらいスポーツパークのような施設をつくって頂きたいです。 クラブハウスは災害時に防災拠点になりますし、広いグラウンドはもしもの時に仮設住宅の設置場所にもなると思います。 私は横浜みなどみらいスポーツパークを以前は毎年、健康保険組合のフットサルイベントで利用しておりましたが、無くなってしまって寂しい思いです。 是非ご検討のほどよろしくお願いいたします。</p> <p><桜並木について> 是非桜並木は残して、遊歩道として整備して頂きたいです。</p>	修正	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行います。</p> <p>また、スポーツ等に関する具体的な施設については、今後、詳細を検討していきますが、頂いたご意見を踏まえ、「4章まちづくりのコンセプト」を一部修正しました。</p> <p>なお、土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
216	<p>観光賑わいゾーンには、豊洲市場で採用されているガスコーゼエネルギーシステムを中心に、再生可能エネルギー、未利用エネルギーを活用したスマートエネルギーネットワークを構築することで、CO2の排出量を抑え、環境保全に努めてほしい。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、幅広く検討を行います。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
217	海軍道路の桜並木は残るのでしょうか。それとも伐採してしまうのでしょうか。あれほど立派な桜並木はそうそうないと思いますので、是非とも残していただくような計画にして欲しいです。	参考	土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
218	桜並木はのこしてほしいです。	参考	
219	海軍道路の桜並木は昔から住民に親しまれてきました。その生命を行政の都合で切り払うことは、とんでもないことです。桜並木は現状のまま残してほしい。	参考	
220	・海軍道路の桜を絶対に残してほしい。 ・芝生のある公園を造ってほしい	参考	土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。 また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
221	いつおこるかわからない災害に対応できる広場として残して欲しい地区の避難所ではとうてい足りるとは考えられないので建物などにしてしまうと使うことはできない。 今までも何も無い広場だったので、いろいろに利用できたのに無駄な税金の使用はして欲しくない ましてテーマパーク等、集客が継続できるとはとうてい考えられません	参考	土地利用の転換により、現在ののはらっぱを残すことは厳しいと考えています。公園・防災ゾーンに広場を確保する等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。 地震や災害への備えについては、公園・防災ゾーンに広域的な防災拠点を形成することとしているなど、将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまちを目指すこととしています。
222	桜並木の道路側にこれだけ広い原っぱが残っているのは、米軍施設だった為でしょう。 これからの防災害に備えて、「ハマの原っぱ」（仮）というような、現状をなるべく残し、たこあげや、キャッチボール等、公園では禁止されている遊びが出来、自然と戯れるようにして欲しい。 テーマパークではなく、「道の駅」のような、地域の新鮮野菜や特産品を販売する施設にして、管理維持費のかからないように税金のムダ使いをせず、工夫して欲しい!!自然を大幅に残すべきだと思います!!	参考	土地利用の転換により、現在ののはらっぱを残すことは厳しいと考えています。公園・防災ゾーンに広場を確保する等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。 また、本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。 なお、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見を踏まえ、農業振興ゾーンで収穫された農産物を直接提供できるような機能について、今後、検討を進めていきます。

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
223	旧日本海軍が使っていた土地の外周道路をつくり、マラソンコースや散歩道にし、道路脇に昔あった種類の樹木や桜を植えて欲しい。	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
224	上瀬谷町の農業振興ゾーン際に住むものです。今回の土地利用によって、近隣住民の生活を悪化させないよう対策をお願いします。また、今よりも良い生活環境になったと住民が思える整備をお願いします。以下の要望をいたします。農業振興ゾーン内に、住宅側から海軍道路へ通行できる遊歩道の設置	参考	
225	上瀬谷町に住んでいます。土地利用や開発について下記3点を考慮した土地利用をお願いします。 1、土埃 風邪の強い日、春先など窓を閉めていても家の中に煙の土がはいってきます。家中土だらけ、車も土だらけ。住宅街側に防砂林や壁のようなものを作ってください。 2、農業 餌を探しにカラスや鳥がたくさんきます。そしてたくさん糞をします。この鳥の量、糞をどうにか改善してください。 3、抜け道 上瀬谷小学校から上瀬谷住宅に向かって抜け道になっていて、猛スピードの車が毎日たくさん走っています。道路が狭く危険です。この道は、いつかきっと必ず死亡事故がおきます。道路の拡張、信号機の設置をお願いします。 土地を買い家を建て、初めて上瀬谷町に住みましたが、相当後悔しています。風にのってくる土や鳥の糞で子供達は喘息で生まれてから今日まで、そしてこれからもつらい思いをずっとします。洗濯物も干すのが難儀です。土日朝から農作業のエンジン音がします。最悪です。 普通のサラリーマンでは家の売買を何度もできません。家を建ててから15年経ちますが、もう毎日うんざりしてます。誰になんの文句を言えばいいのか？言ったら改善されるのか？もう15年間うんざりしてます。 こういう整備が行き届いてない場所を分譲してはいけないと思います。どうかこれらが考慮された開発がされることを期待します。	参考	
226	今現状で、海軍道路につまらない渋滞が発生しています。原因はクランク状になっている交差点での右折待ちです。瀬谷にはこういったクランク状の交差点が多数あります。付近が農地である今のうちに対策を講じてはいかがかと思います。	参考	
227	農業ゾーンを含めた外周道路に繋げてもらいたい。瀬谷区には、4つの野球団体があります。公園・防災ゾーンにグラウンドを必要としています。考えていただきたい。以上、よろしくお願いします。	修正	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。 具体的な施設については、今後、詳細を検討していきますが、スポーツ施設を整備することについて、「4章まちづくりのコンセプト」を一部修正しました。

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
228	一つ提案があります。それはLRT、モノレールとは別に特に瀬谷駅から自転車アクセスでき、かつ各ゾーンを継ぎ見せる事のできる自転車道を備える事です。(ツールドフランスの周回コースにもなるくらいの)	修正	環状4号線や地区内に整備する主要な道路においては、歩行者や自転車が安心して通行できるような空間の形成を検討していくこととし、「5章 土地利用」を一部修正しました。
229	旧上瀬谷通信施設土地を囲む遊歩道には理解を地区を遊歩道でとりかこむ (ゴルフ場付近、八王子街道と環4が交差する付近、環4西側農業振興ゾーン横の住宅地付近) ☆喫茶室 軽食 雨ヤドリ トイレ 地産農産物の販売(企業又は農協で管理) 2) 自然の中を散歩する事は肉体的にも精神的にも最も大切な事です(今、人は急ぎ、あせりイライラして車におびえて生活) 3) そこで英国独立にみる(Public Foot PATH)を日本にもと日本遊歩道協会がこの表を作りました。 4) PFP・National Trust(全英の30%の土地、330マイルの海岸線80以上の城)、1895年ロータリークラブ(RC) ライオンズクラブ(1913年 全て無料報仕) Publiv Foot Path ロータリークラブ、ライオンズクラブ ナショナルトラストは金はだす年はあっても全て無料報仕(理事長といえども) 人民の人民による人民の為と欧米人が出来る事が何で日本でまだ会費等の資金は700百万にすぎません。(資金があつまりません) そこで1m巾10kmで百円で土地を借りていただき(資金あつまり次第値上げします。充分集まったら買います)(本来は公にたよるべきものでないのですがズズーしいお願いですが貴方と貴方の子孫で孫の健康の為に協力頂ければ幸いです。	修正	
230	・まちづくりのテーマにもあるように「豊かな自然環境を活かした」まちづくりを進めてほしい。そのためにも、土地活用の利便性に重きをおいた相沢川など河川の暗渠化などをしないでほしい。 ・グリーンインフラの活用とあるが、公園や農地、道路等だけでなく、物流ゾーンや観光賑わいゾーンにおいても、グリーンインフラを導入するようにしてほしい。区画整理後の事業者まかせにしないようにしてほしい。	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。 また、グリーンインフラについては、5章土地利用「土地利用を実現する基盤整備の考え方」に示しており、具体的な内容については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
231	1、雨水対策が重要と考えられます。観光125ha+物流15haの広大な面積が開発されると、雨水の流れが大きく変わります。相沢川、大門川の下流での大洪水が懸念されるので、河川改修又は遊水池の設置を要望します。 2、開発ゾーンと農業振興ゾーンを結ぶ、「道の駅」(仮称)等の施設が必要と思います。合わせて上瀬谷基地の歴史を残す「資料館」を併設する。	修正	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な基盤整備や施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。 また、頂いたご意見を踏まえ、農業振興ゾーンで収穫された農産物を直接提供できるような機能について、今後、検討を進めていくこととし、「5章 土地利用」を一部修正しました。
232	特別な映画館が欲しいです。	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
233	引退した競走馬を引き取って、余生を過ごせる牧場を整備して下さい。その他小動物と合わせて、触れ合うことの出来る施設(有料でも可)も整備して下さい。	参考	
234	横浜農業大学をつくってはどうか?	参考	
235	間違ってもメガソーラーはやめてください。あれはビルの屋根や建物の上などすでに自然環境でない場所に作ればとても有効です。しかし、自然を壊して作るものではないです。 茨城県内では休耕地や森林を伐採してソーラーパネルを置いている場所が散見されるようになり、田園風景が一変しています。	参考	
236	地産地消の再生可能エネルギー施設も作って欲しい。	参考	
237	災害の多い我が国にあって、今後益々、避難所、仮設避難家屋が(ex.東北震災被災地用)必須である。その用地として、又は、沖縄米軍基地、飛行場の設置にからむ、住民の代替地として、沖縄街の新設候補地として提供する。 若い人達の就職口として神奈川県が用地を提供し、その代り沖縄地はもっと自由に防衛地として提供する。(深谷通信隊跡地活用にも提言した。)	参考	
238	高齢者が楽しめる施設が横浜に不足しているの、その様な施設を望みます。また、高齢者対策につながるようなモデル事業も、ここで実施して下さい。	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
239	研究開発拠点として活用できる計画を立案してほしい。世界の未来のために。 例：筑波研究学園都市（旭区、瀬谷区等交通網の遅れた地域は、こうした施設が有効かと思う。）	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
240	跡地に市の花である「バラ園」を整備していただくと大変ありがたいです。 ご検討のほど、よろしくお願いします。	参考	
241	温暖化対策に活用なら、カーボンニュートラルの象徴的設備は欲しいですね。	参考	
242	親の代から農業を営み200年以上住んでおり田、畑の風景に慣れしたしんでまいりました。 現在障害のある子供を抱え親なき後の事で心配に直面する日々を過ごしております。 瀬谷区保健福祉課のあじさい会に加入しており会員の方々に支えて頂きありがたく感謝に絶えません。熱血地元愛に溢れている花上区会議員の力添えを仰ぎぜひ障害者が安心して過ごせる環境の憩いの場所を設立して頂きたく節に嘆願する所存でございます。農作物を育ておいしい物を食し暖かい大勢の介護士、医師、ワーカーさん達に見守られて過ごせる理想の場所を出来る事を希望致しております。地元根づく強い愛情に支えられこれからも瀬谷区を見守っていきたくと思います。	参考	
243	私は40年ほど横浜に住む市民です。上瀬谷通信基地が返還になり嬉しいです。通信施設の跡地のまちづくりですが、夢がいろいろ湧いてきます。民有地を持つ方々は農業をなさりたいようなので、国有地をどう使うかが重要になります。私は、2027年の花博会場となることに賛成です。 そのあとですが、植物園にするのはどうでしょうか？ 熱帯植物はもちろん、乾燥・高冷地の植物、苔や水中植物など、普通の生活では見れない様々な植物を観察し、愛でることのできる施設になっていければいいと思います。 運営に当たっては、絶滅危惧植物を保護する活動のほか、薬用植物の研究にも力をいれ、「役立つ植物園」になれば面白いと思います。 また、館内のエネルギーをすべて再生エネルギーから得るように、園外の土地利用を工夫するのがいいと思います。 これが、私の案です。	参考	
244	横浜にはない平和記念資料館も是非設置して欲しいです。横浜には戦争の記憶も記録も資料もまとまってありません。平和教育の資料館として全国から見学に来ることの出来るような充実したそして歴史に残るようなすばらしい資料館が出来たら誇りに思います。	参考	
245	再加熱式のデリバリー給食の配送拠点を作ればいいと思います。保育所も整備して、主婦が働けるような環境にすればいいと思います。	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
246	<p>映画館、劇場、プラネタリウム コストコ、スーパー銭湯 大型図書館 公園には風上げやキャッチボールが出来るゾーンを作りたいです。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>なお、現時点で、市立図書館の新設について計画はありません。</p>
247	<p>メインテーマは「サステナブル」であること。</p> <p>農業振興ゾーンは、瀬谷の特産品農家の農園を核とした、クラインガルテン型貸農園とし、中心となる施設では、JA横浜にも協力いただき、自然農法の講座の開催などにより、体験や趣味だけではなく、横浜の農業について考える研究機関を設置し、未来の農業に繋げていく事を主体とする。</p> <p>観光・賑わいゾーンは、メインターゲットを女性と母子（ファミリー）とし、神奈川総合大規模地産地消マルシェとそのレストランと共に、ブックカフェ併設の瀬谷図書館の絵本、児童書専門の別館を設置し、子ども同士、お母さん同士の交流と安らぎの場を提供する。この場合、図書は中古品をブックオフに協力してもらい、破損、汚れに対処するものも有りかと。</p> <p>ただし、レストランは低価格帯ビュッフェ、キッチンカーなどと本格的なレストランの両方を民間から誘致し、幅広い顧客を獲得する。物販は基本エコバック持参か、木製、紙製、バイオプラなどの包装資材を有料とする。ここは食品だけでなく、ギャラリーでも企画として月替わりなどでアートやクラフトのほか、厳選した県外の優れた面白い商品を紹介、販売する。</p> <p>この施設からはデッキテラスで相沢川、和泉川の水利を生かした木陰と草地、せせらぎの広場に出られ、安全に水遊びも楽しめ、今ではなかなか触れ合えない水辺の自然にも親しんでもらう。一例として岐阜県多治見市の虎渓用水広場をあげたい。</p> <p>物流ゾーンは、大型物流施設に新交通のシステムのターミナル駅を付帯させ、地区周遊バスやレンタサイクル、レンタペーカークの管理を行い、北側の玄関とする。</p> <p>公園・防災ゾーンは平常時には、森に囲まれた野外ステージのあるイベント広場とし、災害時には、自家発電施設や水利利用の給水施設などを設けて、横浜内陸の最大、最強の防災拠点となるよう設計を熟慮する。</p> <p>以上が私の意見です。 瀬谷、横浜の内外の方々が、訪れた時に上瀬谷の広々とした風景に心休め、深呼吸し、楽しみながらも、学ぶべきものがあるぞと思いい、何度でも来たいと感じていただけるような地域にしたいと思えます。</p>	参考	
248	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場を多く整備してほしい。 ・市営墓地を整備してほしい。 	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>また、土地利用基本計画において、将来想定される課題への対応として、不足が想定される施設が整ったまちを目指し検討を進めることとしており、墓地整備の必要性・あり方について、引き続き検討を進めます。</p>
249	<p>アクセスの良い場所なので、大規模な横浜市内の中学校給食配送センターを整備してはどうでしょうか。 農業振興ゾーンがありますので、育てた野菜をそのまま給食として使えます。 また物流ゾーンには全国から様々な食材が集まってきます。 農業振興ゾーンでは中学生に食育として、農業体験をして貰うのも良いと思います。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
	<p>意見1 グリーンインフラ：古くて新しいまちづくり活動事例 その1) 特定非営利活動法人グランドワーク三島の活動事例 静岡県三島市は、かつて富士山からの湧水が清流となり街中を網の目の様に流れる「水の都」でした。しかし、1960年代、上流地域の産業活動の活発化による地下水の汲み上げ等により、市内を流れる川は汚れ、ドブ川になってしまいました。 このふるさとの環境悪化に危機感を持った熱き三島人と諸団体は、「水の都・三島」の原風景・原体験の最盛を目指し、1992年9月に「グランドワーク三島」をスタートさせました。 グランドワークは、英国発祥の市民・NPO・行政・企業のパートナーシップによる環境改善活動で、グランドワーク三島が全国に先駆け導入し、「地域協働」による地方創生を実現するための新たなまちづくりの手法・処方箋として活用してきました。 1999年10月には「特定非営利活動法人」の認証を受け、現在では、20の市民団体が参加した「ネットワーク組織」になっています。</p> <p>これら環境再生から始まった活動は、地方再生へと拡大し、毎年約2,000人・約100団体が国内外から訪れています。</p> <p>意見1 グリーンインフラ：古くて新しいまちづくり活動事例 その2) 2級河川和泉川の整備事業例</p> <p>~~~~~鋼鉄板のドブ川が一転、里の川に~~~~~</p> <p>和泉川は神奈川県横浜市を流れる延長約1.0kmの都市河川である。この和泉川は、平成3(1991)年に国の「ふるさとの川モデル事業」の指定を受け、平成17(2005)年までに五つの水辺拠点整備された。とくに、シンポジウムで注目する「東山の水辺」と「関ヶ原の水辺」は、同年の土木学会デザイン賞の最優秀賞を受賞している。</p> <p>互いに隣接する「東山の水辺」と「関ヶ原の水辺」は、左岸側に斜面林が、右岸側には住宅が並び、台地の崖線に囲まれた谷間の地形構造をよく残すところに作られている。</p> <p>しかし、整備前の和泉川は、鋼製矢板護岸で固められた「ドブ川」であった。このような状況に対し、昭和63(1988)年の和泉川水辺空間整備計画に始まり、基本設計、実施設計、施工管理と足かけ十年を経て、平成9(1997)年に現在の和泉川として結実した。これらの一連に橋本氏が関わっている。</p> <p>この非常に息の長い計画・設計において、終始一貫しているのは、空間の面でも人々の活動の面でも、地域と一体となる川のあり方が追及されていることである。その方針に沿って、河道位置の変更や公園事業による用地確保、河川管理通路の一部廃止や潜り橋の設置、そして吉村氏と橋本氏の一貫した関与など、今では簡単には実現できない取り組みがおこなわれている。</p> <p>そうしてできた和泉川は、鳥の鳴き声が聞こえる森を背景に、自宅から歩いてすぐに行くことのできる子どもの格好の遊び場になっている。</p> <p>意見1 グリーンインフラ：古くて新しいまちづくり活動事例 その3) 緑の10大拠点「川井・矢指・上瀬谷」の市民の森愛護会の活動事例 ・「川井・矢指・上瀬谷地区(約700ha)の概要 市内でも貴重な広がりのある緑の空間や、河川沿いの緑地からなる首都圏最大の巨大空間資源が現存している地域です。上川井市民の森から湧き出る水は帷子川に注ぎ、旧上瀬谷通信施設内から湧き出る水は大門川・相沢川に注ぎ、就中、南東側の湧き水は2級河川和泉川の水源となっています。</p>	<p>参考</p>	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、グリーンインフラについては、5章土地利用「土地利用を実現する基盤整備の考え方」に示しており、具体的な内容については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>また、旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農のバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けることとし、都市的土地利用も含めた地区全体において、自然環境をいかしていくこととしました。</p>
250	<p>意見1 グリーンインフラ：古くて新しいまちづくり活動事例 その4) 旧上瀬谷通信施設の湧水を水源とする和泉川流域(宮沢地区)の活動事例</p> <p>意見1 グリーンインフラ：古くて新しいまちづくり活動事例 その5) ミツバチと共生する生活環境創造への挑戦活動事例</p> <p>意見2 旧上瀬谷通信施設土地利用に関わる提案 その1) 対象地域を返還跡地に限定するのではなく、計画地の南東側に連続して広がる緑の10大拠点「川井・矢指・上瀬谷」約700haの広大な空間を生かしてミツバチが好む蜜源・花粉源植物を増やす森林として活用することを検討して頂きたい。 四季折々に森に入れば多様な花が咲き競い、ニホンミツバチが蜜を求めて飛び交う緑・人・生き物が共存してふれあう心癒せる場があります。 蜜源・花粉源植物となりうる主要及び有力な植物として下記の花木が日本養蜂協会より紹介されています。</p> <p>主要な蜜・花粉源植物 ① ウンシュウミカン、② エゴノキ、③ キハダ、④ クログナモチ、⑤ コシアブラ、⑥ シナノキ、⑦ シロツメクサ、⑧ ソバ、⑨ ソヨゴ、⑩ タチアワユキセンダングサ、⑪ トチノキ、⑫ ナタネ、⑬ ニセアカシア、⑭ ハゼノキ、⑮ リンゴ、⑯ レンゲ</p> <p>意見2 上瀬谷通信施設土地利用に関わる提案 その2) 週末養蜂ができる地域づくりを目指す</p>		

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
	<p>趣味で始めたニホンミツバチの飼育が静かなブームを呼び起こしています。その理由は、飼育以外にも様々なものを得られることから、より豊かな人生を送ることができるからと言われています。</p> <p>・ニホンミツバチ飼育の魅力</p> <p>① やりがいがあること ニホンミツバチの飼育は、オリジナルな巣箱を作って群れを捕獲するところから自分で行います。自作した巣箱にニホンミツバチが入居した時、秋ごろまで育てばハチミツを採取することが出来ます。飼育方法が確立されていないため試行錯誤の連続で、何年も没頭できる奥の深さがあります。</p> <p>② 癒しが得られること 人に危害を与えないペットです。寒い日も暑い日も懸命に働く姿を見てると癒されます。</p> <p>③ 人とのつながり 人脈が次から次へと広がり、人生をより豊かなものにします。</p> <p>④ 農産物の実りに貢献します ニホンミツバチを飼育すると花粉媒介の効果で周囲の野菜や果樹の実りが良くなり、地域全体に貢献できます。</p> <p>⑤ 環境を通じた地域の活性化に貢献します 採れたハチミツを利用した地域活性化だけでなく、ミツバチの飼育を通して自然環境や生態系に意識を向ける機会を得ることができます。</p> <p>意見2 上瀬谷通信施設土地利用に関わる提案 その3) 計画地南東側の遊水池周辺を活かした広場づくり</p> <p>① ホタルの生息ゾーン ② カブト虫の生息ゾーン (竹チップ利用) ③ 養蜂箱設置ゾーン ④ 交流広場</p> <p>意見3 横浜西の玄関口のシンボルゾーンの開設 霊峰富士観察展望台の設置：瀬谷八福神めぐり南側ルート最後の環状4号線沿いにある全通院勢至堂に隣接した高台農業耕作地。</p>		
251	<p>公有地を急に特区扱いして民間にまかせるような計画は反対です。あくまでも公有地として、文化・スポーツを振興する施設を作り、市民に開放してほしいです。 「大型テーマパークは反対です」</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があります。大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまちづくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p>
252	<p>大型テーマパークは反対です</p> <p>国民の財産である公有地を一部の民間企業の儲けのための開発でなく、福祉施設、スポーツ施設など、市民が憩える場所として活用できるようにして下さい。</p>	参考	<p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p>
253	<p>戦後70年間に米軍に不法に占領されてきた貴重なスペースです。利益第一の大型テーマパーク等はやめてください。国有地市有地は市民の福祉の為に使うようにしてください。</p>	参考	<p>また、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。国有地の配置(換地)については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p>
254	<p>市民・国民の財産である跡地を民間利益優先の開発、大型テーマパークにすることには反対です。 公有地は、市民が気軽につかえる緑地公園、福祉施設・スポーツ施設など公共性の高いものに活用してほしい。</p>	参考	<p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にも情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
255	<p>米軍上瀬谷通信施設の跡地利用計画(素案)が発表されましたが、防災、環境再生を柱にした2006年跡地利用方針が今回の計画では132ヘクタールの公有地のうち、公共的利用に供されるのは公園・防災の50ヘクタールだけで残りの82ヘクタールはテーマパーク用地等になっているとのこと。民間の営利事業向けの開発でなく、病院や介護施設、スポーツ施設等の設置を求めます。</p>	参考	
256	<p>「テーマパークは反対」です 公有地利用は、市民の声を優先し、民友企業の営利目的になるような大型開発はしないでほしい。 たとえば、病院や公園にしてほしい。</p>	参考	
257	<p>「テーマパークは反対」です 公有地利用は、市民の声を優先し民間企業の営利目的になるような大型開発はしないでほしい。</p> <p>テーマパークは反対です 上瀬谷基地跡地は、首都圏に残された唯一の広大な国民の財産です。 地震、大災害が予測されるため、その備えの場、公園、スポーツ広場など市民、国民のための施設を考えると</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
258	現在以上に個人や小規模な商店の経営を圧迫する大型商業施設や、料金の高い民営のテーマパークは必要ない。市民の生活を豊かに、安心できるような病院や福祉介護施設、野球やサッカー等のスポーツ施設・グラウンド、安心して子供達を遊ばせることのできる広い公園を整備すべき。 公有地を一部の企業の営利のために提供することに反対します。公有地は市民のために使うべきです。	参考	本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづく りを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するう えでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立した まちづくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核と した土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本 地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまち づくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土 地利用基本計画に位置付けました。
259	公有地にテーマ・パーク誘致には反対です。 営利事業の開発ではなく、せつかくの公有地です。防災（例えば いざと云う時の仮設住宅がすぐ建設できるように）中心に、又、 環境にやさしい太陽光発電施設にとかできるように、公園・ス ポーツ施設などを造っておくと防災に役立つのではないでしょ うか。防災用倉庫だけでは少ないと思います。	参考	医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備 状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公 園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきま す。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮 するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の 新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。
260	国有地についてはデベロッパーや大企業優先ではなく市民の スポーツや文化、子供の遊園地など一般市民向けに開放して 載きたい	参考	また、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土 地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。 国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業 の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこと になりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道 路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進 めていきます。
261	上瀬谷通信施設について、アメリカからの返還運動にかかわ ってきました。2006年の市の跡地利用指針の方向について私 たちの要望にそうものと評価してきましたが、今回の素案は 民間活力の導入・営利を目的とした55%を占める公有地 優先した大型テーマパークの整備や物流ゾーンが優先され ています。例えば福祉施設やスポーツ施設に活用してくだ さい。また改めて当時の「首都圏全体を見据えた防災と環 境再生の一大拠点と位置付ける」「農と緑を楽しむ災害 時に首都圏の広域防災拠点となる空間の形成を目指す」と の指針は今日的意義はますます重要になっています。公有地 を民間にうりわたさないで下さい。	参考	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針 や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷の まちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業 の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様 に情報提供するとともに、ご意見を伺いながら まちづくりを進めていきます。
262	住民アンケートによると、公園・農業施設・防災拠点・ 病院などが要求として多い。 公有地利用は市民の声を優先し、民間企業の営利目的 になるような大型開発はしないでほしい。 テーマパークは反対です。	参考	
263	テーマパーク誘致には反対です。公有地利用は、市民 の声を優先し、一部の民間企業の営利目的に利用 しないでほしい。 上瀬谷基地跡地は、首都圏に残された唯一の広大な 国民の財産です。首都圏直下型地震など、大災害が、 予想されています。その備えのための、横浜市、 国による賑わいゾーンはなくし、公園緑地を 素案の倍に増やし、緑豊かな空間を残し、ス ポーツ、医療、研究施設、介護施設を含む、 研究学園都市、防災拠点公園を作ってほ しい。	参考	
264	2006年の跡地利用については「農・緑・防災の大規模な 野外活動空間」としていました。 公有地は公園、防災、スポーツ運動場など災害の 時に利用できる広場をつくって下さい。 また病院や保育園、介護施設などをつくって 下さい。民間の営利事業の開発にしないで 公立の施設を作って下さい。	参考	
265	民間企業の営利目的の開発はやめて下さい。 大型テーマパークは反対です。	参考	本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民 の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の 新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえた まちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地 利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠とな ります。地権者が設立したまちづくり協議会は、民間企 業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の 検討を深度化することとしており、これは、本地区の ポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市の まちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設 が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの 拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。
266	民間による利営優先となる大型テーマパークは絶対 反対！ 時間をかけて市民の意見を聞いて下さい。 横浜市は何を考えているのでしょうか？提案が唐突 すぎます。	参考	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくり の方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、 上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。 今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、 市民の皆様 に情報提供するとともに、ご意見を伺いながら まちづくりを進めていきます。
267	横浜市は「2006年跡地利用指針」を策定して います。その主旨に沿って「大型テーマパークは 反対」。民間企業の営利目的の開発は やめて下さい。	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
268	テーマパークは反対です。！！上瀬谷通信のあった土地は、戦前の大昔から地元の住民等により守られ開拓され、住み続けてきた土地です。戦後米軍に接収され、長期に渡りそこに住み利用してきた住民から取り上げられていました。この土地は、本来この地域のための土地であるべきです。 今回横浜市が、住民たちの意向に背くテーマパークの計画案が出されたことには反対です。横浜市の市政は、IRと共に住民生活重視から企業優先にカジを切っていることに大きな疑問あり。私たちのヨコハマは私たち市民の意見優先で作るべきです。企業の利益追求の町にしたいはありません。金もうけより、貧しくても緑と安心なくらしのための町が将来の豊かさです。	参考	本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづ くりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するう えでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立した まちづくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核 とした土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本 地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづ くりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土 地利用基本計画に位置付けました。
269	大型テーマパークは反対です 民間企業の営利目的の開発はやめて ください。	参考	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利 用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはス ターラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行 うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いな がらまちづくりを進めていきます。
270	「テーマパークは反対です」 民間企業の営利目的にしないでください	参考	
271	テーマパークは反対です 上瀬谷基地跡地は、首都圏に残された唯一の広大な国民の財産で す。 首都圏直下型大地震など、大災害が予瀬されています。その備えの ため、横浜市、国による、医療施設を含む防災拠点公園を作っ て下さい。一部の民間企業の営利目的に利用しないで下さい。	参考	本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづ くりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するう えでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立した まちづくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核 とした土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本 地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづ くりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土 地利用基本計画に位置付けました。
272	○民間企業の営利目的の「大型テーマパーク」は反対です。 ○民有地はスポーツ施設や福祉施設を優先に活用して下さい。	参考	
273	テーマパークについては反対です。昔から為政者、権力者は大きな 建造物を作りたがる悪癖があります。現市長にもその徴候が出て 来たのでしょうか（市庁舎、劇場・IR・テーマパーク等々）日常的に 市民が利用し、「よかった」と思うような方途（病院、介護施設、ス ポーツや子どもの安心して遊べる場公園等々）をとり入れて下さい 特にテーマパークは民間活力の導入ということなのでしょうが、 「官から民へ」で良かったと思われるものは見当りません（園庭も ない保育園、不慣れた管理者制度等々）今や「官から民へ」は立ち 止まって検証する時期に来ています。市としても民間丸投げが市と して責任をもってやるべき事業か、しっかり検討して下さい。	参考	医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状 況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防 災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、 地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各 ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成 を実現していく考えです。 今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利 用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはス ターラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行 うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いな がらまちづくりを進めていきます。
274	旧上瀬谷通信施設跡地は市民の生活や福祉施設、青少年のためのス ポーツ、文化施設のための活用をすすめて下さい。民間企業のため の大型のテーマパークの活用には絶対反対です。市民のための横浜 市政にして下さい。	参考	
275	民間の利益優先の大型テーマパークは反対です。 市民が安心して使える緑豊かな場所にして下さい。 ゆっくり検討してもよいのでは。	参考	
276	企業優先絶対反対 病院、介護施設、スポーツ施設を増やすべき。 林市長退陣を希望 市民のためになってない。	参考	
277	IR誘致と同じような林市長のやり方に怒りを感じます。 テーマパークなんて区民は希望していません。 防災公園やスポーツ施設、市民のための利用を考えるのが最優先で しょう。企業をもうけさせるアイデアばかりの林市長はおやめ下 さい。 私の田舎でもテーマパークを大金使って作ったものの何年か後には 閉鎖になりました。ディズニーランド並みの集客を考えているよう ですがカジノと同様に“とらぬタヌキの皮算用”で、まともな論拠に なっていません。 もっと市民に向き合って市民の声、区民の要望を聞いて下さい。	参考	
278	◎テーマパークは反対です。 ☆一部の民間企業の営業利益だ!!と思われる様な計画には、ちょっ と、考えさせる様な事には、反対です。 ☆これから、防災、や環境再生を柱にしたものは大切と考えます。	参考	
279	テーマパークは反対です。 上瀬谷基地跡地は、首都圏に残された唯一の広大な国民の財産で す。首都圏直下型大地震など、大災害が予測されています。その備 えのための、横浜市、国による医療施設を含む防災拠点公園を作 ってほしい。一部の民間企業の営利目的に利用しないでほしい。賑わ いゾーンはなくし、スポーツ、医療、研究施設、国による予算をつ けて、ゆったりした研究学園都市を目指すべきです。	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
280	<p>テーマパーク反対 上セヤ基地跡地は、首都圏に残された唯一の広大な国民の財産です。 いろいろと大災害が予測されています。 その備えのための横浜市、国による、いりょう施設を含む、防災拠点公園を作ってほしい。 一部の民間企業の営利目的に利用しないでほしい。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづく りを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえ では、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまち づくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした 土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポ テンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考 え方に合致しています。</p>
281	<p>「テーマパークは反対」です。 上瀬谷基地跡地は、首都圏に、残された、唯一の広大な国民の財産 です。首都圏直下型地震など、大災害が予測されています。その備 えのための、横浜市、国による、医療施設を含む、防災拠点を作 ってほしい。一部の民間企業の営利目的に、利用しないでほしい。</p>	参考	<p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利 用基本計画に位置付けました。</p>
282	<p>地権者の権利擁護は行いつつ民間の営利事業者向けの開発ではなく、 病院や介護施設・スポーツ施設、災害時の避難所等の施設を作 って下さい。</p>	参考	<p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状 況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防 災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、 地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各 ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を 実現していく考えです。</p>
283	<p>地権者の権利擁護は行いつつ民間の営利事業向けの開発ではなく、 病院や介護施設・スポーツ施設、災害時の避難所等の施設を作 って下さい。</p>	参考	<p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利 用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはス タートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行 うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながら まちづくりを進めていきます。</p>
284	<p>テーマパークは反対です。すでに全国に沢山のテーマパークがあり ます。この跡地は”自然を残した広々とした空間、場所としたい” その事によりテーマパークにはない自然に近い状態での楽しさが味 える場所ということです。（利益追求の開発にしないこと） より具体的には、 1. 瀬谷市民の森とつないでより自然を味える公園化を。 2. 市民がスポーツを楽しめる施設（スポーツ公園）に。 例えば少年野球場、少年向けの天然芝サッカー、ラグビー場 3. 特別養護老人ホーム 自然環境の中のホームを目指す。（市街地のホームとは異なる タイプ） 4. 入浴施設のあるレストハウスを。 公園の散歩、スポーツの後にゆったりと食事が出来る、そして 入浴も出来る設備</p>	参考	
285	<p>跡地は公園、スポーツ広場、病院、介護施設、保育園などに。民間 企業の利益追求に偏った、大型開発には絶対反対です。</p>	参考	
286	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画が出されていますが、跡地の6 割が「観光」「物流ゾーン」「にぎわいゾーン」とありますが、こ れは大型レジャー施設ではありませんか？テーマパークのようなも のとも聞きました。そうなると大変な税金が一部の民間企業向けの 開発にかかわって、使われることとなります。大型開発よりも高令 者や子育て世代などに対応した施設等、市民生活に直結するものに 税金は使って下さい。</p>	参考	
287	<p>民間の営利事業向けの開発ではなく、病院や介護施設スポーツ施 設、だれでも自由に入れる公園を作ってください。 営利目的の大型施設・テーマパークは入りません。 よろしくおねがい致します。</p>	参考	
288	<p>大型テーマパークは反対です。民間企業の営利目的の開発はせず、 福祉施設やスポーツ施設などを優先して活用してください。私の住 む港北区は米軍施設返還後公園（岸根公園）になり市民（私も）が 使っています。このように地域住民の生活に役立つ跡地利用に してください。</p>	参考	
289	<p>広大な土地利用は市民の要望に沿ったものとすべき事は重要です。 テーマパークとする理由は何か、市民の楽しみ以上に企業の利益を 優先するためではないか。</p>	参考	
290	<p>民間の営利事業向けの開発ではなく、病院や介護施設、スポーツ施 設等住民の要望に応じてほしい。</p>	参考	
291	<p>「テーマパークは反対」です 上瀬谷基地跡地は首都圏に残された唯一の広大な国民の財産です。 首都圏直下型地震など、大災害が予測されています。その備えの ための、防災拠点としてほしい。一部の民間企業の営利目的に利用 しないでほしいです。</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
292	<p>・民間企業による営利目的の開発はやめる。「大型テーマパークには反対」。</p> <p>・桜並木は残す</p> <p>・福祉施設、スポーツ施設を優先に活用してほしい。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづく りを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえ では、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまち づくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした 土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポ テンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考 え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利 用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状 況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防 災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、 地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各 ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を 実現していく考えです。</p> <p>なお、土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）に より、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜 並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご 意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせてい たきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利 用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはス タートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行 うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながら まちづくりを進めていきます。</p>
293	<p>民間の利益優先となる「大型テーマパークは反対です」市民が親し んでいる桜は残して下さい。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづく りを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえ では、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまち づくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした 土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポ テンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考 え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利 用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）に より、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜 並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご 意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせてい たきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利 用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはス タートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行 うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながら まちづくりを進めていきます。</p>
294	<p>公有地の6割強をテーマパーク用地等に提供するどこに公益性がある のか</p> <p>旧上瀬谷通信施設跡地内の132haもの公有地のうち、公共的利用に供 されるのは公園防災の50haだけで、残りの82haはテーマパーク用地 等とするのは問題ではないでしょうか。</p> <p>110haの民有地（農地）で、農地として利用するのは50haと半分にも 達していません。「素案」の土地ゾーン案では、緑地として利用さ れるのは、農地と公園の100haで全体の4割のみ。残り6割142haは 「環境再生」とは無縁なテーマパークをメインとした利用です。そ れこそ民間の儲けのために市民の税金を使って開発をする案のよう に見えます。</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづく りを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえ では、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまち づくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした 土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポ テンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考 え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利 用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区 画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検 討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなります が、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中 心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利 用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはス タートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行 うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながら まちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
295	<p>横浜市の価値は自然が多いこと。港があること、住みやすい街であることです。決して大きな娯楽施設があるからこの街に住みたいと思っただけではありません。市民は緑の多い静かな住宅地がくらしやすく誇りに感じています。大型テーマパークができることで渋滞も増え、海外からの観光客の増加は横浜の閑静なイメージを失わせ、いつかこの街に住みたいと望んでいる人達も横浜市以外の街を選ぶことになるでしょう。安易な財政の計画、すなわち民間企業の営利による収入をあてにすることは長期的に見て私達の豊かな横浜市を破滅させる方向へ進むことになるのではないのでしょうか？高齢化のすすむ横浜で大切なのは、防災の拠点となり、一人でも多くの高齢者が元気に歳をとれる交流の場ではないですか？市民の意見を聴かないで市民を裏切るような市政はやめて下さい。お願いします。これ以上自然を破壊するのは絶対反対です！</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまちづくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>
296	<p>海軍道路の桜並木は瀬谷の自慢になっていて多くの人達を楽しませてくれます 今日の提案では桜を残すことになっていません とても残念です 経済優先での企業の誘致には反対です 区民にとって何が必要かを真っとう聞いて下さい 瀬谷には大きな病院もありません 避難場所も足りていません 安心できる住みやすい街づくりをお願いします</p>	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にご意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまちづくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を実現していく考えです。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。</p> <p>土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜並木の創出等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にご情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
297	民間優先の大型テーマパークは反対です。 市民の意見を聞いて反映するように計画してください。	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづく りを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえ では、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまち づくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした 土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポ テンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考 え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利 用基本計画に位置付けました。</p> <p>また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画（素案）公表ま でにも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通 信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に 土地利用基本計画（素案）について説明し、要望をいただくなど、 意見交換を行ってきています。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利 用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはス タートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行 うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながら まちづくりを進めていきます。</p>
298	民間の利益優先となる「大型テーマパークは反対」です 公有地は福祉施設かスポーツ施設を優先に活用してください。 市民が親しんでいる桜並木は残してください。	参考	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様 に意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな 活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづく りを進める必要があり、大規模な民有地の土地利用を検討するうえ では、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまち づくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした 土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポ テンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考 え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地 し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利 用基本計画に位置付けました。</p> <p>医療や福祉施設については、今後、本地区の立地や周辺の整備状 況、需要等、必要性を含め検討を進めていきます。また、公園・防 災ゾーンを中心に、公園や防災施設を整備していきます。そして、 地区全体として都市と緑や農のバランスを考慮するとともに、各 ゾーンが連携することにより、郊外部の新たな活性化拠点の形成を 実現していく考えです。</p>
299	民間の利益優先となる「大型テーマパーク」は絶対反対です。桜並 木も残して、公有地は福祉施設、スポーツ施設を優先すべき。	参考	<p>なお、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地 画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。</p> <p>国有地の配置（換地）については、今後、土地画整理事業の検 討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなります が、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中 心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p> <p>土地利用の転換（環状4号線拡幅や新たな交通の計画）により、 現在の桜並木を残すことは厳しいと考えています。新たな桜並木の 創出等、対応方針について今後検討していきます。頂いたご意見に ついては、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利 用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはス タートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行 うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながら まちづくりを進めていきます。</p>

関連施設計画について

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
1	<p>・テーマパークゾーンについて 1月の説明会では若い人が比較的にテーマ・パークについて肯定的な意見は多かった。 しかし、区民アンケートで区民要望に全くなかった、テーマパーク案突如脚光を浴びてきたが、何時、どのような経緯で提案されどのような議論が行われ、案として浮上ったのかの説明は全くなかった。 「年間1500万人の集客を目標し、地域の活性化に寄与する」との目論見だが幾つか疑問点がある。</p> <p>1. 例年瀬谷区では10月に上瀬谷跡地の通称ヘリポート地区でフェスティバルが開催され、区内を中心に大変多くの参加者が集まる。瀬谷区の発表では約4万人以上の来場者があるといわれている。区内最大のイベントで海軍道路を中心に周辺の道路が車や人で終日大渋滞が発生している。 単純に1500万人の来場者が年間見込まれた場合、週末、休日、祭日を見れば、365日で割ると毎日4万人以上の来場者が車や鉄道を利用して区内外から来ることになる。 毎日が「瀬谷フェスティバル状態」になってしまう!! 最近の相鉄線瀬谷駅・三ツ境駅の1日の乗降者はおよそ8万人。 勿論、田園都市線、小田急線、横浜線の各駅を利用する来場者も多くなるだろう。 国道16号線、246号線、東名高速、4号線、厚木街道、中原街道、柏尾線などを使用して車両利用の来場者も多いはずだ。しかし、現状でも早朝・夕刻の時間帯は区内から区外へと出入りするの渋滞で大変だ。 「園芸博覧会」も含め提案されている周辺道路や鉄道のインフラ整備で対応が可能なのだろうか？ 幹線道路整備だけではなく生活道路も含めた対応が可能なのか？</p> <p>2. 確かにテーマパーク案は楽しいし、夢がある。 しかし、どのようなテーマパークを誘致するか全く不明だし、これによって地域活性化の起爆剤との意見もあるが果たしてそうだろうか？ 県や市は事業税・固定資産税で潤う、また、テーマパーク内の事業者や商店、周辺の一部の地権者には大きなメリットはあるだろうが、大半の来場者はパーク内でお金を落とし周辺の地域は単なる通過経路となってしまうのではないか。 デズニールランドや他の大型テーマパーク周辺地域が来場者メリットをどれだけ受けているのだろうか？</p> <p>3. ドリームランドに見られるレジャーランドの閉園 レジャーランド閉園に際し1966年日本ドリーム観光が鎌倉市大船駅とドリームランド間5.3キロに來園者と近隣住民が利用できるようにモノレールを開設したが1年余りで運行は停止、園内の大型ホテルも閉鎖。 1964年に閉園したドリームランドも2003年に閉園してしまった。 敷地面積、アクセス、ニーズの変化等様々要因の違いはあるが、近年全国に数多くテーマパークが作られる中での集客競争に生き残れるかどうか、何よりも地域住民がどうしても必要とする施設であるかどうか疑問が残る。</p> <p>・インフラの整備 1. 返還跡地は電気、上下水道、ガス、をはじめほとんどインフラが整備されていない。また、区内のインフラとりわけ、都市計画道路整備着工率は市内18区中港北区、栄区、に次いで瀬谷区が最悪であり、三ツ境下草柳線に至っては60年以上たっても完成せず、厚木街道、柏尾線の拡幅工事も遅々として進捗せず、区内の他の環状2号線他計画道路の着工が遅れ、近隣自治体との連絡道路の未整備などの現状を区民は厳しい目で見ている。 そのようなこれまでの状況の中で「国際園芸博覧会」、や上瀬谷返還跡地のインフラ計画が発表されても、多くの区民はそうした施策に？マークを抱くのも無理はない。 「関内から瀬谷区が見えているのだろうか？」</p> <p>2. 2027年に開催が予定されている通称「花博」を目指して瀬谷駅から「花博」会場迄、又はJR十日市場間の軌道アクセスが検討されているそうだが、何故こんな中途半端なアクセスにしてしまうのか。 確かに4号線沿い地域は公共交通機関がない。博覧会開催のあと跡地利用がテーマパークであろうと他の施設になると、数多くの来場者を望むなら現在構想している起点（今は瀬谷駅）と終点（上瀬谷区内会場又は十日市場）ではなく、例えば立場とあざみ野を結ぶ環状線にするとか、大きなターミナル間を結び、相鉄線、JR、田園都市線、小田急線などからの乗り換え利便性に配慮したアクセス形成でなければ多くの集客は望めないのではないのか。 3. 多くの集客を望むなら、インフラ整備の一環として大量の廃棄物、ごみ処理場、排水、汚水処理などの整備は考えているのだろうか。</p>	<p>参考</p>	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。 なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行ってまいります。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にも情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めてまいります。</p> <p>また、新たな交通や周辺道路の整備、具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査してまいります。渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。</p> <p>なお、旧上瀬谷通信施設より北側の新たな交通の整備については、現時点で未定です。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
2	<p>私は 戸塚区俣野町に住んでいます。戸塚区郊外は人口減少、高齢化が進み俣野小は統合されました。また俣野町は水害の街です。大雨が降ると下水（汚水）が逆流して庭に汚水の小川ができます。H16年、26年に2回起きています。この度の上瀬谷施設土地利用に関し郊外部のにぎわいの再生、土地利用、災害対策等、意見提案を述べます。全体に良くできています。</p> <p>◎全体構想について ・各ゾーンの面積の配分と配置は妥当と思われる。(P22,23) また市の事業(P25)も妥当です。瀬谷区は緑が豊ですが、にぎわいが残念ながら不足しており、にぎわい重視に賛成です。 ・全体的に基本のインフラについてはまだ決めにくい事が多いので、幅のある計画になる事は仕方ないと考えます。</p> <p>◎計画の主体と権限と予算について 博覧会は国家の事業なので水道、下水道、電気等のインフラについてかなりの部分が国費だと推測します。国費なのか、市費なのかかわかる様にしてほしい。</p> <p>◎本計画は博覧会後の計画 米軍施設の跡地利用は、水道や墓地や公園は無償だと考えます。計画地の道路や下水道は市。病院や福祉施設は民間だと考えます。</p> <p>◎課題は計画地外のアクセス、道路、インフラ 計画地内の道路や新たな交通は相対的に問題が少い。換地により、土地買収の費用も手続きも少いからです。</p> <p>課題は24ページに記述がありますが、周辺道路だと考えます。一例としてズーラシアは休日には渋滞します。計画にあるテーマパーク他がどのくらいの集客能力があるかはよくわかりませんが、現在渋滞のある、上川井I.C.や横浜町田I.C.の渋滞の悪化が想定されます。環状4号の瀬谷中前や瀬谷4交差点も悪化しそうです。</p> <p>これらの渋滞箇所についての見通し、計画を教えてください。</p> <p>◎広域下水道は限定エリアで 広い農地にボットン農家のある様な場合は、広域下水道でなく、個人浄化槽がコストの面で有利と考えます 浄化槽は近年改良が進み安価になりました。 浄化槽の費用は市が出すのが前提です。</p> <p>◎雨水貯留、遊水池 19ページに雨水調整池や下水道の整備とあり好感が持てます。横浜市は相沢川流域で下水雨水幹線工事をしていてとてもいい流域で整備してほしい。 将来的に観光にぎわいゾーンが都市化すると地区での保水機能が低下するおそれがあるので調整池は大きめが望ましい。</p> <p>◎汚水 下水について 現在の汚水下水管の容量に不足はないのでしょうか?上瀬谷の下流です。汚水管は基地返還決定前に作っています。上瀬谷には汚水、生活排水が全くないので上瀬谷下流の下水の容量が小さいと困る。もし不足しているのならば計画して作れば良いのですが。</p>	賛同	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。</p> <p>また、具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
3	<p>基本計画(素案)を拝見させていただいて私が一番印象に残ったのは、「観光・賑わいゾーン」にテーマパークを核とした集客施設を建設し、その広さが約125haである。ということです。東京ディズニーリゾートが約200haなのでそれよりは小さいですが、USJは約55haなので、あの施設の倍以上の広さになるということなので、どんな集客施設ができるのかとても楽しみです。</p> <p>一方で、その集客施設への移動手段ですが、上瀬谷ラインという中量軌道輸送システムを建設される計画のようですが、それで捌ききれますでしょうか。特に、開園時間前、閉園時間後に、相鉄・瀬谷駅に人があふれて危険な状況になるような気がします。相鉄・瀬谷駅と東急・南町田駅を結ぶ計画は無理なのでしょうか。そうすれば、集客施設への利用者以外に、地元住民の生活の足として利便性が高まると思います。</p>	賛同	<p>本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。</p> <p>なお、旧上瀬谷通信施設より北側の新たな交通の整備については、現時点で未定です。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
4	<p>土地利用基本計画(素案)には、基本的に賛成であるが、周辺の自然環境との調和やテーマパークの供用時に著しい交通混雑が起きないように周辺の交通整備なども進めてほしい。</p>	賛同	<p>本地区の特性を生かして、広くヒトやモノを惹きつける魅力ある空間を実現し、交流人口の増加や経済活性化につなげるため、テーマパークを核とした複合的な集客施設の検討を深度化していきます。</p> <p>なお、具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
5	<p>「第6章関連施設計画 1 新たな交通」について、中量軌道などの新たな交通の起点は、瀬谷駅ではなく三ツ境駅とすべきではないか。LRT、新交通システムやモノレールなどの専用軌道を環状4号線に建設した場合には、桜並木の景観が損なわれ、深刻な道路渋滞が発生する恐れがある。三ツ境駅を起点とし、二ツ橋、東野、細谷戸を経由して計画地区の東側に駅を建設することで、アクセスルートを分散でき、渋滞の発生を抑制できると考えられる。</p>	参考	<p>計画地における大規模な土地利用転換に伴い、発生が想定される交通需要に対応し、横浜市郊外部の新たな活性化拠点の形成に資する。瀬谷駅を起点とした新たな交通の導入を図ります。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
6	<p>旧上瀬谷通信施設までの新交通システムは路面電車にはいかがでしょうか？ 高架や地下路線の新設より安価にできますし、海軍道路までは道幅も広く、設置は可能なように思います。 かつて走っていた横浜市電の復刻デザインなどにすれば、多くの年配者の支持を得られるかもしれません。</p>	参考	<p>新たな交通の具体的なシステムの種類や構造形式については、周辺環境への影響や経済性等を総合的に比較検討し決定します。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
7	<p>まちづくりの方針のうち、方針3第4項に新たな交通の導入について掲げられているほか、第6章関連施設計画において新たな交通について触れられている。 中量輸送軌道の導入検討にあつては、建築コスト並びに維持コストをできる限り抑制できるシステムの構築が必要と認識している。経営効率性に優れた民営鉄道インフラのうち、横浜域に近接する地区を走る江ノ島電鉄線や湘南モノレール線にあつては都市近郊であっても単線軌道で7～12分程度の運行間隔をもって盛況している。この現状は複線軌道に拘わらずとも通勤通学時間帯含めて市民に受け入れられるという示唆に富んでおり、郊外部の中量輸送軌道のあり方の一つとして多に参考にできるのではないかと。システム選定にあつては参考にすること。</p> <p>まちづくりの方針のうち、方針3第4項に新たな交通の導入について、中量輸送軌道整備にあつては既存のインフラ整備スキームを活用する場合、会社の経営形態として第3セクター等が想定されるものと認識している。この場合、新たに新会社を設立するのではなく既存の外郭団体（横浜シーサイドライン株式会社や横浜高速鉄道株式会社等）のストック資源を生かし既存鉄道の支線として敷設するなどの整備手法も検討することで外郭団体をむやみに肥大化させないよう検討すること。</p>	参考	
8	<p>今回の素案の説明を聞いて話が逆転していると感じるのは、花博のレガシーを引き継ぐという担当者のフレーズです。高々半年の過性の催しにその後の永続的な土地活用の命運を委ねるのは本末転倒な話です。もっとその先を見据えて持続的な土地活用プランを練りましょう。 その逆転の着想が当地への交通手段の構想にも災いとして表れています。現在の住環境を壊して作ったものの利用者も少ない採算も取れない交通手段とならないことを祈ります。</p>	参考	
9	交通は路面電車のようなものが良い。	参考	
10	駅から「跡地」へのアクセスは考える必要はありますが、LRTなどの新交通システムは「跡地」利用内容にふさわしいものを検討すればよいと考えます。	参考	
11	<p>・この地域への新たな移動の足の確保は必須であり、計画では瀬谷駅を起点とした新たな交通の導入を図るとのことだが、一部報道では「横浜シーサイドライン」の運行によるAGTを整備とのこと。現段階でなぜこのような報道がなされるのか理解に苦しみ、既定のことなのかと疑ってしまう。 「計画段階配慮」によると、南区間は地下または高架が前提のようだが、LRTであれば場所によっては地表式も考えられる。LRTは地区の状況に応じ地表、高架、地下と柔軟に対応でき、他のシステムに比べ導入費用も抑えることができると考えられる。</p> <p>・計画では、導入区間は瀬谷駅から対象ゾーン北側付近までとなっているが、計画段階であっても最終的にどこへつなぐのかを明示する方が市民の理解を得られると考える。 昨年改定された「横浜市都市交通計画」でも、移動の円滑化に向けた体系的な交通ネットワーク形成の必要性が掲げられており、その観点からも、また周辺地域のまちづくりへの効果を上げるためにも既存の鉄道駅（十日市場駅、長津田駅等）への接続を明示することが望ましい。</p>	参考	<p>新たな交通の具体的なシステムの種類や構造形式については、周辺環境への影響や経済性等を総合的に比較検討し決定します。</p> <p>また、旧上瀬谷通信施設より北側の新たな交通の整備については、現時点で未定です。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
12	新たな交通、上瀬谷止まりでなく、延伸してください。 お願いします。	参考	旧上瀬谷通信施設より北側の整備については、現時点で未定です。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考とさせていただきます。
13	自家用車に頼らない公共の大量輸送も忘れずに取り組んでほしい。 里山ガーデンと十日市場を繋げていく大きな発想を持って取り組むべき！	参考	
14	新交通システムとありますが、瀬谷駅の南側と区域外北東方面への延伸を希望します。 瀬谷から区域の中までの区間では、利便性を感じられない。 せつかくの新事業なので、ぜひとも周辺地域の人々に貢献してほしい。	参考	
15	ところで瀬谷駅を起点とする新たな交通とありますが、緑区内(長津田や十日市場など)へは接続しないのですか？ すぐお隣の地域で自家用車なら10分程度なのに、公共交通を利用するとおそらく1時間半近くかかると思います。 高齢者の免許返納が話題になる時代です。是非とも新交通の接続実現をお願いします。	参考	
16	町田まで多摩モノレールが伸びる形画があるが、それを南町田を経由して瀬谷まで延伸する方式にできないか。南町田は瀬谷から近いのにアクセスが悪いので南北をスムーズに動けると嬉しい	参考	
17	新しい交通は町田や立場にも接続して。	参考	
18	新たな交通について、将来は、十日市場等の駅につなげていただきたい。	参考	
19	新交通システムはぜひ、南町田まで繋げて欲しいです。 瀬谷から南町田まで、バスすら通ってなく、非常に不便です。	参考	
20	花博は起爆剤として、開発の遅れている旭区、瀬谷区の為になる事業としてほしい。 特に、交通インフラについては横浜環状鉄道の延伸を含め、多量の移動への対応、長期展望を持って計画してもらいたい。山下埠頭のIR事業とテーマパークの取り合いになり旭、瀬谷区はまた取り残されてしまいます。	賛同	頂いたご意見は、土地利用基本計画に対するご期待と捉え、郊外部の新たな活性化拠点の形成に向け、着実に事業を進めていきます。 旧上瀬谷通信施設より北側の新たな交通の整備については、現時点で未定です。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考とさせていただきます。
21	若葉台に住んでいますが、上瀬谷までの鉄道計画に期待しています。 是非とも若葉台を通るルートで他の駅まで延伸してください。 それが可能であれば、テーマパークによる交通渋滞も我慢できます。	賛同	
22	環状4号線沿いに瀬谷駅から若葉台及び霧が丘経由で長津田駅までモノレールによる交通網が必要。 モノレールの理由は今後の維持費用や建設費用、延伸の可能性、跨座式であれば既にある他線と部品などが共通化でき、様々な費用の圧縮も期待できる。メンテナンスのしやすさや周辺交通への影響も最小限で済むこともメリット。 将来的にはドリームハイツ方面へ向かい、大船駅まで延伸して欲しい。そのことにより、小田急線などのサブルートとなり緊急時の代替路線になること、尚且つ横浜市内の鉄道が苦手な縦方向の交通が出来る。 一番いけないのは瀬谷駅から五貫目町付近までという中途半端な距離と路線。そのような場合は利用者が限られてしまうのは必至だと思います。最低限、瀬谷駅と長津田駅を結ぶのは利便性と利用者数伸ばすには必要。	参考	新たな交通の具体的なシステムの種類や構造形式については、周辺環境への影響や経済性等を総合的に比較検討し決定します。 また、旧上瀬谷通信施設より北側の整備については、現時点で未定です。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考とさせていただきます。
23	AGT、モノレールは莫大な費用がかかり激しく延伸の障害になるが、LRTなら将来の若葉台、十日市場方面への延伸も見据えられそうである。加えて言うなら水道道経由で鶴ヶ峰方面へ向かうとか、近隣の大和市と協力して東名と小田急江ノ島線の交点付近の東名大和バスストップに新駅を設置し、西からの玄関口とするなど、将来への希望を保てるものにして欲しい。 朝日新聞に何か載っていたが、交通機関の機種選定にゆめゆめ利権が絡まないようにして頂きたい。	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
24	<p>瀬谷区は相鉄線瀬谷駅、東名横浜町田IC、国道246号、国道16号と市外からのアクセスは好条件だが様々な問題点がある。</p> <p>鉄道は瀬谷駅から会場まで新交通システムの導入が計画されており、会場までには住宅が立ち並び地下または高架を検討しているようだが恒久的な運営を行うには距離が短すぎて乗降客数を考慮すると収支が黒字になると思われない。大胆な計画をするのであれば、和泉区から瀬谷区経由で緑区（具体的には和泉中央～瀬谷～霧が丘～十日市場又は長津田）にすることにより沿線住民も日常使える交通機関とすることで安定した収入が見込まれる。</p> <p>道路は問題が大きい。区内には中原街道、厚木街道、八王子街道、環状4号、瀬谷柏尾道路と主要道路が存在するが、どれも片側1車線の狭い道路のため渋滞が発生している。</p> <p>特に</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 旧上瀬谷通信施設付近の環状4号は瀬谷駅付近の跨線橋で発生する渋滞は致命的である。これを解消しない限り会場までの渋滞が発生し、周辺住民への影響が大である。 2. 国道246号へのアクセスは八王子街道か瀬谷柏尾道路を使用しなければならない。八王子街道は東名高速道路、保土ヶ谷バイパスを利用する大型車両の走行が多く渋滞が発生する。また瀬谷柏尾道路はさらに道幅が狭く大型車両が通るには適していない。 <p>これらの事から交通網の改善が見込めない限り集客を目的とした開発は地域住民に益なしと考える。</p>	参考	<p>旧上瀬谷通信施設より北側の新たな交通の整備については、現時点で未定です。</p> <p>また、具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
25	<p>新たな交通、周辺道路共に整備をしてもらいたい。新たな交通は、他の路線の駅につなげてほしい。</p>	参考	
26	<p>瀬谷駅からの「新たな交通」の導入について、将来の直通運転を考慮して普通鉄道の規格で敷設してほしい。</p> <p>瀬谷駅で接続できる相鉄線のみならず、東急田園都市線、JR横浜線、小田急線など、軌間と電化方式が同一の路線に囲まれているのに直通運転できない規格にしてしまうのはもったいない。</p> <p>特に相鉄線二俣川駅まで乗り入れることができれば、横浜への特急、湘南台方面の東海道新幹線新駅、JR埼京線新宿方面、横浜環状鉄道計画線根岸方面などが1回の乗り換えで移動できるようになる。</p> <p>将来的に長津田方面に延伸してJR横浜線に乗り入れることができればバリエーションアップへのバイパス線としての役割も期待できる。</p> <p>以上考慮のほどよろしく申し上げます。</p> <p>(軌間1067mmと架空電車線方式直流1500V電化で20m車が入線できる規格であれば開業時は直通運転していなくてもいい。AGTの5両編成は20m通勤電車2両編成と定員は同じ。ATOによる無人運転は普通鉄道でも導入可能。)</p>	参考	<p>新たな交通の具体的なシステムの種類や構造形式については、周辺環境への影響や経済性等を総合的に比較検討し決定します。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
27	<p>(各論として)「新たな公共交通」の事業者が、シーサイドラインのみがっていること、および当地の「中量輸送機関」として、いわゆる新交通システムを導入することが適切な審議を経たものか、疑義を感じる。この点についての説明と、他の選択肢も示してほしい。</p>	参考	
28	<p>新交通システムは高架式を希望します。</p>	参考	
29	<p>旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（以下計画）において中菱交通機関としてAGTの採用を考えられていると報道などで聞きます。しかしAGTやモノレールなどは各地で建設費の償却がうまくいかず例えば旺盛な利用で知られるゆいレールは開業5年以内に債務超過に陥り、横浜のシーサイドラインも行政による財政支援が行われています。</p> <p>そこで質問なのですが、施設などを横浜市などで完全保有し、あくまで運営側はあくまで施設利用料+運営にかかるコストで運営していくような完全上下分離などは考えているのでしょうか？</p> <p>また出来ていないという場合、要望なのですが中菱交通機関としてLRTを採用するのはどうでしょうか？LRTであれば施設費用が低く、道路と施設費用を分担するなど資本費用の柔軟な対処が可能のように思われます。</p>	参考	

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
30	花博のあとも考えて開発して。特に交通買いの難民にならないように。	参考	<p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。</p> <p>今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>また、新たな交通の具体的なシステムの種類や構造形式については、周辺環境への影響や経済性等を総合的に比較検討し決定します。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
31	<p>□新たな交通 発生する来街者数により変わってきます。 「都市における交通システム再考」によると、来街者が1日20,000人程度で瀬谷駅から2～3kmほどの輸送距離なので、バス以外に新交通システム、モノレール、路面電車、LRTなども考えられます。</p> <p>先日、朝日新聞に新交通システム導入について書かれていましたが、事業費がいくらかかるか考えてください。</p> <p>【課題】 ・事業費 市税投入か民間資金導入か、国庫補助が利用できるか検討が必要です。</p> <p>国庫補助を受けるためには、国の既存制度が使えなければなりません。運輸政策審議会答申などの上位計画があるか、それらの方針に沿った計画か確認が必要です。</p> <p>・時間 補助金を得る為の調整に時間を要します。 ・事業の継続性（累積赤字の解消時期） 初期投資の大小：インフラ整備費、車両購入費 事業費：収入（利用者推計）、 ：支出（ランニングコスト：人件費、燃料費、施設管理費）</p> <p>□周辺道路（幹線道路とのネットワークの強化） 全国を相手にする物流拠点には、西日本、北陸、東北方面との接続が必要です。</p> <p>そのためには、東名高速道路にスマートインターチェンジの整備し、物流地区内に主要交通を引き入れる必要があります。</p> <p>また、大規模なテーマパークへの導線としても、羽田、成田、横浜港など国内外との円滑な交通ネットワークも必要です。</p>	参考	<p>新たな交通の具体的なシステムの種類や構造形式については、周辺環境への影響や経済性等を総合的に比較検討し決定します。</p> <p>また、具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
32	<p>瀬谷在住の者です。宜しくお願ひ致します。</p> <p>瀬谷駅から上瀬谷までの輸送について、地下路線を望みます。（中間駅が、いくつかあると、バスが通っていない海軍道路の利便性が、上がりこれからの近隣の高齢化に伴う買い物難民問題にも効果的だと思います）</p> <p>高架形態だと、音の問題、瀬谷のシンボルである素晴らしい桜を見れなくなる景観上の問題、開放感が損われ、閉塞感を感じるようになると思います。</p> <p>観光客の増加に比例して、瀬谷周辺が交通渋滞が起こらないように対策を望みます。</p> <p>住民の願いは、安心安全、静かに、心穏やかに暮らして行くことは最低限の権利ですので、土地利用ゾーンから発生する音の問題、光の問題、交通に関することは大変気になるところです。</p> <p>住んでいる人の身になって計画をたて、愛のある環境を整えて下さい。</p> <p>宜しくお願ひ致します。</p>	参考	
33	<p>横浜市には概ね賛成です。</p> <p>ただ、地権者や民間事業者の視点だけでなく、既存市街地の住民の視点も大切にしてください。</p> <p>特に新たな交通の駅が既存の住民にとって使い勝手が良いものとなるように配慮願います。</p> <p>横浜市案だと、既存市街地と新たな街との間に、広大な畑があり街が分断されており、使い勝手が良いとは思われません。このままだと、夜は暗い道を駅から帰る必要があり、距離は短くなるとはいえ、防犯上、今までと大差なく、利用者にとって良くありません。</p> <p>この点の改善を強く望みます。</p>	参考	<p>新たな交通の具体的なシステムの種類や構造形式については、周辺環境への影響や経済性等を総合的に比較検討し決定します。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p> <p>また、周辺道路等に関するご意見についても、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
34	大和市内からのアクセス改善と渋滞対策も併せてご検討くださいますようお願い致します。	参考	具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
35	横浜町田ICについて 横浜町田ICは頻繁に渋滞します。 特にゴールデンウィーク、お盆などは身動きがとれないほどになります。 現状では大規模な観光施設に対応できると思えません。 例えば入間にはICすぐ傍にアウトレットがありますが、帰省のたびにウンザリさせられます。 是非とも十分な対策と検討をお願いいたします。	参考	
36	交通アクセスが悪いのでなんらかの対策も必要です。	参考	
37	物流は少し心配です。大型トラックなど、地元の道にあふれるようだと、生活が脅かされると思います。 テーマパークの来場車対策も含め、施設内や周辺部の道路整備にも力を入れていただくよう強く望みます。	参考	
38	夢のある計画ですが、南町田や大和市方面からのアクセスにも配慮していただきたいと思います。	参考	
39	大和市内からのアクセスには少し難がありますので。大和市や神奈川県と協議して、アクセスの改善していただければと考えています。	参考	
40	このゾーン計画の成・否を左右する「関連施設計画の道路について、「新設道路計画」はもとより、既存の道路とのアクセスや、整備補充についても、地元の意向・要望を十分踏えて取り組んでいただくよう強く要請するものであります。	参考	
41	土地利用ゾーンは決定済みの事と思うが、交通の便がよくなる様をお願いします。	参考	
42	道が渋滞しないようにしてほしいです。	参考	
43	16号ぞいですが車でしか、移動できません。良くして下さい。	参考	
44	上瀬谷町の農業振興ゾーン際に住むものです。 今回の土地利用によって、近隣住民の生活を悪化させないよう対策をお願いします。また、今よりも良い生活環境になったと住民が思える整備をお願いします。 以下の要望をいたします。 ・上瀬谷小学校東側交差点～上瀬谷小学校前交差点までの歩道設置 ・上瀬谷小東側交差点～上瀬谷小前交差点～北町交差点が抜け道利用されないよう規制	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な基盤整備については、今後、詳細を検討していきます。 具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
45	上川井に良い点が少ない用に思います テーマパーク物流で上川井交通渋滞だけで賑わいは瀬谷だけで上川井や若葉台に何かメリット	参考	具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。 また、本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
46	テーマパークによる、近隣への渋滞や悪影響がないようにするため、瀬谷駅からの電車と東名高速のスマートインターの設置は重要かと思えます。	賛同	頂いたご意見については、新たな交通に対するご期待と捉え、着実に事業を進めていきます。 また、具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
47	これら街づくりを進める際には、地区内外の道路インフラや新たな公共交通を整備し、渋滞対策や環境対策を十分図って頂きたい。	賛同	具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
48	区画整理や新たな交通の整備などのインフラ整備をしっかりと整え、周辺住民が道路渋滞などで困らないような環境対策も必要だと思えます。 以上のことに配慮して進めて頂きたいです。	賛同	また、新たな交通に頂いたご意見については、ご期待と捉え、着実に事業を進めていきます。

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
49	市の活性化のために計画を進めてもらいたいです。近隣住民としては環境の激変に心配があります。特に交通環境です。新たな交通の計画もありますが、立地からして車の利用が多いと考えます。南からのアクセスは海軍道路になりますが、今でも渋滞しています。北西線などの高速道路ができることにより、保土ヶ谷バイパスの交通は緩和されますが、南方面からはどのような対策をされるのでしょうか？具体的な交通量の増加数も教えてください。現在とはとても静かな環境で暮らしています。交通量が増え、近隣住民の生活に影響が生じないよう対策をお願いします。また、近隣住民との対話をお願いします。	参考	具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。 また、今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
50	観光、賑わいゾーンに関しましてもいい提案かと思いますが、瀬谷駅までの道が4号線しかないため抜け道がありません。4号線開設の時も渋滞緩和とのことでしたが、今回の土地利用で渋滞緩和されるとは考えにくいですが、街が発展するのはいいことですが、道路の増設などもあわせて考えていただきたいと思います。	賛同	具体的な将来交通量については、今後、検討を深度化していく中で精査していきますが、渋滞については極力発生しないよう、八王子街道の拡幅など、道路ネットワークの強化について検討を進めます。 頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
51	基本計画(素案)を読まさせていただきました。全体としての計画案は賛成ですが肝心の地域の骨格を形作る道路網が曖昧のままになっています。周囲の幹線道路との関連を考慮し基本幹線道路については計画初期段階に決定しておくべきと考えます。また特に横浜環状道路についてはすでに3月末には北西線が開通し、南線も事業化されています。西側線部分だけが未だ計画案も決まっていない状況です。計画案がまとまってから新たに路線を設定することは至難の業です。計画案を取りまとめる中で横浜環状線の西側区間を計画に組み込むことを提案いたします。	賛同	
52	鉄道の駅まで遠い上瀬谷に、新たな交通が敷かれることに大きな期待をしています。ただ、新たな交通を維持するためにはかなりの乗降客が必要ですが、その解決策としてのテーマパーク構想、良いと思います。交通渋滞は嫌ですが、新たな交通のメリットにはかきません。新たな交通のためにも、テーマパークを是非造ってください。	賛同	頂いたご意見については、新たな交通に対するご期待と捉え、着実に事業を進めていきます。
53	バスが1時間に2,3本で、残業を行うとタクシーを使用しなければならない、陸の孤島に新しい交通が提供されるのはとても嬉しい事です。安全で快適な地域になると思います	賛同	
54	鉄道を引くのも良いと思う。	賛同	
55	公共交通機関がまず優先と思います。道路を充実させても、移動時間など時間が読めないからです。	賛同	
56	花博と4ゾーンに基づく街作りも然る事ながら、横浜の西の玄関口として遅れてしまった瀬谷区のアクセスを相鉄が相互直通運転も開始されましたし是非とも瀬谷駅を起点とした『新交通システム』の早期実現を大いに期待しております!!	賛同	
57	今回の計画を契機に交通インフラをしっかりと整備していただきたい。	賛同	
58	e) 新交通システム：賛成です。 理由：例えば、テーマパーク案や国際園芸博覧会が取りやめになっても、この地域の活性的な利用には、一般道路としての環状4号線とは別に、独立した交通手段のスペース確保が必要不可欠だと考えるからです。新交通のための用地は、恒久的見地から、思い切って10メートル幅ぐらいは必要だと考えます。	賛同	
59	交通網の不足しているこの上瀬谷付近は、建物だけでなくできた施設に、だれでもが、安心して行けるような瀬谷駅(相鉄)からのアクセスの良い交通の整備をお願いしたい。	賛同	
60	関連計画に賛成です	賛同	
61	特に、物流ゾーンの計画に伴う「八王子街道の道路整備」と「新たな交通導入計画」に大きな期待をしています。亀甲山経由で八王子街道を通り、瀬谷行きのバス(環状4号線と八王子街道の循環でも可)の導入を是非とも、ご検討いただきたく宜しくお願いいたします。	賛同	頂いたご意見については、新たな交通等に対するご期待と捉え、着実に事業を進めていきます。 また、バス路線の新設に関するご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。

その他

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
1	瀬谷区の北町に住居を構え住んでいます。周辺地域に運送用の倉庫などの建設に伴い、騒音・振動の増加をはじめとした住環境の悪化が発生した場合は、住居移転も考えています。その際、現在住んでいる住居の売却を考えていますので、そちらの全額負担・保障をお願いします。またテーマパークの建設・運営に伴う治安悪化が起きた場合も同様の措置をお願いします。	その他	土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様への意見、要望等を踏まえ、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。 今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。
2	(総論として) 素案は全体として、示されている土地利用についてどのような意義があるのかが明確でない、どのような都市思想に基づいたものなのかを詳しく示してほしい。 (各論として) 素案では花博開催とその跡地のテーマパークについて、市民にとってのメリット、デメリットがどのようなものであるかが具体的に示されておらず、支持するにもしないにも、判断ができない。素案だからこそ、市民にとってのメリット、デメリットを具体的に示してほしい。	その他	土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様への意見、要望等を踏まえ、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。 今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。
3	横浜市の財政のムダ使いは止めて下さい。	参考	土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様への意見、要望等を踏まえ、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。 今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。
4	試案がだされたが、大変重要な問題です。説明会ではなく、住民の意見を聞く公聴会を何度も開いてほしい。	参考	土地利用基本計画は、横浜市を取り巻く状況に対応するとともに、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様への意見、要望等を踏まえ、作成したものです。 また、瀬谷・旭区においては、土地利用基本計画(素案)公表までも、瀬谷区12地区連合町内会長で構成される「瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会」や「旭区連合自治会町内会連絡協議会」に土地利用基本計画(素案)について説明し、要望をいただくなど、意見交換を行ってきています。 今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。
5	多年に渡る上瀬谷通信施設の接収が皆さんの返還活動から、今日の返還へと結びついたこと喜ばしく思います。今回(素案)は地元民「まちづくり協議会」と横浜市で方向性ととりまとめた由ですが、(素案)にも喪失する『物価上昇・地価高騰』検討されて良いのではないですか。	参考	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。 今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。
6	駅まで遠い。 近くにスーパーがない。 よくなるのがなぜ悪い。現在住む者の意見が強くでないのが不しぎ。	参考	今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。 今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。
7	国有地は、市民と国民のもです。地権者さんが利益を求めることは、理解できます。そのことから、民有地のみでのテーマパークにしたい。 地球温暖化防止のため、CO2の排出を抑えた施設にしたい。 一番良いのは、何もしないでおくことです。	参考	旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。観光・賑わいゾーンは、集客力の高いテーマパークを核とした複合的な集客施設の立地を検討しており、賑わい振興を図ることを踏まえ、おおむね125haと設定しています。 まちづくりのコンセプトにおいて都市と緑や農とのバランスのとれた新しいまちづくりを進めていくことを位置付けています。 また、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。 国有地の配置(換地)については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。
8	町に金がおちる仕組みを考えてください。 カジノを招致、ディズニーワールド招致、ハリウッド施設招致など、他県に先を越されているようなことです。 この大きさの土地を最大限活用していただきたいです。	参考	旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。 土地利用としては「農業振興ゾーン」、「公園・防災ゾーン」、「物流ゾーン」、「観光・賑わいゾーン」の4つを設定し、一定規模の区画設定を前提として検討を進めます。 本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、検討していきます。頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
9	子供とスケッチの出来る風景をこしらえて下さい。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>土地利用としては「農業振興ゾーン」、「公園・防災ゾーン」、「物流ゾーン」、「観光・賑わいゾーン」の4つを設定し、一定規模の区画設定を前提として検討を進めます。</p> <p>本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、検討していきます。頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
10	あそべる場がない。若い人が生々（いき々々）とした場にして欲しい。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p> <p>土地利用としては「農業振興ゾーン」、「公園・防災ゾーン」、「物流ゾーン」、「観光・賑わいゾーン」の4つを設定し、一定規模の区画設定を前提として検討を進めます。</p> <p>本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、具体的な施設については、今後、検討していきます。</p>
11	<p>東京ディズニーランドの計画が持ち上がった際、候補地として富士山麓が選ばれながらも、近くに富士山が見えてディズニーの世界観が壊れるという理由で候補から外されたと聞いたことがあります。それくらいテーマパークにとって周辺環境は大事だと思うので、隣に物流ができると世界観が壊れてテーマパークはつくりにくいのではないのでしょうか。</p> <p>また、なぜこの時代にテーマパークなのでしょう。一昔前のリゾート開発みたいな印象を受け、あまり成功するイメージが沸かないのですが、しっかりとした根拠や計画はあるのでしょうか。</p>	その他	<p>本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。</p> <p>地権者が設立したまちづくり協議会は、将来の土地利用を検討し、テーマパークを中心とした土地活用について検討を深度化していくこととしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。</p> <p>このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>なお、本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行っていきます。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様にも情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
12	<p>ページ 意見 質問、提案等</p> <p>3 図1-4.調整区域がわかりにくいです。 逆に市街化区域をオレンジ色か何かで表現してはどうか。</p> <p>4 経過年表・2019年9月 ～横浜市として、～博覧会開催を申請し～ とありますが、この文章だと主語が横浜市と読みちがいが易い 博覧会は国が行う事業なので、そこを明示してほしい 一例 日本国政府は横浜市を開催都市として申請し～</p> <p>ページ 意見、提案 質問</p> <p>6. 提案 里山ガーデンの写真ですが、旭区と追記してはいかがか 6. 温暖化対策、横浜市としても～対策を～推進～ 期待されています。 とありますけれども、すでに市として対策をしているのですから 「期待されています」ではなく推進しています。ではないでしょうか。</p> <p>7ページ 災害への対策 個々の文章は主語があいまいで、都市づくりを進めることが 「期待されます」ではなく「進めています」が妥当と考える。グ リーンインフラは～検討を進めていますとなっているので問題あり ません。 13. 「申出換地方式」を説明してほしい。意味はわかります。 19. 拠点のイメージ写真について、この写真はとてもいいです。 消防車の数からみて、東名 海老名サービスエリアでの訓練写 真と想像しますが、補足説明をしてはいかがか、 21 「将来的には年間1500万人が訪れ」とあります 人数が多いのはとてもいい事です。 日本のインバウンドが4000万人、ズーシアの入場数が年間約 百万人。 1500万人を集客するとたいへんなインフラがいると思います。 1500万人/年だと1日約4万人で、ズーシアが1日平均で 3000人くらいですから約10倍 1500万人に対応するにはこの計画のインフラでは容易でないで す。 本計画は土地利用基本計画ですから ゾーン分けを決める事と 基本のインフラ案を出す事と考えます。 ○観光、にぎわいゾーンがよくわかりません。その他のゾーンは理 解し易いです。農業、物流、公園各ゾーンは現在ある農地等の延 長、拡張、改良だと考えます。上瀬谷の特産物とか、観光資源とか がイメージが湧かないので、どの様なテーマパークができるのか がわかりません。 ○観光にぎわいゾーンについて 核となるのはテーマパークとあります。これが今ひとつわかりにく いのですが複合的な集客施設（P21）とあります イメージとしては港北区師岡町の「トレッサ横浜」です。環状2号沿 いです。他は戸塚区の東戸塚駅東の「オーロラシティ」、ここも環 状2号、ただこれらは観光施設かというところ少々疑問です。 そうするとやはりみなとみらいや桜木町や関内になります。よく わかりません。 ○テーマパークと新たな交通は同時に。 民間の事業者から見ると新たな交通がないとテーマパークは成り立 たないと考えます。 スーパーやレストランは4号沿いにできると推測されます。近年は大 型の商業施設は投資回収機関が短く設定されていて、事業化が難し い。13ページに「短期間で一気に土地利用を開始すること」とあり ますが、スーパー、コンビニ、薬局チェーン、レストラン、クリ ニックなどは互いに関連して立地するためです。街道沿いにレスト ランが立ち並ぶのは集積が好条件のためです。</p>	その他	<p>本計画は地区全体のまちづくりの考え方を示したものであり、観 光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今後、まちづ くり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討を行って いきます。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆 様に情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進め ていきます。</p>
13	<p>「テーマパークを核とした」と書かれていますが、テーマパークの 内容がどのようなものかわかりません</p>	その他	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したもので あり、観光・賑わいゾーンにおける具体的な施設については、今 後、まちづくり協議会とともに、特定のテーマも含め、幅広く検討 を行います。</p>
14	<p>日本海軍がいたときの遺跡（水槽、コンクリートエントツ跡えんた い壕）を残し後世に伝えていきたい。</p>	参考	<p>本地区に整備する具体的な施設については、今後、詳細を検討し ていきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の 検討の参考にさせていただきます。</p>
15	<p>通信施設の金網フェンス・フェンス内の建造物など、周りが緑・ 畑な景観、今となっては貴重なものだと思うので、残せるものは、 その状態で、フェンス内を出入り自由にしてほしいです。</p>	参考	<p>本地区に整備する具体的な施設については、今後、詳細を検討し ていきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の 検討の参考にさせていただきます。</p>
16	<p>武蔵の国と相模の国の境を明確に残して欲しい。</p>	参考	<p>本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したもので す。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参 考にさせていただきます。</p>
17	<p>横浜市は勝ちすぎていないでしょうか。拡大路線ではなく、周辺自 治体との提携が重要だと考えます。横浜市としては生産よりも消費 にスポットを当て、共に高め合えるビジョンを模索してもらいたい です。</p>	参考	<p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考 にさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
18	環境アセスも見ましたが、区域が三種類あってよくわかりません。ゾーンの名前は施設名でなく機能名に統一して、「自然環境保全ゾーン」（一本当は全域こうであるべき）とか「緑・防災ゾーン」とかにした方が分かりやすいと思います。	参考	頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
19	免許をもっていないので、不便です。年齢（れい）ですので、つらい。	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設等については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
20	人が集まる以上、ゴミ集積方法なども考えなければいけないのかなと思います。	参考	本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を示したものであり、具体的な施設等については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
21	三ツ境駅方面へは、バス路線を新設してほしい。	参考	バス路線の新設に関するご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
22	八王子街道 バス停「桜山」そばの居住者です。長い間、交通が不便で高令になるにつれ車の運転も自信がなくなってきていたところ、今回の上瀬谷の計画に多いに希望をみつけました。八王子街道整備後、どうか八王子街道にバス便をふやして下さい。よろしくお願いします。	参考	バス路線の新設に関する意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。
23	取り壊す前に施設を一般公開してほしい。	参考	頂いたご意見については、関係部署と共有させていただきます。
24	周辺住民に与える影響を説明してほしい	参考	今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。 頂いたご意見については、今後事業をすすめる上で、参考にさせていただきます。
25	昨年末の林市長の突然の上瀬谷基地跡地利用検案案にはびっくりしました。1月に行われた説明会開催の案内は区民に全く知らされず、私はたまたま新聞折り込みの「タウンニュース」で知り、参加してきましたが、その開催は区民にほとんど知らされないまま行われました。今回の意見募集もそうですが、ネット上で、お知らせしているので、区民に知らせているとでも言いたいのかもかもしれませんが、どれだけの人がこのホームページを閲覧するのでしょうか？自治会の役員のみなさんもほとんど今回のことを知らされていないといえます。区民が知らないうちに大企業優先の跡地利用計画を進めないでください。	参考	今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。 頂いたご意見については、今後事業をすすめる上で、参考にさせていただきます。
26	米軍跡地利用の市民意見募集が今日までとは お知らせのやり方がよくないです。 ちゃんと広報として出していない。	参考	今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。 頂いたご意見については、今後事業をすすめる上で、参考にさせていただきます。
27	説明会について ①1月15日開催された説明会は、開催について事前告知が不十分のため、多くの区民が説明会開催を知らされず、参加者も少ない中で行われた。再度説明会を開催すべきである。 ②説明内容のゾーン案は抽象的な概要であり、提示したゾーン案の決定経過や根拠についての説明が全く不十分である。 ③質疑時間が少なすぎる。司会者は質疑のテーマを明確に整理し進行すべきである。 ④1回の説明会だけでは行政的な手続きが形式的に行われたにすぎません。それをもって民への説明が完了し次の段階に進めてしまえば、後々禍根を残すことになる。 公園・防災ゾーン これまで近隣の市民の森、県営住宅に隣接する「見晴らし公園」などの管理は市民の森愛護協会や地元が日常的に担ってきたが、このゾーンの日常的管理維持はどこが主体として担うのか。50ヘクタールもの広大な敷地管理維持はボランティアや旭・瀬谷の地元では到底担いきれない。 また、このゾーンに隣接している瀬谷区・旭区に広がる通称「市民の森」も跡地整備計画と一体のものとして政策的な配慮が必要ではないか。「市民の森」の契約の有無にかかわらず、多くの地権者が長年私権制限を受け、自由な経済活動ができない。	参考	今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。 頂いたご意見については、今後事業をすすめる上で、参考にさせていただきます。 また、今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。
28	観光・賑わいゾーンにおいて、テーマパークを核とした複合的な集客施設を設け、年間1,500万人を見込むとのことだが、その根拠が不明確で説得力がない。具体的な説明が求められる。	その他	今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
29	<p>息子が現在少年野球をやっており、その進路を瀬谷区の強豪の硬式野球チームである「瀬谷シニア」さんを含め検討しております。ところが、その瀬谷シニアさんは通信隊の中の土地にグラウンドを有しており、今回の計画書を拝見すると野球のグラウンドがなくなってしまうように見えます。</p> <p>仮に息子がそのチームに入団しないにしろ、プロ野球球団が存在する神奈川県で、少年たちの野球グラウンドをなくしてしまうのはいかにがなものかと思えます。</p> <p>野球という競技は、練習や試合のグラウンドの確保に苦労しております。</p> <p>中でも硬式野球は、制約が多いため確保は至難の業です。子供たちのためにも、野球グラウンドだけは残していただきたくお願い申し上げます。</p> <p>野球施設として改修されるプランが別途ございましたら、よいのですが、そのあたりも、計画の中で触れていただけると助かります。</p> <p>商業のみに走るのではなく、将来の子供たちのためにもよろしく願いたします。</p> <p>▼瀬谷シニアさんの紹介ページです https://seyaleage.wixsite.com/seya-leage/untitled-c6m1</p>	参考	<p>現行の暫定利用は、当面の措置であるため、現在の野球場などをそのまま存続する予定はありません。</p> <p>本地区に整備する具体的な施設については、今後、詳細を検討していきます。頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
30	カジノ I R	その他	本地区にIRを誘致する考えはありません。
31	海老名のように欲しくない I Rきて欲しくない。	その他	本地区にIRを誘致する考えはありません。
32	I Rでもめているが、瀬谷には絶対来てほしくない。 依存症が増えるから 又、環境も悪くなるので。	その他	本地区にIRを誘致する考えはありません。
33	林市長のごまかしをゆるしてはいけない。 カジノを含むI Rは横浜港地区が想定されている。しかし、港湾業者や倉庫業者は反対している。この意見は支持したい。林市長は、港地区が利用できない場合を想定して、上瀬谷通信跡地を確保しているのだろう。絶対に許すべきではない。	その他	本地区にIRを誘致する考えはありません。
34	市の賑わいゾーン構想は、国や市が「I Rカジノ」事業構想に転用される危険性があります。絶対に転用しないという保証がありません。長崎のハウステンボスのカジノ構造がいい例です。「テーマパークは、絶対に反対です」。	その他	本地区にIRを誘致する考えはありません。
35	流通面に関しては並行して横浜卸センター区画整理を行うことにより新規参入がしやすい環境を整えることも必要だと思う。 また付近の環状4号線には大型車両の違法駐車が多い為、これらの取り締まり強化を実施すべきである。	参考	<p>本計画は、約70年間土地利用を制限されてきた、旧上瀬谷通信施設を対象としたものです。また、周辺道路の違法駐車などについては県警の管轄になります。</p> <p>頂いたご意見については、関係部署で共有し、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
36	旧上瀬谷通信施設の跡地（以下「跡地」と称す）は、242ha、辺野古は121ha、安保条約賛成でアメリカに基地を提供する必要があると考えるなら、「跡地」の半分は普天間の代替として提供したらよいのでは。沖縄の人たちが住民投票までして辺野古反対の意思を明確にしている。過重すぎる沖縄の負担軽減に「跡地」の半分を使うのも一考ではないでしょうか。ただし、神奈川県は多くの米軍および自衛隊施設をすでに受け入れており、これらをまったく受け入れていない府県がまず受け入れを考えるのが、法の下での筋だとは思いますが。	参考	<p>旧上瀬谷通信施設は、市内でもまとまった農地が広がるとともに、東名高速道路や保土ヶ谷バイパスに近接するなど、非常に高いポテンシャルをいかし、「都市農業の振興」と「都市的土地利用」を基本に、郊外部の新たな活性化拠点を目指したまちづくりを進めていくとしています。</p>
37	<p>海軍道路から西を見たとき、丹沢、富士山など、素晴らしい景色がひろがります。海軍道路から、西側は建物を、建てず現状のままとし、いつまでもそのままの自然を、望めるゾーンになることを切に望みます！</p> <p>また、観光、賑わいゾーンから発する騒音問題、光害(公害ではなく)に関しては、近隣に住居を、構えている人々からは、切実な問題です。</p> <p>住民の願いは、安心安全、静かに、心穏やかに暮らして行くことは最低限の権利ですので、土地利用ゾーンから発生する音の問題、光の問題、交通に関することは大変気になるところです。</p> <p>住んでいる人の身になって計画をたて、愛のある環境を整えて下さい。宜しくお願い致します。</p>	参考	<p>テーマパークの検討を深度化するに当たっては、隣接する農地や住宅地への影響を含め、検討が必要となると考えています。</p> <p>頂いたご意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。</p>
38	<p>その他</p> <p>旧上瀬谷通信施設内の田んぼでは、2011年3月神奈川県絶滅危惧類のトウキョウダルマガエル、2019年8月に環境省の絶滅危惧類(VU)のオオアカバナが神奈川県で初めて確認された、神奈川県内でも貴重な環境の残る場所である。</p>	その他	<p>本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。この土地区画整理事業を実施していくために必要な手続きとして、現在、環境影響評価の手続きを行っております。環境影響評価とは、事業の必要性や採算性だけでなく、環境にどのような影響を及ぼすかについて事前に調査、予測、評価を行い、その結果を公表し、市民の皆様からご意見を聴き、このような手続きを踏まえ、環境の保全の観点から事業計画に反映させる制度です。</p> <p>引き続き、環境に配慮をしながら事業を進めていきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
39	<p>ぜひ環境アセスメントを実施してください。 米軍跡地は環境汚染の懸念が濃厚ですから。</p>	参考	<p>本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。この土地区画整理事業を実施していくために必要な手続きとして、現在、環境影響評価の手続きを行っております。環境影響評価とは、事業の必要性や採算性だけでなく、環境にどのような影響を及ぼすかについて事前に調査、予測、評価を行い、その結果を公表し、市民の皆様からご意見を聴き、このような手続きを踏まえ、環境の保全の観点から事業計画に反映させる制度です。 引き続き、環境に配慮をしながら事業を進めていきます。</p>
40	<p>人は水が無くては生きて行けない 空気と同じで絶対に必要なものだ 家庭の水はそういうものだ 業務用は自己の利益を上げる為に使う のだ 目的が違う 考え方がアベコバだ 市民の反対が多いカジのに金を使うのならこちらに廻せ</p>	参考	<p>頂いたご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
41	<p>上瀬谷通信施設(242ha)の民・国・私有地の割合、土地利用計画の意図するところも分かった。この中で、「横浜市によるまちづくり」「地権者によるまちづくり」「まちづくりのコンセプト」「土地利用の内容」「土地利用ゾーンの配置と規模」「賑わいや集客力のある土地活用」等々、多くの課題を挙げながら、計画を押し進めようとしている。</p> <p>流れ的にみると、まず2027年3月～9月に開催予定の「国際園芸博覧会の招致」を1つの焦点とし、それに対する道路アクセスの強化、ネットワークの構築が挙げられている。また、都市計画を基盤とするまちづくりも謳われているが、10年先、20年先の構想が見いだせていないように感じる。</p> <p>前日のIRの説明会にも参加したが、みなとみらい・山下ふ頭を拠点としているが、この地区は都市としての街づくりがされてきたもので、拠点としてのみ考慮していけば良いのであって、旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画の中で、瀬谷・上川井地区を同様に考えていくには無理がある。つまり、農業振興ゾーン、観光・賑わいゾーン、物流ゾーン、公園・防災ゾーンに分けることは良いとして、そこを取り巻く地域の発展が見いだせない、と「国際園芸博覧会」までは良いが、以後における返還後の土地利用を生かしたまちづくりができなくなると思う。</p> <p>「国際園芸博覧会」開催までは、非常に勢いで旧瀬谷通信施設内の建設・整備、取り巻く交通網の整備・ネットワークの構築が行われるだろうし、開催期間中は多くの人、車等の流入が見込まれ、観光と賑わいの中心となることは目に見えているが、この状況がどこまで続くことができるのか疑問を感じる。</p> <p>上川井町内会は、良く言えば自然溢れるのどかな田舎っぽいまちで、大きな変化は上川井の地域に若葉台団地ができて若い人の流入が見られたことである。それも50年近くが経つと若い人が減り、ご老人が目立つ団地になっている。上川井町内は、元々農業地域で、田畑や山があり、そこで困らない程度の野菜やコメ作りをしてきた歴史があるものの、若い人の流出があり、家系を維持できなくなってきた。上川井に生まれ育った人の話でも、大きな変化はなく、道路等は拡幅され、整備されたものもあるが、昔からの道路系図は変わってないという。</p> <p>そこで、旧上瀬谷通信施設が返還され、土地利用基本計画ができつつあるこの機会に、是非とも上瀬谷通信施設に隣接する上川井地域、あるいは瀬谷地区に若い人を呼び込める、そして長く住むことの街づくりをしていくことが、まちの活性化や発展につながり、強いては横浜市の中心街とは一味違う斬新的なまちづくりができるチャンスだと思う。東名の横浜町田インター、それに繋がる保土ヶ谷バイパス、環状線等へのアクセスも良いことから、ここで見直すことをすれば、地域社会の未来的発展が横浜市の躍進に寄与できるものと思われる。その潜在的要素は持っていると思うし、可能であると思う。</p> <p>上川井町内の意見として、10年、20年、あるいは50年先を展望に入れた、土地の有効利用・活用を考えて欲しい。 人や物流、車両の流入はあっても、居住者の増加が見込まれないことには計画倒れになってしまう。</p>	参考	<p>土地利用基本計画は、「人や企業が集うことによる横浜経済の更なる活性化」、「自然をいかした魅力あふれるまちの実現」、「活力ある都市農業の展開」、「グリーンインフラの活用」、「市民生活や経済活動を支える都市基盤施設の整備」、「災害に強い都市づくり」といった、横浜市のまちづくりの考え方を踏まえ、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」としました。</p> <p>そして、都市と緑や農のバランスのとれた新たなまちづくりを進めるため、「多様な交流による、賑わいと活気のあるまち」、「活力ある都市農業と緑をいかした魅力あるまち」と「将来にわたり、安全安心で、利便性の高いまち」を方針として位置付けました。</p> <p>本地区のポテンシャルを最大限にいかし、人や企業が集うことで、交流人口の増加や経済活性化につなげるとともに、都市的土地利用と連携した都市農業を展開し、賑わいと活気のあるまちを目指していきます。また、まとまりのある農地を保全し、賑わいと食・農業の連携による新たな都市農業を世界に発信するとともに、今ある自然環境をいかしながら、グリーンインフラを活用し、緑をいかした魅力あるまちを目指していきます。また、国際園芸博覧会のレガシーを継承する拠点の形成を目指します。そして、交通利便性をさらに高めるまちづくり、広域的な課題の解決に取り組み、将来にわたり安全安心で利便性の高いまちを目指します。</p> <p>頂いたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

NO.	ご意見	対応状況	本市の考え方
42	<p>(1) 米軍が通信施設として使用していた時は「地下に設備」を集中していたようですが、種々の「安全」面は、検証したのですか。</p> <p>(2) 地権者の意見を十分反映させて下さい。</p> <p>(3) 公有地の利用については、民間企業の営利目的になるような大型開発はやらないで下さい。</p>	参考	<p>(1) について 防衛省の情報では、地下施設は確認されていません。土壌汚染については、現在、国で調査を進めています。</p> <p>(2) について 本地区は、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があります。今後も地権者の皆様との意見交換を行いながらまちづくりを進めていきます。</p> <p>(3) について 本市では、地権者の皆様と意見交換を行うとともに、市民の皆様にも意見及び要望を伺いながら土地利用を検討し、「郊外部の新たな活性化拠点の形成」を目指すこととしました。 事業を進めるうえでは、地権者の皆様の意向も踏まえたまちづくりを進める必要があります。大規模な民有地の土地利用を検討するうえでは、民間企業の協力が不可欠となります。地権者が設立したまちづくり協議会は、民間企業の提案を踏まえテーマパークを核とした土地利用の検討を深度化することとしており、これは、本地区のポテンシャルを最大限に生かしているとともに、市のまちづくりの考え方に合致しています。 このため、「テーマパークを核とした複合的な集客施設が立地し、国内外から人を呼び込む観光と賑わいの拠点の形成」を土地利用基本計画に位置付けました。</p> <p>また、本地区は国有地や民有地等の混在を解消するため、土地区画整理事業を実施することを前提に検討を進めています。 国有地の配置（換地）については、今後、土地区画整理事業の検討を進める中で国との協議等も踏まえ決めていくこととなりますが、公共性の高い公園・防災ゾーンや将来の道路等の公共施設を中心に配置することを前提に検討を進めていきます。</p>
43	<p>素案のコンセプトには異議はないのですが、具体的な展開になると甚だ疑問です。これでは根幹の意義が真逆のものになってしまいます。羊頭狗肉という言い方がありますがまさにその通りなのは誰かの意図が働いて根幹が異質なものにされてしまったのかと疑ってしまうような内容です。</p> <p>何故当初掲げていた防災や環境再生の柱を下してしまったのでしょうか。もしかしたらカジノ問題の時のような圧力に屈したのではないかと勘ぐられても仕方ないような大転換と受け止めました。病院や介護施設、スポーツ施設などの要望を切り捨ててテーマパークにしようと言うのは間違いです。</p> <p>負の遺産だった軍事施設が逆に市民の豊かな生活の基盤になるように展開すると言う最初の目的通りに戻すのがレガシーにもなりません。テーマパークにするにしても民間丸投げでなく大多数の市民が負担が少なく家族で気軽に利用できる施設なら未だ受容できます。</p>	参考	<p>「米軍施設返還跡地利用指針」では、「水や緑」、「魅力ある景観」、「経済活動」、「レクリエーションやスポーツ」などの環境を、返還施設跡地を活用して幅広く再生していくという主旨となっています。</p> <p>「土地利用基本計画」は、その考え方を継承し、まちづくりのテーマを豊かな自然環境をいかした「郊外部の新たな活性化拠点の形成」とするとともに、指針策定後の社会経済情勢の変化に対応し、地権者の皆様との意見交換や市民の皆様のご意見、要望等を踏まえ、作成したものです。</p> <p>今回、公表した土地利用基本計画は、まちづくりの方針や土地利用の考え方を取りまとめたものであり、上瀬谷のまちづくりはスタートラインの状況です。今後も、事業の進捗に応じて説明会を行うなど、市民の皆様へ情報提供するとともに、ご意見を伺いながらまちづくりを進めていきます。</p>